

第17回大阪市エイズ対策評価委員会

日 時：令和7年11月7日（金）
午後2時00分～4時00分
場 所：オンライン開催

次 第

1 開 会

2 議 事

- (1) 大阪市エイズ対策評価委員会委員長の選出について
- (2) HIV感染者・エイズ患者・その他性感染症 発生動向まとめ
- (3) 第4次大阪市エイズ対策基本指針の実績及び評価について
- (4) その他

3 閉 会

大阪市エイズ対策評価委員会委員名簿

※50音順、敬称略

氏名	職業名
笠原 幹司	大阪府医師会理事
塩野 徳史	大阪青山大学看護学部看護学科教授
白阪 琢磨	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター特別顧問
村松 紀子	特定非営利活動法人チャーム 正会員
山中 京子	大阪府立大学名誉教授 コラボレーション実践研究所所長

大阪市エイズ対策評価委員会 事務局名簿

氏名	所属・補職
中山 浩二	保健所長
坂下 克	保健所感染症対策担当部長
廣川 秀徹	保健所感染症対策担当医務監兼北部保健医療監、 北区役所医務主幹
松川 幸子	保健所感染症対策課長
岡田 めぐみ	保健所感染症担当医務主幹兼天王寺区役所医務主幹、 危機管理室医務主幹
康 史朗	保健所医務主幹兼住吉区役所医務主幹
森 裕	こころの健康センター所長兼保健所医務主幹、 都島区役所医務主幹、総務局人事部医務主幹
松村 直樹	保健所感染症対策課長代理
松田 貴根	保健所保健副主幹

○大阪市エイズ対策評価委員会規則

平成 25 年 7 月 26 日
規則第 163 号

大阪市エイズ対策評価委員会規則を公布する。

大阪市エイズ対策評価委員会規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、執行機関の附属機関に関する条例(昭和 28 年大阪市条例第 35 号)第 2 条第 1 項の規定に基づき、大阪市エイズ対策評価委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第 2 条 委員会は、委員 5 人以内で組織する。

- 2 委員は、学識経験者その他市長が適当と認める者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、議事その他の会務を総理する。
- 3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第 5 条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(関係者の出席)

第 6 条 委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、健康局において処理する。

(施行の細目)

第 8 条 この規則の施行に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この規則は、平成 25 年 8 月 1 日から施行する。

H I V感染者・エイズ患者
その他性感染症 発生動向まとめ

目 次

H I V感染者・エイズ患者・その他性感染症 発生動向まとめ

◇大阪市におけるH I V感染者・エイズ患者の状況について（令和5年）・・・6 頁

◇エイズ動向委員会資料（第161回委員長コメント資料）・・・11 頁

◇新規報告数に占めるエイズ患者の割合（主要自治体比較）・・・14 頁

◇大阪市における梅毒（全数報告）の発生動向・・・15 頁

◇大阪市における性感染症定点報告の発生動向・・・17 頁

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者の状況（令和6年）

大阪市における新規HIV感染者・新規エイズ患者（累計；平成元年2月17日～令和6年12月31日）の報告状況は次のとおりです。

①年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
平成30年	95	28	123
平成31年	87	20	107
令和2年	75	19	94
令和3年	64	13	77
令和4年	63	10	73
令和5年	52	11	63
令和6年	48	18	66
合計	2632	675	3307

②感染経路別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	9	2	11(16.7%)
同性間性的接触	32	15	47(71.2%)
静注薬物使用	0	0	0(0%)
母子感染	0	0	0(0%)
その他	1	0	1(1.5%)
不明	6	1	7(10.6%)
合計	48	18	66

③年齢区分

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	3	0	3(4.5%)
20歳代	21	3	24(36.4%)
30歳代	14	4	18(27.3%)
40歳代	2	4	6(9.1%)
50歳代	5	4	9(13.6%)
60歳以上	3	3	6(9.1%)
合計	48	18	66

④国籍・性別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
男性（日本人）	35	17	52
（その他）	10	0	10
（不明）	1	0	1
女性（日本人）	1	1	2
（その他）	1	0	1
（不明）	0	0	0
小計：男性	46	17	63
女性	2	1	3
合計	48	18	66

⑤感染地域別

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国内	38	16	54
海外	3	1	4
不明	7	1	8
合計	48	18	66

注）後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後（平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合）、血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者の状況（累計）

大阪市における新規HIV感染者・新規エイズ患者（累計：平成元年2月17日～令和6年12月31日）の報告状況は次のとおりです。

①年次別推移

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
～平成元年	0	0	0
平成2年	3	2	5
平成3年	4	1	5
平成4年	14	3	17
平成5年	7	1	8
平成6年	14	4	18
平成7年	7	1	8
平成8年	5	2	7
平成9年	13	6	19
平成10年	25	5	30
平成11年	30	13	43
平成12年	31	7	38
平成13年	58	17	75
平成14年	55	16	71
平成15年	68	11	79
平成16年	99	17	116
平成17年	100	16	116
平成18年	118	12	130
平成19年	130	28	158
平成20年	164	31	195
平成21年	147	45	192
平成22年	165	49	214
平成23年	140	50	190
平成24年	108	32	140
平成25年	145	40	185
平成26年	130	42	172
平成27年	149	41	190
平成28年	119	31	150
平成29年	100	33	133
平成30年	95	28	123
平成31年	87	20	107
令和2年	75	19	94
令和3年	64	13	77
令和4年	63	10	73
令和5年	52	11	63
令和6年	48	18	66
合計	2632	675	3307

②感染経路別（累計）

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
異性間性的接触	317	125	442
同性間性的接触	2082	423	2505
静注薬物使用	6	1	7
母子感染	2	1	3
その他	60	25	85
不明	165	100	265
合計	2632	675	3307

③年齢区分（累計）

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
20歳未満	34	2	36
20歳代	960	84	1044
30歳代	994	189	1183
40歳代	443	198	641
50歳代	125	133	258
60歳以上	76	69	145
合計	2632	675	3307

④国籍・性別（累計）

区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
日本人 男性	2357	625	2982
女性	42	8	50
その他・不明 男性	194	28	222
女性	39	14	53
合計	2632	675	3307

⑤感染地域別（累計）

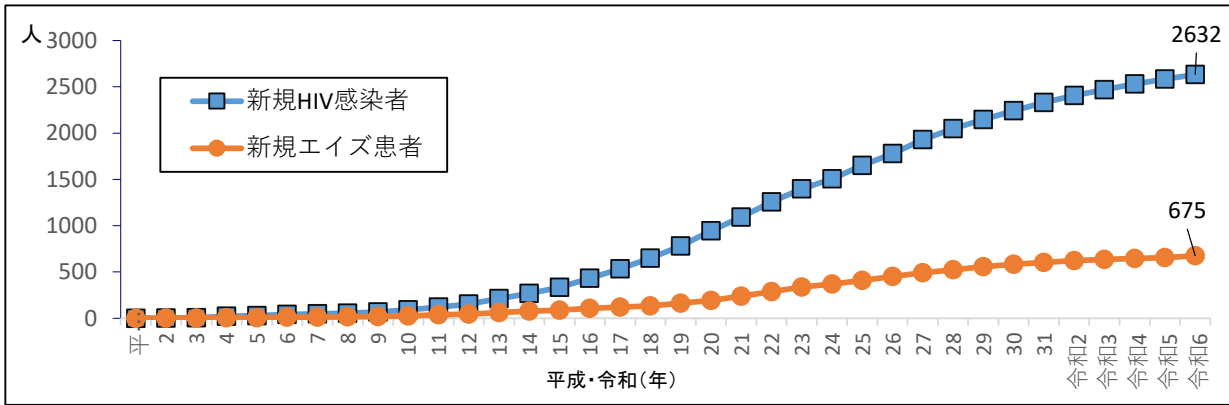
区分	HIV感染者 報告数	エイズ患者 報告数	合計
国内	2339	538	2877
海外	114	47	161
不明	179	90	269
合計	2632	675	3307

注）後天性免疫不全症候群の予防に関する法律施行後（平成元年2月17日以降。平成11年4月1日より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合）血液凝固因子製剤が原因とされる方は、法による報告から除外されています。

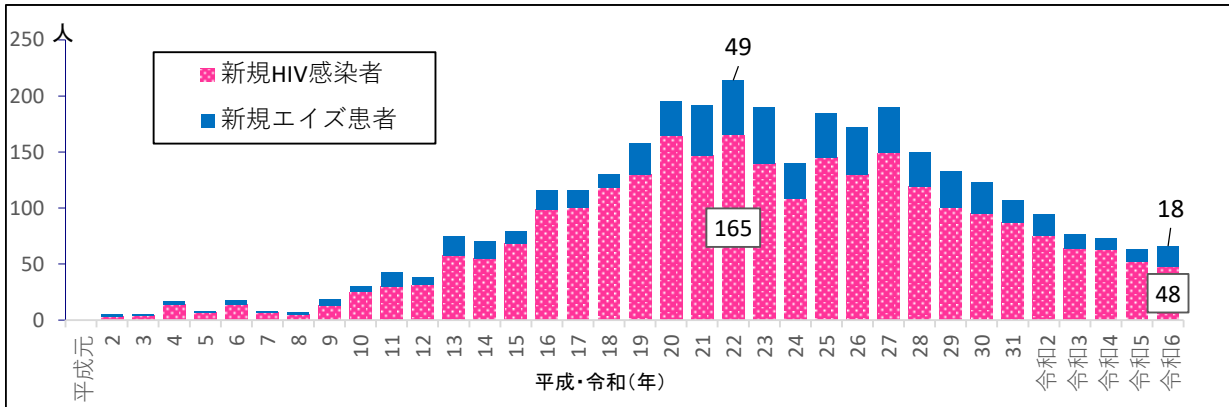
大阪市におけるHIV感染者・エイズ患者の状況 (グラフ)

大阪市における新規HIV感染者・新規エイズ患者(累計;平成元年2月17日～令和6年12月31日)の報告状況は次のとおりです。

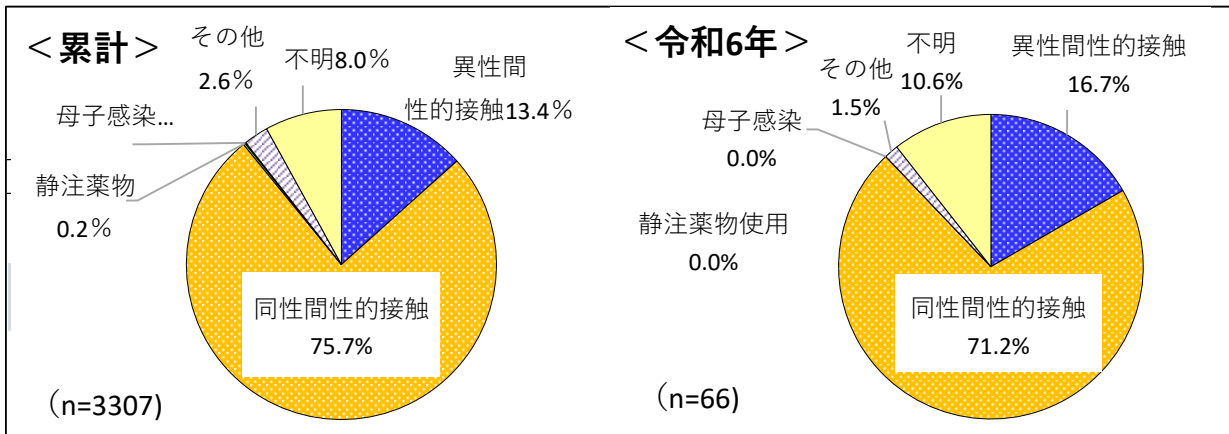
①新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数(累計)の年次推移



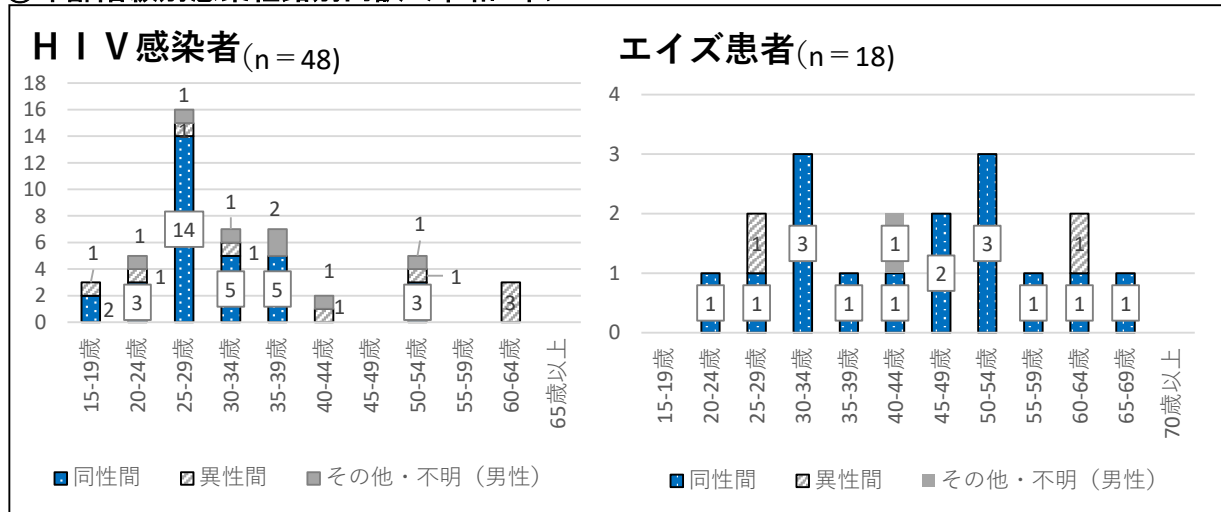
②新規HIV感染者・新規エイズ患者報告数(単年)の年次推移



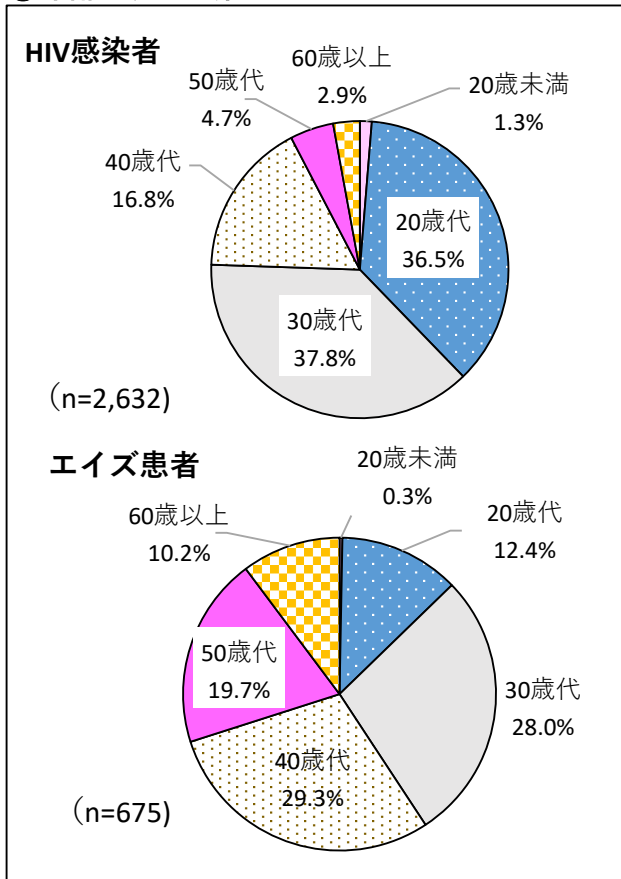
③感染経路別(HIV感染者+エイズ患者)



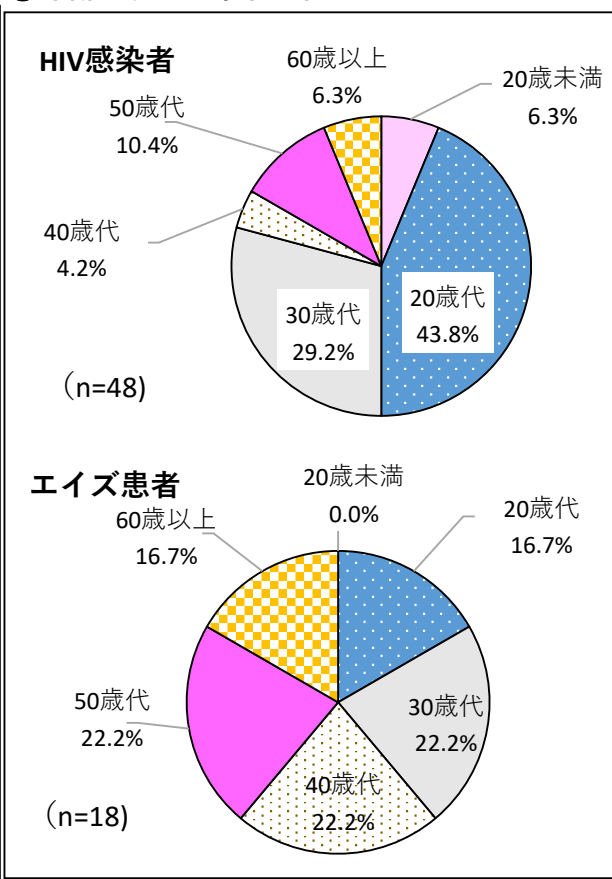
④年齢階級別感染経路別内訳<令和6年>



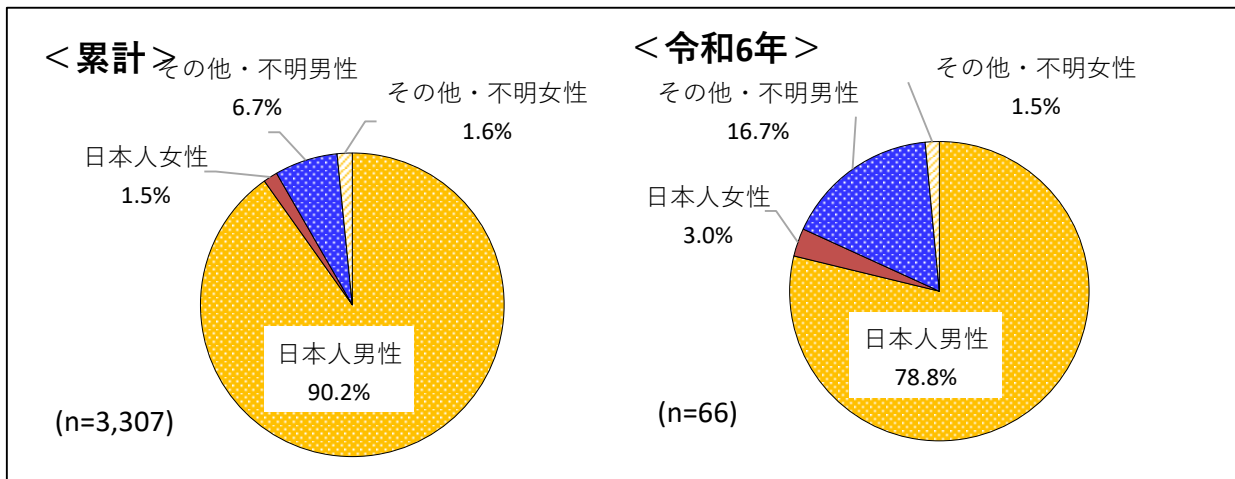
⑤年齢区分 <累計>



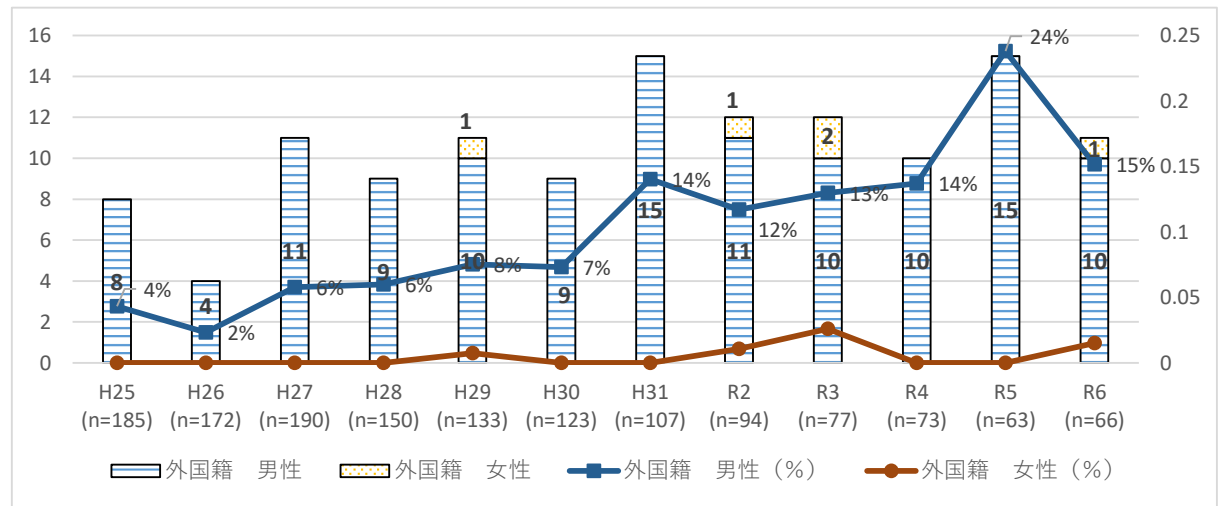
⑥年齢区分 <令和6年>



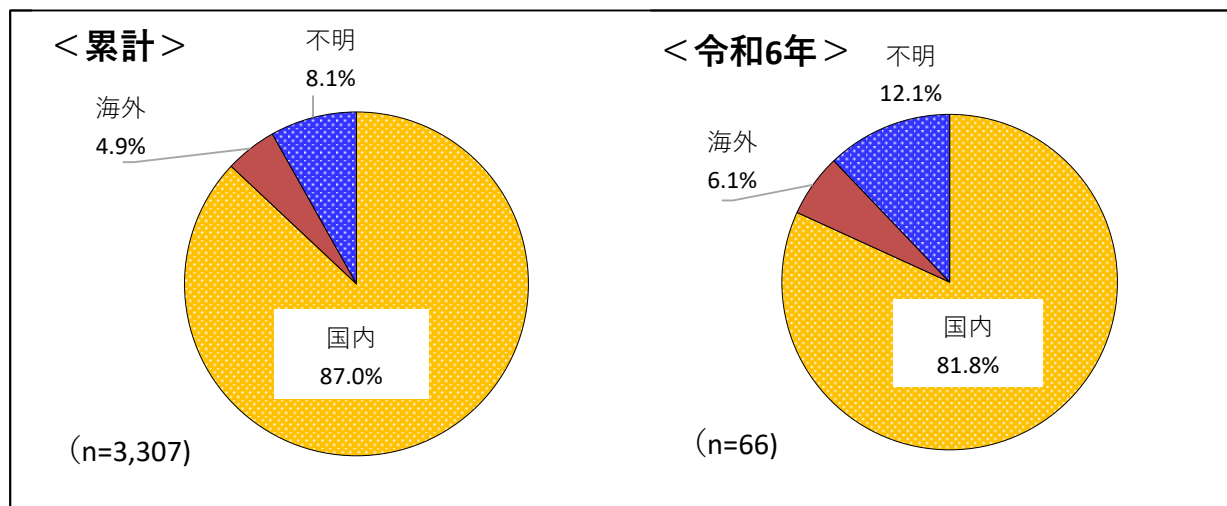
⑦国籍・性別 (HIV感染者・エイズ患者)



⑧外国籍・性別内訳の推移<平成25年～令和6年> (HIV感染者・エイズ患者)

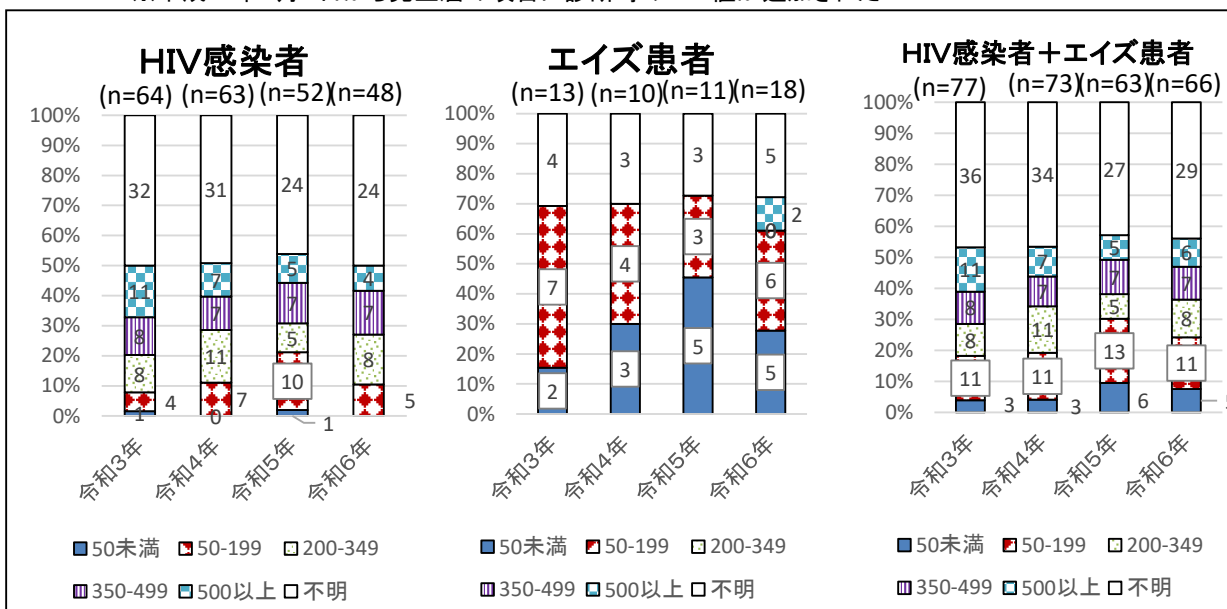


⑨感染地域別(HIV感染者・エイズ患者)



⑩新規報告数における診断時CD4値の分布<令和3年～令和6年>

※平成31年1月1日から発生届の項目に診断時のCD4値が追加された



第165回エイズ動向委員会 委員長コメント
 《令和6年 HIV感染者・エイズ患者の年間新規報告数（確定値）》

【概要】

1. 今回の報告期間は、令和6年1月1日～12月31日の1年間
2. 新規HIV感染者報告数は、662件（過去20年間で、2番目に少ない報告数）
3. 新規エイズ患者報告数は、332件（過去20年間で、4番目に少ない報告数）
4. HIV感染者とエイズ患者を合わせた新規報告数は994件
 （過去20年間で、3番目に少ない報告数）

【感染経路・年齢等の動向】

1. **新規HIV感染者：**
 - 同性間性的接触によるものが417件（全新規HIV感染者報告数の約63%）
 - 異性間性的接触によるものが106件（全新規HIV感染者報告数の約16%）
 - 静注薬物によるものは0件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、20～30歳代が多い。
2. **新規エイズ患者：**
 - 同性間性的接触によるものが170件（全新規エイズ患者報告数の約51%）
 - 異性間性的接触によるものが54件（全新規エイズ患者報告数の約16%）
 - 静注薬物によるものは1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、30～50歳代が多い。

【検査・相談件数の概況】

1. 保健所等におけるHIV抗体検査件数は108,988件
 （過去20年間で、6番目に少ない件数）
2. 保健所等における相談件数は84,144件
 （過去20年間で、4番目に少ない件数）

【まとめ】

1. 令和6年の新規HIV感染者報告数は、令和5年と比べおおむね横ばい（-約1%）であるが、保健所等での検査件数の伸びが鈍化していることが影響している可能性がある点に留意し、今後の状況を注視していく必要がある。
2. 令和6年の新規エイズ患者報告数は、令和5年と比べ増加（+約14%）し、令和4年より2年連続で増加となった。これは、新型コロナウイルス感染症の流行等により保健所等でのHIV検査件数が減少していたことにより、エイズを発症するまで診断を受けていなかった患者が増えていることと、外国国籍のエイズ患者報告数の増加による可能性があるが、そのトレンドが変わってきている可能性も疑われるため、今後の状況を注視していく必要がある。そのため、新規報告数全体に占めるエイズ患者報告数の割合は33.4%と過去20年間で最も高い割合となっている。

3. 新規H I V感染者の感染経路は、性的接触によるものが約 79%（うち約 80%が同性間）、新規エイズ患者では約 67%（うち約 76%が同性間）となっている。また、新規H I V感染者・新規エイズ患者ともに、男性が全体の 9 割を超えている。
4. 保健所等におけるH I V抗体検査件数は、前年に比べおおむね横ばい（+約 3%）である。新型コロナウイルス感染症の流行以前の水準にはまだ達していないこともあり、検査件数の更なる増加が必要だと考えられるが、検査件数の解釈については詳細な検討が必要である。保健所及び自治体におかれては、エイズ予防指針を踏まえ、引き続き利便性に配慮したH I V検査相談体制を推進していただきたい。
5. 献血時のH I V抗体・核酸増幅検査における 10 万件当たりの陽性件数は令和 5 年と比べて増加した。近年と比較し件数が多いわけではないが、今後の状況を注視していく必要がある。なお、H I V感染リスクがある方は、保健所等での無料・匿名検査や医療機関による検査を受けていただきたい。
6. H I V感染症は予防可能な感染症であり、適切な予防策をとることが重要である。また、エイズ発症予防のためには、早期診断と早期治療が重要である。感染予防と早期診断は、社会における感染の拡大防止にもつながることから、首都圏を始め都市部、また都市部以外の地域においても、梅毒などの性感染症を含め、保健所等での無料・匿名の検査・相談や医療機関による検査を積極的にご利用いただきたい。

新規H I V感染者・エイズ患者報告数、検査・相談件数（年次推移）

新規HIV感染者・エイズ患者報告数

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
78	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011	976	940	903	750	742	632	669	24,532
39	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437	413	377	333	345	315	252	291	10,849
117	101	97	238	493	363	434	446	610	647	653	831	791	953	922	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,544	1,529	1,449	1,590	1,546	1,434	1,448	1,389	1,317	1,236	1,095	1,057	884	960	35,381

速報値

< 上段: HIV感染者報告数 中段: エイズ患者報告数 下段: HIV感染者・エイズ患者の合計 >

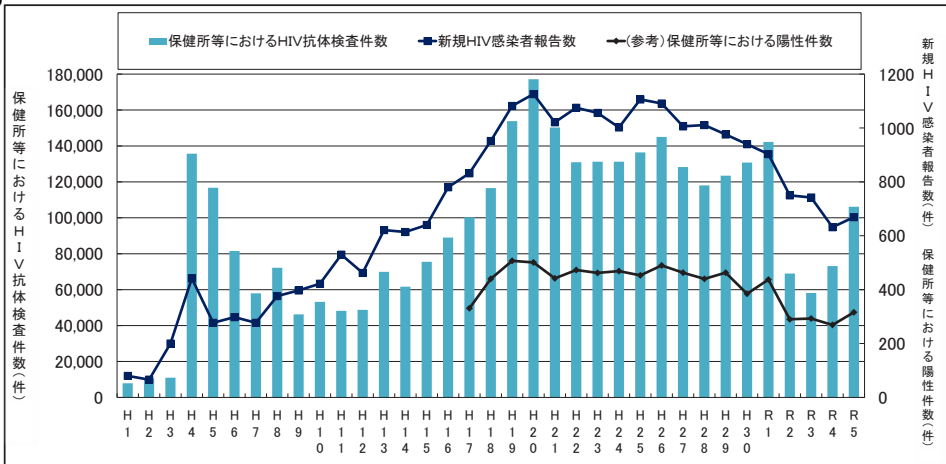
保健所等におけるHIV抗体検査件数

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計										
47,470	7,864	10,649	10,980	135,674	116,712	81,495	57,978	72,186	46,237	53,218	48,218	48,754	69,925	61,652	75,539	89,004	100,287	116,550	153,816	177,156	150,252	130,930	131,243	131,235	136,400	145,048	128,241	118,005	123,432	130,759	142,260	68,998	58,172	73,104	106,137	3,355,580										
																	(参考) 保健所等における陽性件数	331	440	507	501	442	473	462	469	453	490	463	440	463	385	437	290	293	269	316	-									

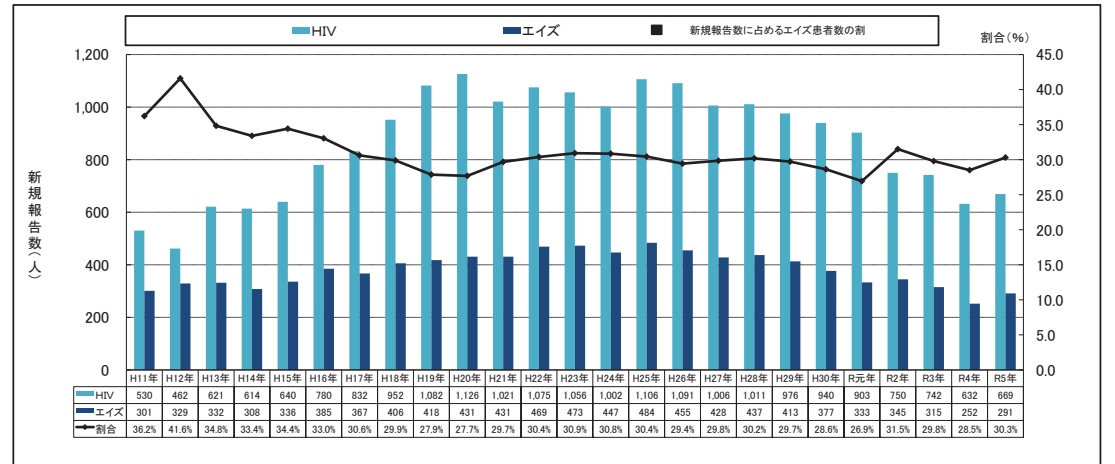
保健所等における相談件数

S63まで	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計
132,004	14,603	17,458	18,002	251,926	245,299	175,837	124,735	172,641	96,735	111,046	103,206	107,266	141,269	108,911	130,153	146,585	161,474	173,651	214,347	230,091	193,271	164,264	163,006	153,583	145,401	150,993	135,282	119,378	123,768	127,830	129,695	66,519	54,551	67,009	86,088	4,757,877

新規HIV感染者報告数、保健所等におけるHIV抗体検査件数

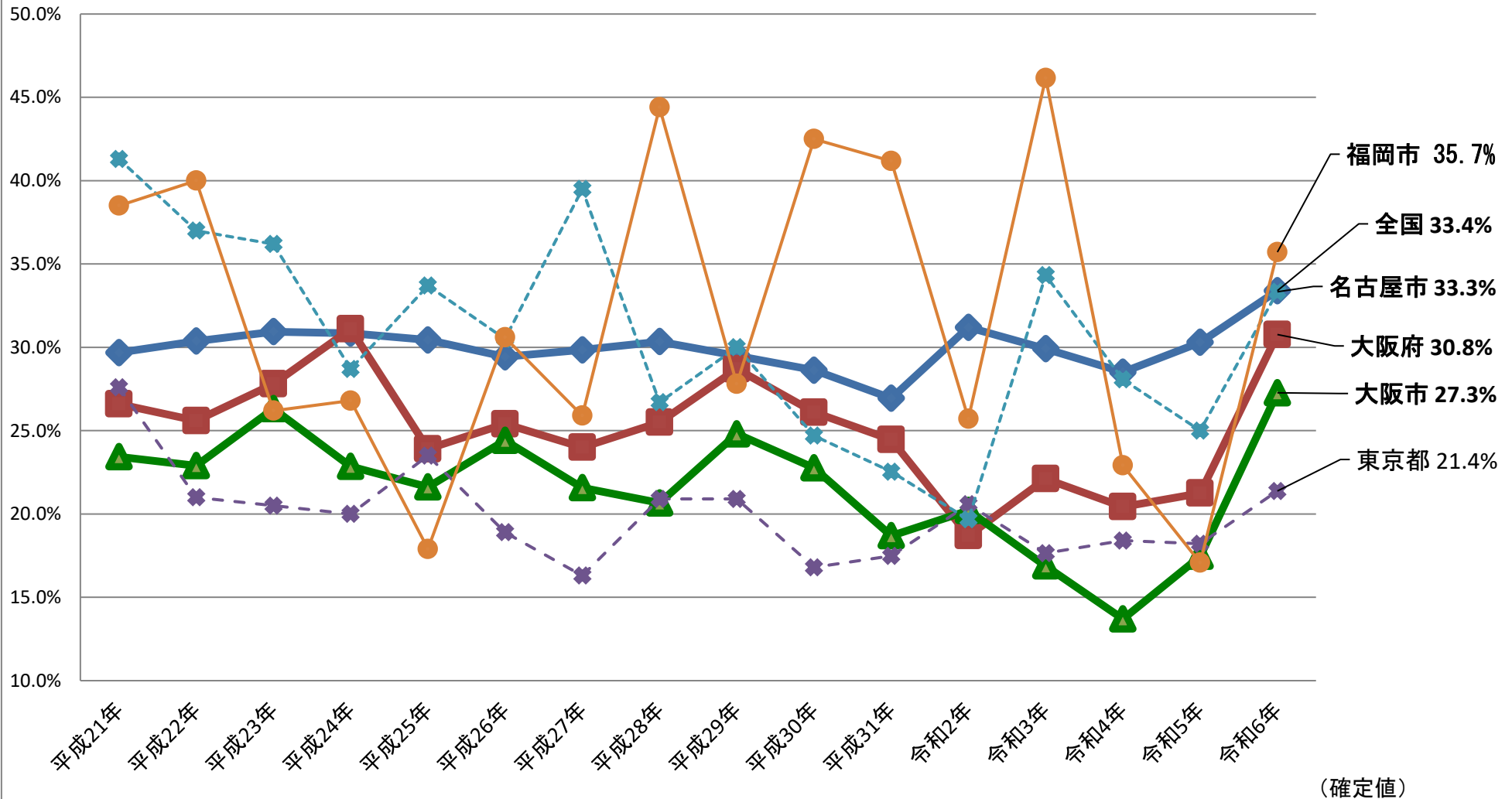


新規HIV感染者・エイズ患者報告数に占めるエイズ患者数の割合



新規報告数(HIV感染者+エイズ患者)に占めるエイズ患者の割合

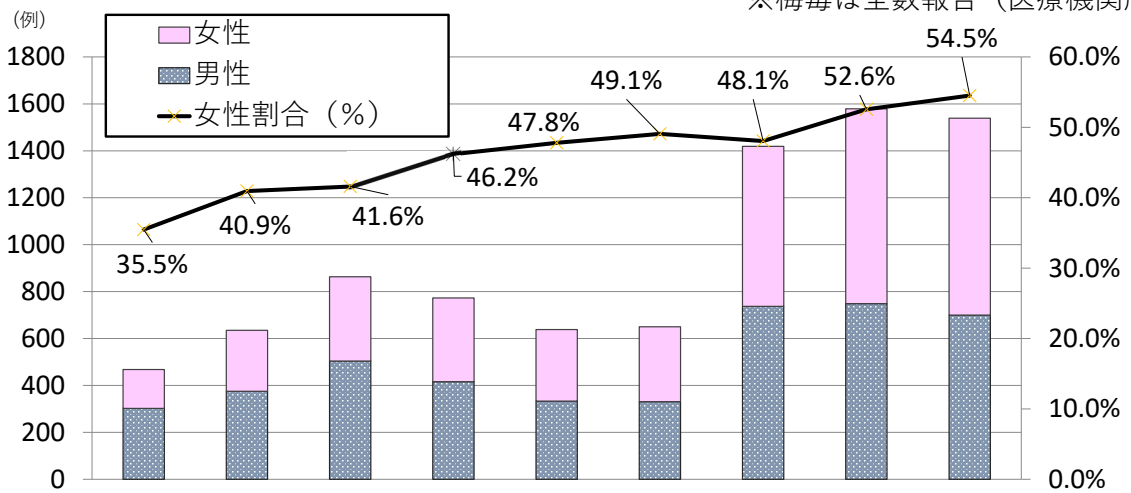
-14-



(確定値)

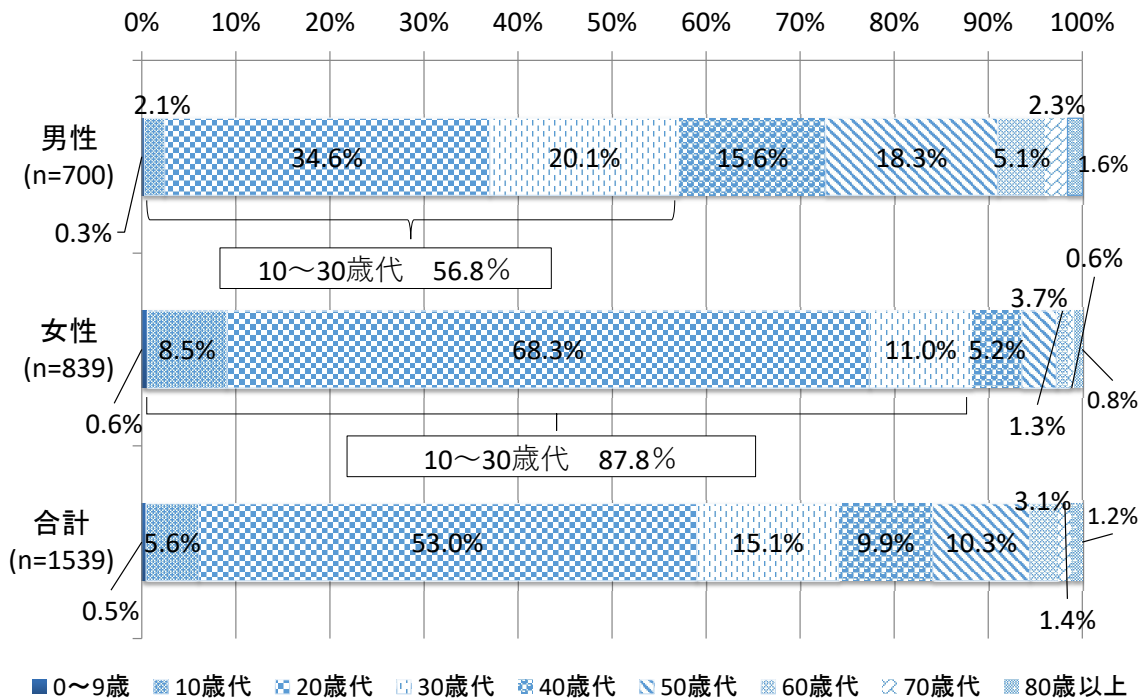
梅毒 男女別報告数推移 (大阪市)

※梅毒は全数報告 (医療機関所在地)



	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
男性	302	375	504	416	333	331	737	749	700
女性	166	260	359	357	305	319	682	830	839
計	468	635	863	773	638	650	1419	1579	1539
先天梅毒	0	1	2	2	1	3	1	2	7

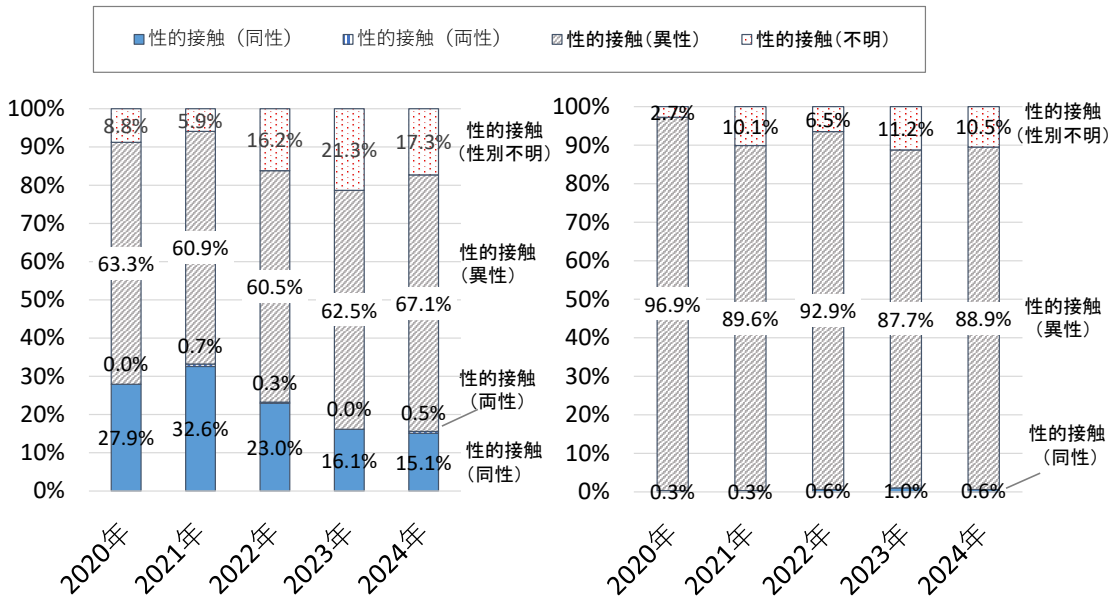
2024年 梅毒 男女別年代別割合



感染経路別届出割合推移 (性的接触のみ)

男性

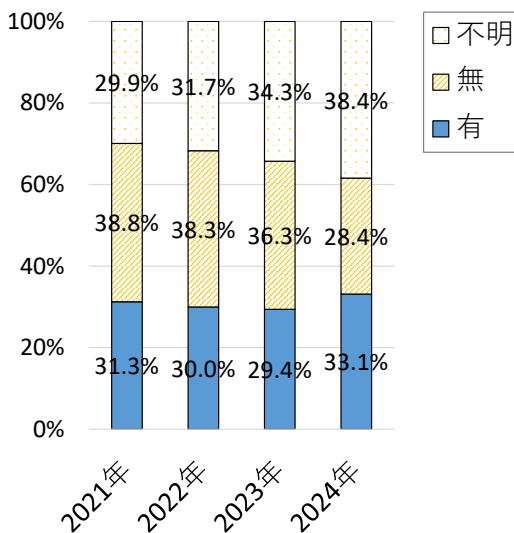
女性



男性間性的接触の割合は減少傾向

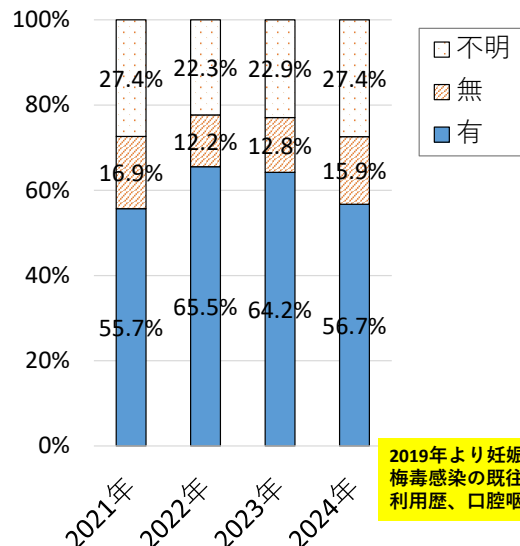
【性風俗産業】 (直近6ヶ月以内の従事歴・利用歴) 男性・利用歴と女性・従事歴 報告数推移

利用歴 男



男性のうち「利用歴あり」は横ばい

従事歴 女

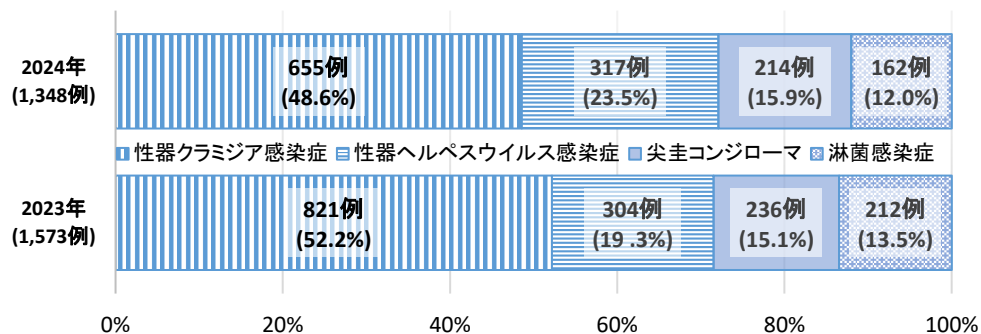


女性のうち「従事歴あり」は増加傾向

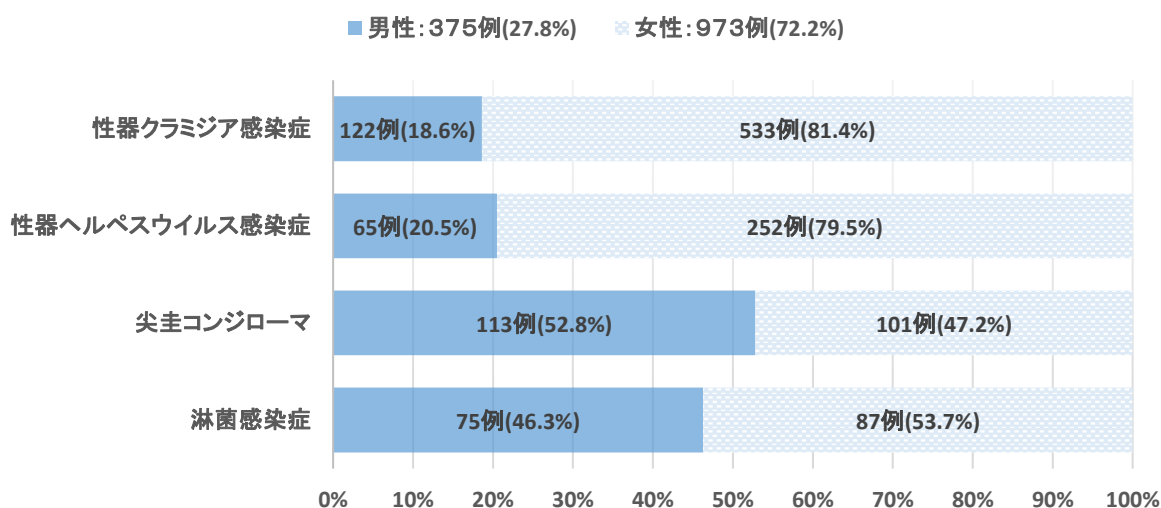
2019年より妊娠、HIV感染症合併、梅毒感染の既往、性風俗産業従事歴・利用歴、口腔咽頭病変の有無が追加

性感染症定点報告の発生動向(大阪市)

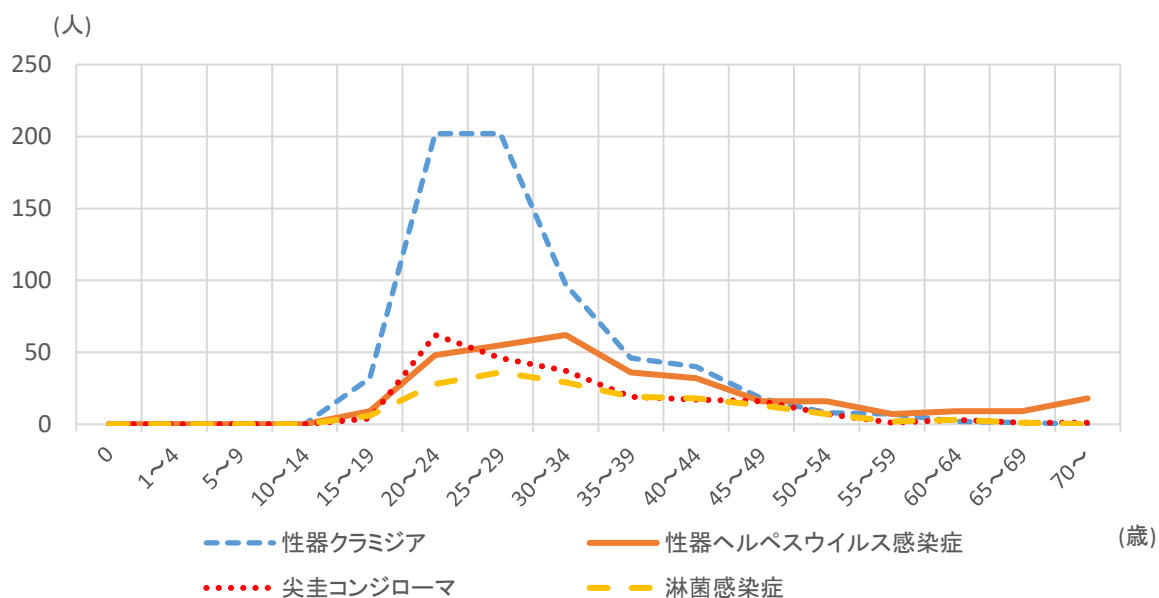
疾患別割合(男女計)



疾患別・男女別件数比較 2024年



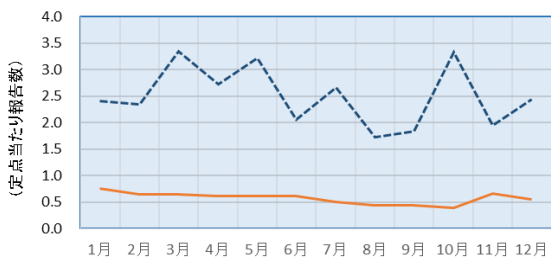
疾患別・年齢別患者報告数(男女計) 2024年



性感染症定点報告の発生動向(大阪市)

1) 性器クラミジア感染症

月別定点あたり報告数(2024年)



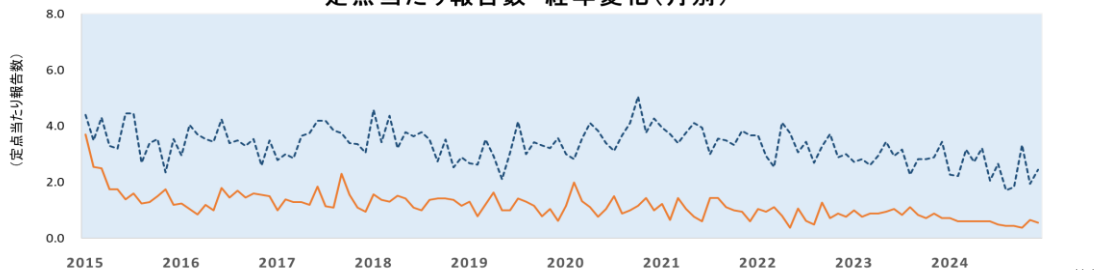
月別定点あたり報告数

月	1	2	3	4	5	6
女性	2.41	2.35	3.35	2.72	3.22	2.06
男性	0.76	0.65	0.65	0.61	0.61	0.61

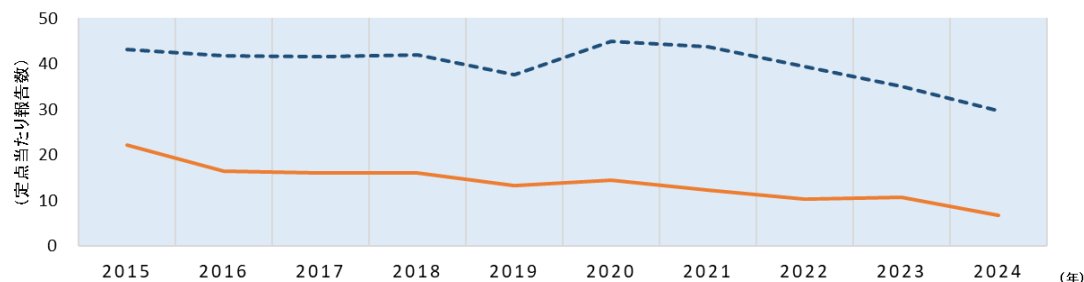
月	7	8	9	10	11	12
女性	2.67	1.72	1.83	3.33	1.94	2.44
男性	0.50	0.44	0.44	0.39	0.67	0.56

年平均	計	10年間の定点あたり数の平均
2.51	30.06	39.88
0.57	6.89	13.87

---女 ---男
定点あたり報告数 経年変化(月別)

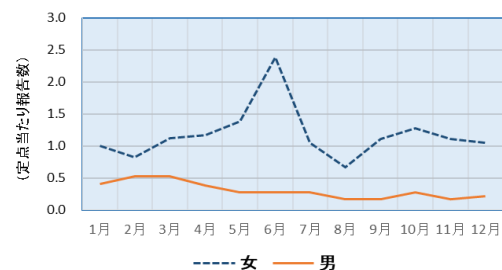


定点あたり報告数 経年変化(年別)



2) 性器ヘルペスウイルス感染症

月別定点あたり報告数(2024年)



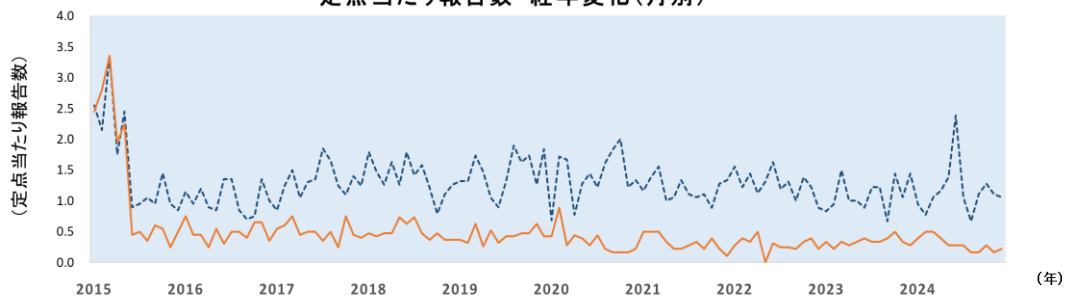
月別定点あたり報告数

月	1	2	3	4	5	6
女性	1.00	0.82	1.12	1.17	1.39	2.39
男性	0.41	0.53	0.53	0.39	0.28	0.28

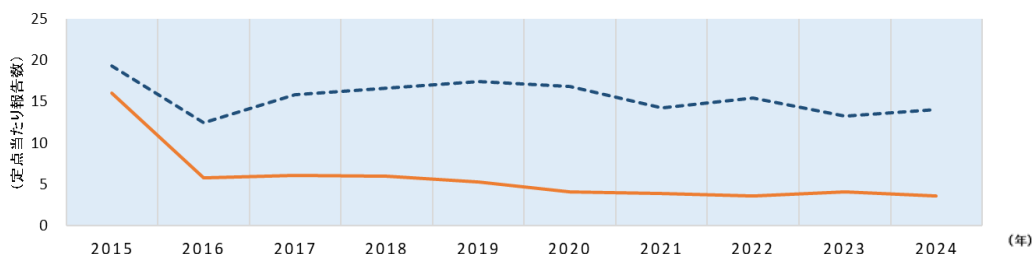
月	7	8	9	10	11	12
女性	1.06	0.67	1.11	1.28	1.11	1.06
男性	0.28	0.17	0.17	0.28	0.17	0.22

年平均	計	10年間の定点あたり数の平均
1.18	14.16	15.53
0.31	3.69	5.83

---女 ---男
定点あたり報告数 経年変化(月別)



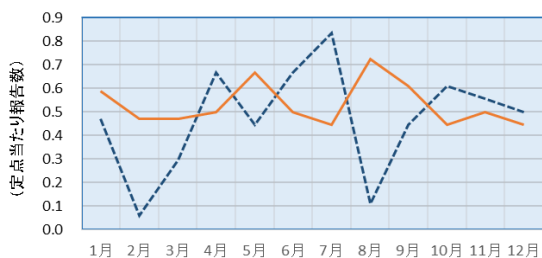
定点あたり報告数 経年変化(年別)



性感染症定点報告の発生動向(大阪市)

3) 尖圭コンジローマ

月別定点当たり報告数(2024年)



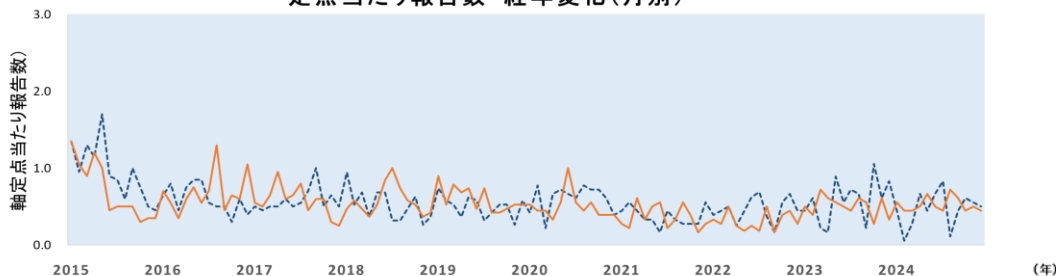
月別定点あたり報告数

月	1	2	3	4	5	6
女性	0.47	0.06	0.29	0.67	0.44	0.67
男性	0.59	0.47	0.47	0.50	0.67	0.50

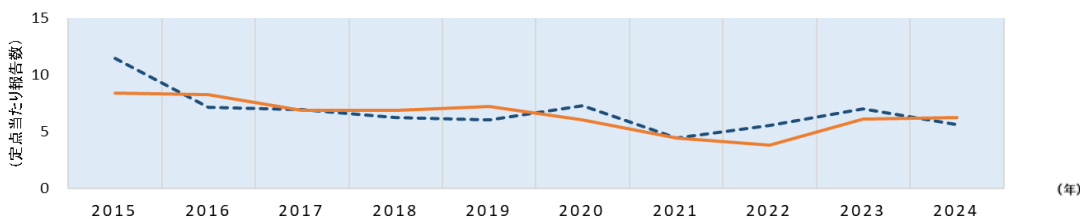
月	7	8	9	10	11	12
女性	0.83	0.11	0.44	0.61	0.56	0.50
男性	0.44	0.72	0.61	0.44	0.50	0.44

年平均	計	10年間の定点あたり数の平均
0.47	5.66	6.79
0.53	6.36	6.44

定点当たり報告数 経年変化(月別)

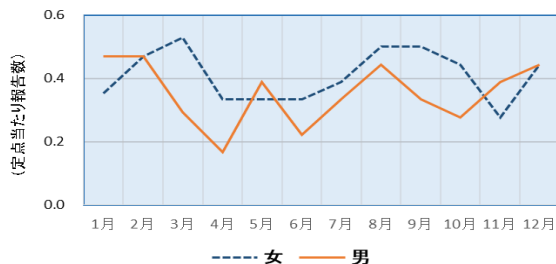


定点当たり報告数 経年変化(年別)



4) 淋菌感染症

月別定点当たり報告数(2024年)



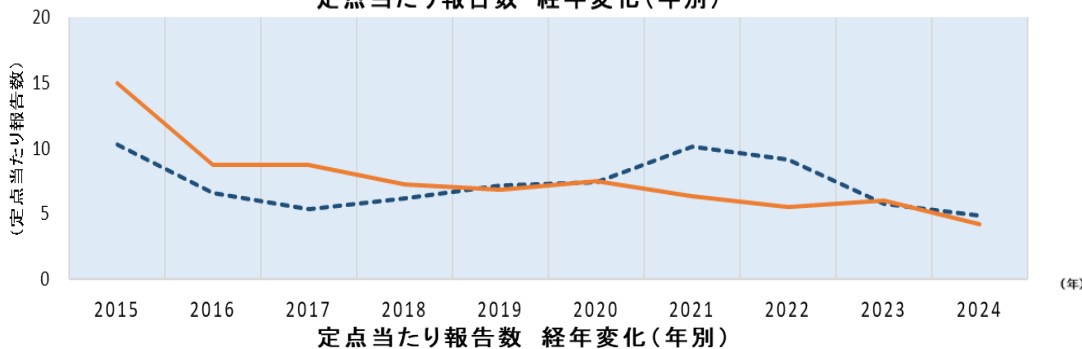
月別定点あたり報告数

月	1	2	3	4	5	6
女性	0.35	0.47	0.53	0.33	0.33	0.33
男性	0.47	0.47	0.29	0.17	0.39	0.22

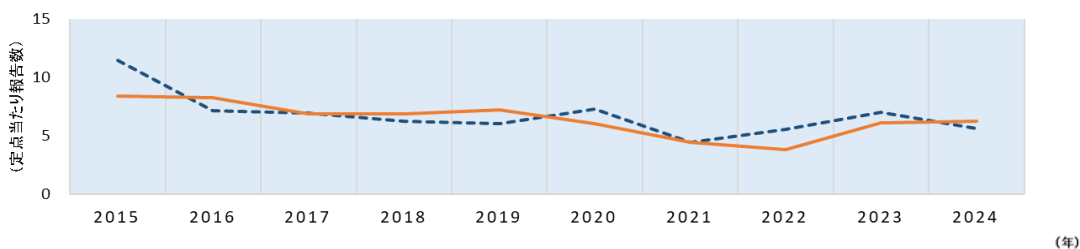
月	7	8	9	10	11	12
女性	0.39	0.50	0.50	0.44	0.28	0.44
男性	0.33	0.44	0.33	0.28	0.39	0.44

年平均	計	10年間の定点あたり数の平均
0.41	4.91	7.28
0.35	7.44	7.59

定点当たり報告数 経年変化(年別)



定点当たり報告数 経年変化(年別)



第4次大阪市エイズ対策基本指針

実績及び評価

目 次

第4次大阪市エイズ対策基本指針実績及び評価

- ◇第4次大阪市エイズ対策基本指針 年次（度）別目標値・実績値一覧表・・・22 頁
- ◇大目標・副次目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24 頁
- ◇基本施策1 正しい知識の普及啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・28 頁
- ◇基本施策2 HIV検査・相談体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・37 頁
- ◇基本施策3 HIV陽性者の生活支援のための保健・医療・福祉の連携強化・42 頁
- ◇基本施策4 施策の実施状況とその効果の分析・評価・・・・・・・・・・45 頁

【参考資料】

- 検査を受ける人を対象としたアンケート結果(令和6年度)・・・・・・参考資料-1 頁
- 令和6年 後天性免疫不全症候群 発生届出医療機関別割合・・・・・・参考資料-12 頁

第4次大阪市エイズ対策基本指針 年次(度)別目標値・目標割合について

	令和2年(度) 実績値・ 実績割合	年次(度)別目標値・目標割合				
		令和4年(度)	令和5年(度)	令和6年(度)	令和7年(度)	令和8年(度) (最終目標)
大目標						
新規エイズ患者報告数 ※1	19人	19人	19人	18人	17人	16人以下
副次目標						
HIV検査受検者数	8,540人	9,232人	9,924人	10,616人	11,308人	12,000人以上
MSMのHIV検査受検者数	2,377人	2,615人	2,852人	3,090人	3,328人	3,500人以上
新規報告数(HIV感染者+エイズ患者)に 占めるエイズ患者の割合 ※1	※2 21.6%	20%以下	20%以下	20%以下	20%以下	20%以下
1 正しい知識の普及啓発						
大阪市ホームページ(HIV等検査のページ) の閲覧数	84,155回	88,363回	92,571回	96,778回	100,986回	105,000回以上
MSMの過去6か月間のコンドーム常用割合	30.1%	31%	32%	33%	34%	35%以上
MSM受検者で過去に検査を受けたことのある 者のうち過去1年の間に受けている者の割合	61.1%	62%以上	64%以上	66%以上	68%以上	70%以上
性風俗産業の従事者受検者で過去に検査を 受けたことのある者のうち過去6か月の間に受 けている者の割合	61.6%	62%以上	64%以上	66%以上	68%以上	70%以上
全市立中学校のうち、HIV研修を受講した 教職員が在籍する学校の割合	※3 38.6%	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
HIV研修受講後、受講内容を生徒の教育 に活かすと答えた教職員の割合	※3 95.8%	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
2 HIV検査・相談体制の充実						
HIV検査受検者数	8,540人	9,232人	9,924人	10,616人	11,308人	12,000人以上
MSMのHIV検査受検者数	2,377人	2,615人	2,852人	3,090人	3,328人	3,500人以上
3 HIV陽性者の生活支援のための保健・医療・福祉の連携強化						
研修受講後、HIV陽性者の受け入れを肯定 した福祉関係者数	※3 55.6%	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上

注) ※1の実績値及び目標値は、年度(4月～翌3月)ではなく年次(1月～12月)である。

注) ※2の実績割合は、平成29年から令和2年までの平均実績割合である。

注) ※3の実績割合は、平成29年度から令和2年度までの平均実績割合である。

第4次大阪市エイズ対策基本指針 年次(度)別実績値・実績割合について

	令和2年(度) 実績値・ 実績割合	令和6年(度) 目標値・ 目標割合	年次(度)別実績値・実績割合					
			令和4年(度)	令和5年(度)	令和6年(度)	令和7年(度)	令和8年(度) (最終評価年)	
大目標								
新規エイズ患者報告数 ※1	19人	18人	10人	11人	18人	(1月～9月) 5人	-	
副次目標								
HIV検査受検者数	8,540人	10,616人	13,837人	14,575人	13,740人	-	-	
MSMのHIV検査受検者数	2,377人	3,090人	3,292人	3,352人	3,434人	-	-	
新規報告数(HIV感染者+エイズ患者)に 占めるエイズ患者の割合 ※1	21.6% ※2	20%以下	13.7%	17.5%	27.7%	(1月～9月) 8.3%	-	
1 正しい知識の普及啓発								
大阪市ホームページ(HIV等検査のページ) の閲覧数	84,155回	96,778回	137,745回	129,756回	117,899回	-	-	
MSMの過去6か月間のコンドーム常用割合	30.1%	33%	26.9%	26.1%	25.6%	-	-	
MSM受検者で過去に検査を受けたことのある 者のうち過去1年の間に受けている者の割合	61.1%	66%以上	59.1%	67.3%	66.1%	-	-	
性風俗産業の従事者受検者で過去に検査を 受けたことのある者のうち過去6か月の間に受 けている者の割合	61.6%	66%以上	61.3%	61.1%	58.2%	-	-	
全市立中学校のうち、HIV研修を受講した 教職員が在籍する学校の割合 ※3	38.6% ※3	70%以上	87.4%	91.7%	99.3%	-	-	
HIV研修受講後、受講内容を生徒の教育 に活かすと答えた教職員の割合 ※3	95.8% ※3	90%以上	91.5%	98.1%	97.6%	-	-	
2 HIV検査・相談体制の充実								
HIV検査受検者数	8,540人	10,616人	13,837人	14,575人	13,740人	-	-	
MSMのHIV検査受検者数	2,377人	3,090人	3,292人	3,352人	3,434人	-	-	
3 HIV陽性者の生活支援のための保健・医療・ 福祉の連携強化								
研修受講後、HIV陽性者の受け入れを肯定 した福祉関係者数 ※3	55.6% ※3	70%以上	78.1%	73.2%	86.3%	-	-	

注) ※1の実績値及び目標値は、年度(4月～翌3月)ではなく年次(1月～12月)である。

注) ※2の実績割合は、平成29年から令和2年までの平均実績割合である。

注) ※3の実績割合は、平成29年度から令和2年度までの平均実績割合である。

令和6年度（次）の実績及び取り組み状況評価

1 大目標・副次目標

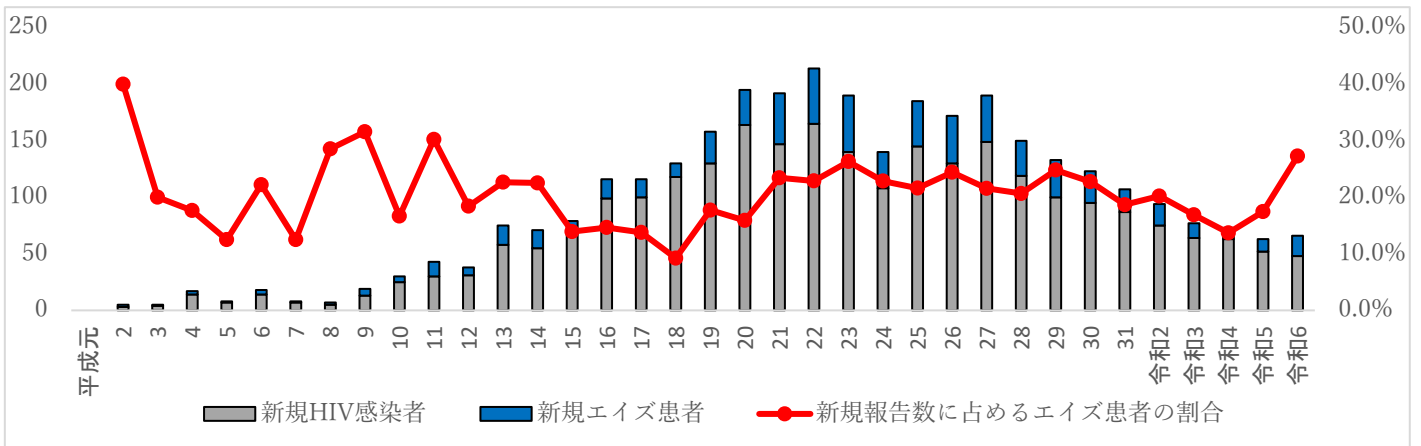
大目標

今後5年間でエイズ患者報告数を15%減少させる

令和2年：19人 → 令和8年目標値：16人以下（15%減少：16.15人）

(基準年) 令和2年 実績値	(参考) 令和3年 実績値	年次別実績値				
		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年 (最終評価年)
19人	13人	10人	11人	<u>18人</u>	—	—
年次別目標値		19人	19人	18人	17人	16人以下

【大阪市における新規H I V感染者・新規エイズ患者年次別報告数推移】



年	平成23	24	25	26	27	28	29	30	31(令和元)	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7 (1月～9月) 1～40週
新規エイズ患者 (人)	50	32	40	42	41	31	33	28	20	19	13	10	11	18	5
新規HIV感染者 (人)	140	108	145	130	149	119	100	95	87	75	64	63	52	48	55
エイズ患者割合 (%)	26.3	22.9	21.6	24.4	21.6	20.7	24.8	22.8	18.7	20.2	16.9	13.7	17.5	27.3	8.3

- 令和6年の新規エイズ患者報告数は、昨年より増加しているが年次別目標値を達成している。
- 平成29年以降、新規H I V感染者報告数及び新規エイズ患者報告数は、ともに減少傾向にあったが、令和6年より新規エイズ患者報告数は増加に転じた。

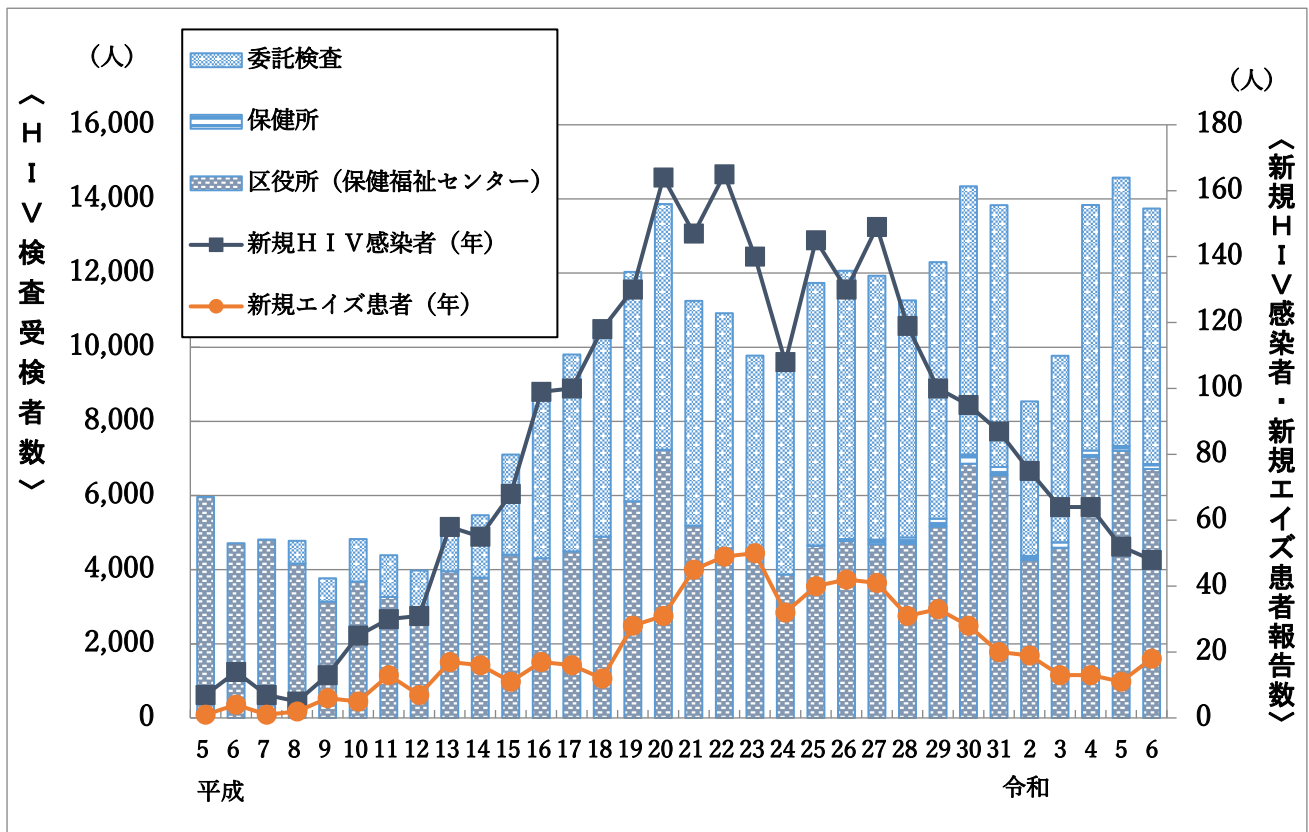
副次目標（1）

年間のH I V検査受検者数を今後5年間で12,000人以上にする

令和2年度：8,540人 → 令和8年度：12,000人以上

(基準年度) 令和2年度 実績値	(参考) 令和3年度 実績値	年度別実績値				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終評価年度)
8,540人	9,769人	<u>13,837人</u>	<u>14,575人</u>	<u>13,740人</u>	—	—
年度別目標値		9,232人	9,924人	10,616人	11,308人	12,000人以上

【大阪市におけるH I V検査受検者数の推移】



- 令和6年度は、昨年度より受検者数が減少したが、年度別目標値を大きく上回って最終年度目標値を達成した。
- 令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による受検者数の減少がみられていたが、令和4年度以降は、梅毒患者報告数の増加の影響を受け受検者が増加したと思われる、新型コロナウイルスが流行する前の平成31年度（13,833人）の水準に戻っている。

副次目標（２）

年間のMSMのH I V検査受検者数を今後５年間で50%増加させる

令和２年度：2,377人(推計値) → 令和８年度：3,500人以上(推計値)

(基準年度) 令和２年度 実績値[推計]	(参考) 令和３年度 実績値[推計]	年度別実績値[推計] カッコ内は全受検者に占めるMSM受検者の割合				
		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度 (最終評価年度)
2,377人 (27.8%)	2,616人 (26.8%)	3,292人 (23.8%)	3,352人 (23.0%)	3,434 (25.0%)	—	—
年度別目標値[推計]		2,615人	2,852人	3,090人	3,328人	3,500人以上

※MSM：Men Who Have Sex with Men（男性間で性的接触を行う者）

- 令和６年度は、年度別目標値を達成した。
- MSM受検者の全体に占める割合〔推計〕、令和５年度に比較すると増加がみられる。
コロナ前の平成31年度は、23.6%（3,258人）であった。

<MSMのH I V検査受検者数 推計人数の算出方法>

次の①と②の和により推計人数を算出する。

① 3区保健福祉センター、委託検査場のMSM受検者数

「検査をうける人を対象としたアンケート」の結果からMSM受検割合を算出し、H I V検査受検者数に乗じて算定

②MSM向けH I V検査における受検者数

<参考> 令和６年度のMSMのH I V検者数（推計値）の算定例

（3区保健福祉センター・委託検査場のH I V検査受検者数 13,621人）×（3区保健福祉センター・委託検査場のアンケートの結果から算出したMSMの割合 24.3%）+MSM向けH I V検査受検者数 119人
 $\Rightarrow 13,621 \times 0.2434 + 119 = 3,434$

副次目標（3）

新規報告数（H I V感染者＋エイズ患者）に占めるエイズ患者の割合を毎年 20%以下にする
 平成 29 年～令和 2 年平均：21.6% → 毎年 20%以下

(基準年) 平成 29 年 ～令和 2 年 実績割合 (平均)	(参考) 令和 3 年 実績割合	年次別実績割合				
		令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年 (最終評価年)
21.6%	16.9%	<u>13.7%</u>	<u>17.5%</u>	27.3%	—	—
年次別目標割合		20%以下	20%以下	20%以下	20%以下	20%以下

- 令和 6 年は、年次別実績割合を達成しなかった。

考察 ～大目標・副次目標の達成状況から～

- 大目標である、エイズ患者報告数は達成しているが、副次目標（3）の新規報告数に占めるエイズ患者の割合は昨年実績より増加が見られ、達成していない。コロナ禍にH I V検査受検者数が減少後、令和 4 年度以降は増加しコロナ禍前の水準に戻っているが、潜在的なH I V感染者が発見できていないことが考えられ、エイズで発見される患者の増加が懸念されるため、今後も動向を注視すべきである。
- 梅毒患者の増加に伴い、H I V感染者の増加も懸念されるため、梅毒の動向を見据え、今後も梅毒対策も含めたH I V対策を引き続き実施していく必要がある。

2 基本施策と具体的な取り組み

基本施策1 正しい知識の普及啓発

【事業目標】

1. 市民に対し、H I V感染症・エイズ・性感染症の正しい知識や検査・相談体制・医療体制等についての情報を広く周知する。
2. H I V感染症・エイズに対する正しい知識の普及啓発により、差別や偏見をなくすとともに、個人の感染予防行動がとりやすくなるような地域・学校・職場等の環境を醸成する。

1. 広域的な普及啓発

(1) 本市ホームページ・SNS・啓発媒体の充実

《数値目標》大阪市ホームページ（H I V等検査のページ）の閲覧数を今後5年間で25%増加させる

《評価方法》ホームページ解析による1年間の閲覧数の実績により把握

(基準年度) 令和2年度 実績値	(参考) 令和3年度 実績値	年度別実績値				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終評価年度)
84,155回	105,790回	137,745回	129,756回	117,899回	—	—
年度別目標値		88,363回	92,571回	96,778回	100,986回	105,000回 以上

- 令和6年度は、昨年度に引き続き年度別目標値を上回り、最終年度目標値を達成した。

○本市ホームページ「H I V/エイズ・性感染症ガイド」

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000549405.html>



- ・令和4年3月よりH I V・性感染症に関する情報の集約を行う専用ページを作成し、スマートフォンからも検索・閲覧しやすいページに全面改修した。H I V・その他性感染症の情報や検査情報、外国人向けページ、関係機関サイトへのリンクなど多様なニーズに対応できるよう情報の充実化を図った。
- ・検査を受ける人を対象としたアンケート【参考資料P1～11】では、検査の情報を本市ホームページで得たと答えた割合は、34.7%と最も多い。

○X(旧Twitter)「大阪市保健所H I V・性感染症情報ナビ」https://x.com/osakacity_hiv

- ・平成30年11月から、H I V・性感染症に関するタイムリーな情報発信のため、X(旧Twitter)アカウントを開設している。



	令和元年 9月11日時点	令和2年 9月8日時点	令和3年 7月1日時点	令和4年 10月27日時点	令和5年 5月18日時点	令和6年 5月13日時点	令和7年 7月31日時点
フォロワー	163人	362人	495人	578人	606人	596人	602人

令和6年度 投稿実績	合計	(再掲) 投稿内容内訳			
		H I V	梅 毒	検査情報	その他
投稿回数 (総投稿に占める割合)	43	11 (26%)	9 (21%)	21 (49%)	2 (5%)
インプレッション※ ¹ 数 (平均)	27,261 (634.0)	7,050 (640.9)	3,713 (412.6)	15,872 (755.8)	626 (313.0)
エンゲージメント※ ² 数 (平均)	767 (17.8)	173 (15.7)	238 (26.4)	333 (15.9)	23 (11.5)
エンゲージメント率(%)※ ³	14.6	2.5	6.4	2.1	3.7

※1インプレッション：当ポストがユーザーのタイムライン上に表示された回数

※2エンゲージメント：ユーザーが当ポストに反応（詳細表示・リポスト等）した回数

※3エンゲージメント率：閲覧者のうち反応した割合（エンゲージメント数÷インプレッション数）

- ・1投稿に対するインプレッション数（タイムライン上に表示された回数）が高かったのは、「検査」だった。
- ・1投稿に対するエンゲージメント数（詳細表示するなどの反応が多かった数）が高かった投稿内容は「梅毒」、エンゲージメント率（閲覧数に対する反応の割合）が高かった投稿内容も「梅毒」だった。
- ・「その他」はコンドームの内容を投稿

○Instagram「osakacity_hiv_sti (Instagram) 大阪市保健所感染症対策課 (H I V・性感染症専用)」
https://www.instagram.com/osakacity_hiv_sti/

- ・令和5年3月から、画像や動画を中心とした情報発信のため、Instagram アカウントを開設している。令和7年7月31日時点で、32回投稿している。
- ・リーチしたアカウント数※¹合計が2,094回、インタラクション※²合計が36回、プロフィール※³合計27回、ビュー※⁴合計が、2,300回だった。



※1リーチしたアカウント数：投稿やストーリーズが表示されたユーザーの数

※2インタラクション：投稿への「いいね!」、保存、コメント、シェアの件数から、「いいね!」の取り消し、保存の取り消し、コメントの削除の件数を引いた数

※3プロフィール：投稿にアクションを実行した人が、その後プロフィールにアクセスして実行したアクションの数

※4ビュー：投稿が再生または表示された回数

【課題及び今後の方向性】

- ・本市ホームページの閲覧数は令和6年度も年度別目標を達成しているが、昨年度と比較すると9.1%減少している。検査を受ける人を対象としたアンケートにおいても、検査の情報を本市ホームページで得たと答えた割合は、34.7%と最も多いものの令和5年度(37.5%)より2.8%減少している。今後も閲覧数が増加するように、引き続き情報発信していく必要がある。
- ・無関心層への情報発信については課題がある。X (旧 Twitter)、Instagram と連携して情報発信するとともに、関心の高い記事に関連付けるなどにより、SNSの閲覧が増える発信方法の工夫を引き続き行い、本市ホームページの閲覧につながる努力が必要である。
- ・リーフレット・ポスターなどの啓発媒体により、自分事として認識して検査受検等の行動につながるよう、特に若年者のニーズや現状を把握し、作成や啓発方法を工夫する必要がある。

(2) U=Uの認知状況の把握及び周知

○U=Uの認知状況

年度		検査受検者	
		全体	MSM
令和4年度 (令和4年10月～ 令和5年3月)	よく知っている	16.7%	28.2%
	聞いたことがあるが中身をよく知らない	24.5%	33.1%
	全く知らない	56.7%	37.7%
令和5年度	よく知っている	20.7%	36.2%
	聞いたことがあるが中身をよく知らない	27.2%	34.7%
	知らない	50.9%	28.6%
令和6年度	よく知っている	24.4%	42.5%
	聞いたことがあるが中身をよく知らない	28.0%	34.3%
	知らない	46.3%	22.7%

年度		教職員 研修受講者	福祉関係者 研修受講者
		令和5年度	以前から知っていた
令和5年度	前回の本研修ではじめて聞いた	27.3%	—
	はじめて聞いた	41.3%	79.4%
令和6年度	以前から知っていた	34.9%	30.5%
	前回の本研修ではじめて聞いた	25.1%	—
	はじめて聞いた	40.0%	68.4%

- 令和6年度の検査を受ける人を対象としたアンケートの集計結果より、「よく知っている」**24.4%**と、令和5年度より3.7%増加、「聞いたことがあるが中身をよく知らない」は28.0%と0.8%増加、「全く知らない」46.3%は4.6%減少した。MSMの回答では、「よく知っている」**42.5%**と令和5年度より6.3%増加、「聞いたことがあるが中身をよく知らない」34.3%は0.4%減少している。今後も引き続き、正しく理解してもらえよう周知が必要である。
- 教職員向け研修では、令和3年度よりU=Uの内容を研修内で情報提供しており、令和6年度の研修受講後アンケートで、研修前に知っていた割合は**34.9%**。令和3～5年度の研修で知った割合が25.1%、知らなかった割合は40.0%であった。
- 令和6年度の福祉関係者向け研修後のアンケートでは、研修前に知っていた割合は**30.5%**と令和5年度の20.6%より9.9%増加、研修ではじめて知った割合は、68.4%であった。

○U=Uの周知

- U=Uに関する説明文を令和4年3月より、本市ホームページ上に掲載している。



Uちゃん Bibibi

- ・大阪府・大阪府内保健所設置市で作成している啓発冊子「おおさかエイズ情報NOW」に掲載している。
- ・教職員向け研修や福祉関係者向け健康教育、本市職員への内部研修などでU＝Uについて情報提供している。

【課題及び今後の方向性】

- ・U＝Uの認知度（「よく知っている」と回答した人の割合）は、検査受検者全体でみると約24.5%であり増加傾向であるが、「聞いたことがあるが中身をよく知らない」と答えた割合が27.9%と「よく知っている」と回答した人の割合が上回っている。さらに認知度が向上するように啓発を進める。
- ・MSMのU＝Uに対する認知度は全体と比較して高く、「聞いたことがあるが中身をよく知らない」と答えた割合より上回っている。引き続き、U＝Uの本来の意味やコンドームの使用の必要性についてなどの理解につながるよう周知が必要である。

(3) 地域・学校・職場への普及啓発

- ・「大阪市出前講座」に登録し、依頼があれば健康教育を実施している。
- ・区保健福祉センターでは、学校での健康教育の実施の他、検査普及週間及び世界エイズデーに際し、区役所内での啓発ブースの設置や、管内にある教育機関へ啓発媒体の配布、広報誌への掲載、SNSでの発信等を行った。

【課題及び今後の方向性】

- ・職場等で、感染者に対し、適切に対応できるよう普及啓発が必要である。引き続き、SNSや広報、出前講座等で正しい知識の普及啓発を行う。
- ・HIV／エイズについて正しく理解し、差別や偏見がなくなるような地域・学校・職場等の環境を醸成するよう、引き続き検査普及週間や世界エイズデーに関連した啓発を行う。

(4) 大阪府及び大阪府内保健所設置市との連携

○エイズ予防週間実行委員会（大阪府・大阪府内保健所設置市）による啓発

- ・公益財団法人エイズ予防財団主催「大阪エイズウィークス 2024」に参加し、賛同した団体・企業と協働して、企画の実施や広く市民に対する広報を展開した。
- ・「YouTube」「Instagram」広告にて啓発動画配信、啓発用ポケットティッシュ・付箋・不織布バックの作製を行った。
- ・大阪エイズ啓発フェスティバルや、FM802 開催イベント「FUNKY MARKET」、セレッソ大阪の試合において啓発物品の配布を行った。
- ・世界エイズデーに併せて大阪城のライトアップを行った。

○大阪府・大阪府内保健所設置市と協働で冊子を作成

- ・エイズ普及啓発冊子「おおさかエイズ情報NOW」を作製し（令和6年度本市分：3,620冊）、検査会場、健康教育等で活用。
- ・陽性者支援向け冊子「たんぼぼ」を2年に1回作製（令和6年度本市分：320冊）し、検査会場等で活用している。

- ・上記冊子の内容をホームページにてデジタルブック化して掲載している。

【課題及び今後の方向性】

- ・他自治体と啓発等の取り組みについて、情報交換・連携を行っていく。

2. ターゲット層への普及啓発

(1) 個別施策層

ア MSM対象

《数値目標》MSMの過去6か月間のコンドーム常用割合を今後5年間で5%増加させる

《評価方法》大阪市が実施したH I V検査会場での受検者アンケートにより把握

(基準年度) 令和2年度 実績割合	(参考) 令和3年度 実績割合	年度別実績割合				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終評価年度)
30.1%	25.1%	26.9%	26.0%	25.6%	—	—
年度別目標割合		31%	32%	33%	34%	35%以上

- 令和6年度は、年度別目標割合を達成しなかった。

《数値目標》MSM受検者で過去に検査を受けたことのある者のうち過去1年の間に受けている者の割合を今後5年間で70%以上にする

《評価方法》大阪市が実施したH I V検査会場での受検者アンケートにより把握

(基準年度) 令和2年度 実績割合	(参考) 令和3年度 実績割合	年度別実績割合				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終評価年度)
61.1%	59.6%	59.1%	<u>67.3%</u>	<u>66.1%</u>	—	—
年度別目標割合		62%以上	64%以上	66%以上	68%以上	70%以上

- 令和6年度は、減少がみられたが、年度別目標割合を達成した。

○MSMに対する普及啓発の主な取り組み

MASH大阪（大阪地区のMSMに対しH I V・性感染症の感染を予防するために働きかけ、MSMにおけるセクシャルヘルスの増進を目的に活動をしている団体）と協働し、NGO等の経験やノウハウを活かした効果的な啓発活動を行っている。

- ・MSMの中高年向け季刊誌「南界堂通信」をMASH大阪に委託し、検査の周知や正しい知識の普及を目的に、年2回（夏・冬）を発行している。
- ・MSM向けH I V検査「distaでピタッとちえっくん」および北区夜間検査のフライヤー作成と関連商業施設（ゲイバー、ハッテン場、その他関連店など）等への配布をMASH大阪へ依頼し、コミュニティのノウハウを活かした検査受検啓発をおこなっている。
- ・若年層への普及啓発として、MSM向けアプリにポップアップ広告を掲載している。
- ・MSM向けH I V検査では、H I Vや梅毒の症状、感染経路、適切なコンドームの使用方法、定期的な検査受検、曝露前予防投薬（P r E P）・U = Uに関する知識等に関して相談対応及び予防啓発を行っている。

○イベント検査において、コンドームや啓発物品を配付した。

【課題及び今後の方向性】

- ・MSM対象のコンドームの常用率、定期的な検査受検率は、令和5年度と比較し減少がみられた。引き続き、検査結果説明時にセーフターセックスや定期的な検査受検等についての予防啓発を行う。
- ・関係団体と引き続き連携し、コンドームの常用や年1回以上の定期受診の必要性を強調した啓発媒体の配布や検査場の周知・実施等を行う。

イ 性風俗産業の従事者対象

《数値目標》性風俗産業の従事者受検者で過去に検査を受けたことのある者のうち過去6か月の間に受けている者の割合を今後5年間で70%以上にする

《評価方法》大阪市が実施したH I V検査会場での受検者アンケートにより把握

(基準年度) 令和2年度 実績割合	(参考) 令和3年度 実績割合	年度別実績割合				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終評価年度)
61.6%	65.4%	61.3%	61.1%	58.5%	—	—
年度別目標割合		62%以上	64%以上	66%以上	68%以上	70%以上

▶ 令和6年度は、年度別目標割合を達成していない。

○性風俗産業の従事者に対する普及啓発の主な取り組み

性風俗などで働くセックスワーカーの健康と安全のために活動する団体（SWASH）と連携し、性風俗産業従事者の現状把握やノウハウを生かした効果的な啓発に取り組んでいる。

- ・梅毒に関する記事を協働で作成しSWASHが運営する情報サイトに掲載している。
- ・ホームページのリンクやX（旧 Twitter）フォローやリポストをして、性風俗産業従事者へ情報が届きやすいよう工夫している。
- ・路上に立つ売春の客待ちへの対策として、道路を黄色にペイントする活動をしているキタ歓楽街環境浄化推進協議会の定例会議に出席し、大阪市の梅毒発生動向・対策について報告、連携の協力を依頼した

【課題及び今後の方向性】

- ・性風俗産業の従事者の定期的な検査受検率はほぼ横ばいであり、引き続き、検査結果説明時にセーファーセックスや定期的な検査受検等についての予防啓発を行うとともに、より効果的な啓発方法を性風俗産業従事者の支援団体等と連携し検討する。
- ・本市における梅毒発生動向では、女性の6割以上が性風俗産業従事ありと報告があり、梅毒等の性感染症予防啓発も合わせて行う必要がある。
- ・性風俗産業従事者の支援団体等との連携により、性風俗従事者の現状把握を行い、より効果的な普及啓発を行う。

ウ 薬物使用者対象

令和6年度は、区保護司会及び厚生保護女性会に向けて健康教育を行い、大阪市こころの健康センターが作成した依存症の情報と相談先をまとめたリーフレット「薬物の問題でお困りの方へ」の配付を依頼した。また、府下の保護司が集まる機会でも、大阪市の出前講座勸奨リーフレットの配付を依頼した。

【課題及び今後の方向性】

- ・啓発媒体の作成や出前講座等について検討が必要であり、薬物依存症者への支援を行っている団体や関係機関等と引き続き情報収集等を行っていく。

(2) 青少年対象

ア 学校現場での教育の促進

○H I V感染症・エイズに関する健康教育 [実施人数(実施回数)]

対象	(参考) 平成30年度	(参考) 令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学生(一部教職員・保護者を含む)	77(1)	50(1)	0(0)	0(0)	0(0)
中学生(一部教職員・保護者を含む)	3,144(21)	635(5)	759(7)	410(3)	1,395(10)
高校生(一部教職員を含む)	481(2)	262(2)	140(1)	757(3)	78(1)
大学生	577(4)	739(4)	1,248(4)	1386(4)	1,005(4)
専門学校生・短期大学生	164(4)	64(1)	99(3)	106(3)	146(3)
教職員	306(1)	512(1)	462(1)	655(1)	840(1)
合計	4,749(33)	2,262(14)	2,708(16)	3,314(14)	3,464(19)

- ・小中高生や専門学校生等への健康教育は学校からの要請を受けて区保健福祉センターが中心に行っており、保健所は講演資料の提供・技術的支援を行っている。
- ・各区保健福祉センターにおいて、専門学校等へ啓発資料の配布を行っている。

○教職員向け研修「学校におけるH I V・性感染症講習会」

教育委員会事務局と連携し、市立小・中学校の教職員に対しH I V感染症・エイズ・性感染症に関する研修を実施した。

《数値目標》全市立中学校のうち、H I V研修を受講した教職員が在籍する学校の割合を毎年 70%以上にする

《評価方法》教職員向けのH I V研修実績により把握

(基準年度) 平成 29 年度 ～令和 2 年度 実績割合 (平均)	(参考) 令和 3 年度	年度別実績割合				
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度 (最終評価年度)
38.6%	80.0% (104/130 校)	87.4% (111/127 校)	91.7% (122/133 校)	99.3% (133/134 校)	—	—
年度別目標割合		70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上

➤ 令和 6 年度は、年度別目標割合を達成した。

《数値目標》H I V研修受講後、受講内容を生徒の教育に活かすと答えた教職員の割合を毎年 90%以上にする

《評価方法》教職員向けのH I V研修後のアンケートにより把握

(基準年度) 平成 29 年度 ～令和 2 年度 実績割合 (平均)	(参考) 令和 3 年度	年度別実績割合				
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度 (最終評価年度)
95.8%	88.2%	91.5%	98.1%	97.6%	—	—
年度別目標割合		90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上

➤ 令和 6 年度は、年度別目標割合を達成した。

- ・研修受講時期は、夏休みを含む時期に各学校で受講できるようオンデマンド研修を実施した。教育委員会事務局より各校 1 名以上の受講を呼びかけたため、9 割以上の小・中学校が受講した。(小学校 588 名・中学校 196 名・合計 784 名)
- ・令和 6 年度より大阪市立幼稚園(幼稚園職員)も対象に含め、56 名受講(51 校中 51 校受講)があった。
- ・受講者の内訳は、管理職 9.9%、養護教諭 44.5%、保健主事 6.7%、教諭 28.5%であった。
- ・研修の内容は、大阪市保健所より「H I V/エイズ・性感染症について」の講義に加え、外部講師として宮田りりい氏(関西大学 非常勤講師)に「H I V/A I D S と性の多様性」をテーマにご講義いただいた。
- ・今後もこのような講習会に参加したいかという質問に対し、参加したいと回答した割合が 98.7%であり、内容は適切であったと評価できる。
- ・大阪市教育委員会が発行した「生きる力を育む『性に関する指導』の手引き」では、この研修を市立小学校・中学校教職員の校内研修として位置づけており、連携して実施している。

○エイズ予防啓発冊子「エイズのはなし」

- ・市立中学校 3 年生を対象に配付した(令和 6 年度 20,700 冊)。冊子には、本市ホームページの「H I V/エイズ・性感染症ガイド」や「コンドームの使い方」にリンクするよう QR コードを掲載するなど、ホームページで正しい情報が得られるよう工夫している。
- ・教職員向け研修のアンケートによると、「授業で活用している」32.9%、「生徒へ配付のみしている」39.5%、令和 5 年度は「授業で活用している」33.3%、「生徒へ配付のみしている」

- 41.2%であり、授業での活用割合はやや減少している。
- ・中学生向けと青少年以上向けの冊子を作成し、デジタルブックをホームページ上に掲載している。
- ・教職員向けに「エイズのはなし」指導の手引きを作成し、教職員向けのポータルサイトに掲載している。活用状況は、39.5%であった。令和5年度は15.7%であったため、研修内で周知したところ、昨年度より増加がみられた。引き続き活用を促していく。

【課題及び今後の方向性】

- ・大阪市教育委員会では、「生きる力を育む『性に関する指導』の手引き」に基づき各学校において性教育を実施することを推進している。その一環として、H I V・性感染症予防教育も発達段階に応じて他教科と連携させた教育が必要である。引き続き、教育委員会事務局と連携し、教職員に対する研修や教育資材の提供を充実させていく必要がある。

イ 青少年に対する正しい知識の普及

- ・本市ホームページ「H I V／エイズ・性感染症ガイド」では、青少年が利用することの多いスマートフォンでの見やすさ・使いやすさを重視し、基本的な知識や検査・相談に関する情報の入手できるよう工夫している。
- ・H I V感染症・エイズ・性感染症に対する理解を深め、誤った認識やイメージを変えられるようなポスター・リーフレット・動画等の啓発媒体を作成し広く啓発している。
- ・令和4年度以降は、梅毒報告数が急増しているため、各区の成人の日記念のつどいでの梅毒啓発ティッシュの配布を、地下鉄掲示板における梅毒啓発ポスター掲示した。令和5年度以降、セレッソ大阪の試合会場での啓発媒体の配布など、若年者をターゲットに広く啓発を行い、それらの啓発媒体には、本市ホームページに二次元コードでリンクさせて正しい情報を閲覧できるよう工夫した。
- ・H I V検査普及週間、世界エイズデーに合わせて、大阪府専修学校各種学校連合会（連携機関：166校）、大学コンソーシアム大阪（連携機関：42校）を通じて各教育機関へ検査動画の配信を依頼した。

【課題及び今後の方向性】

- ・若年層（特に高校卒業後の時期）へ情報発信する機会が少ないため、学校教育の中での普及啓発の機会がある時期から十分に普及啓発を行い、高校卒業後の時期においても継続し正しい知識を持てるように教育委員会事務局との連携をし、情報発信を行う。
- ・梅毒患者報告が若年者を中心に急増していることから、H I Vと合わせて梅毒等性感染症に関する普及啓発が重要である。
- ・引き続き、本市ホームページにて正しい知識の情報発信を行うとともに、啓発媒体には本市ホームページのQRコードを掲載するなど、閲覧につながるような工夫が必要である。

(3) 外国人対象

- ・多言語版（英語・中国語・ベトナム語・フィリピン語・韓国語）で検査相談情報のリーフレットを作成し、ホームページに掲載するほか、国際交流センター、大阪出入国在留管理局、技能実習機構

など関係機関へ配架依頼をしている。

- ・令和4年度より、国際交流センターのメールマガジンで、6月のH I V検査普及週間と12月の世界エイズデーに関するメールを多言語で送信し、同じ文面をX（旧 Twitter）でも発信した。

<国際交流センターメールマガジン配信日・件数>

	令和5年5月30日	令和5年11月28日	令和6年6月28日	令和6年12月3日
日本語	1,675	1,674	1,675	1,712
英語	684	682	683	678
中国語	347	350	350	349
韓国語	258	258	256	255
合計	2,964	2,964	2,964	2,994

- ・国際交流センターにおいて、多言語版リーフレットの設置を依頼している。
- ・イベント検査において通訳付結果説明とし、1名の受検者に対し中国語の通訳により結果説明を行った。
- ・日本語学校の教員向け結核研修にて、H I V・性感染症について検査案内を中心に情報提供を行った。
- ・外国人の理解を深め、安心して相談できる体制を整えるため、相談対応する区保健福祉センター保健師・検査従事看護師への研修を実施した。
- ・検査場で看護師など職員がよく使用する文例の英訳を作成し、検査区へ送付した。
- ・日本語学校における結核健診時に、多言語版の検査情報リーフレットや啓発物品を配布した。
- ・大阪出入国在留管理局実施の「外国人のための無料何でも相談会」にて検査情報リーフレットの配布をし、相談ブースを設けた。

【課題及び今後の方向性】

- ・外国人が理解できる言語で検査や相談、医療が受けられるような体制となっているか、情報発信が十分に出来ているか、十分な検証を行う必要がある。
- ・N G O等関係団体・関係機関と連携し、検査相談体制を整え、効果的な普及啓発を行う。

基本施策2 H I V検査・相談体制の充実

【事業目標】

1. 市民がH I V感染を早期に把握できるよう、利便性にも配慮し、安心して検査・相談が受けられるような検査・相談体制を構築する。
2. 市民や医療機関等に対し、検査・相談体制について、あらゆる機会を通じて広く周知する。

【具体的な取り組み実績】

(1) 常設検査・相談の体制整備

○大阪市における常設検査体制

＜3区保健福祉センター・委託検査場 検査実施スケジュール（令和6年度）＞

検査場所・所在地・電話	最寄駅	検査項目	結果返却日	予約	月	火	水	木	金	土	日
北区役所 (保健福祉センター) 2階 電話 06-6313-9882	JR環状線 天満駅 または Osaka Metro 堺筋線 扇町駅 2-B出口	通常検査 HIV 梅毒 クラミジア	(注1) 原則1週間後 検査実施日時	予約 不要	9:30 11:00	-	14:00 15:30	-	9:30 11:00 (注3) 夜間検査あり	-	-
					-	9:30 11:00	9:30 11:00	9:30 11:00	-	-	
中央区役所 (保健福祉センター) 2階 電話 06-6267-9882	Osaka Metro 堺筋線・中央線 堺筋本町駅 3番出口	即日検査 HIV のみ	(注2) 当日の 約2時間後	-	-	-	-	-	14:00 15:00 (第1金曜日のみ実施)	-	-
淀川区役所 (保健福祉センター) 2階 電話 06-6308-9882	阪急電鉄 十三駅 東口	通常検査 HIV 梅毒 B型肝炎	原則1週間後 検査実施日時	(注4) 要 予約	-	-	-	-	-	-	-
中央区役所 (保健福祉センター) 2階 電話 06-6267-9882	Osaka Metro 堺筋線・中央線 堺筋本町駅 3番出口	即日検査 HIV のみ	(注2) 当日の 約2時間後	-	-	-	-	-	14:00 15:00 (第1金曜日のみ実施)	-	-
chot CAST チョットキャスト (大阪検査相談・啓発・支援センター) 中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋ビル4階 【問合せ・検査実施】 スマートらいふクリニック 電話 06-4708-5035 (検査実施時間帯のみ)	Osaka Metro 御堂筋線 心斎橋駅 5・6番出口 または Osaka Metro 堺筋線 長堀橋駅 7番出口	通常検査 HIV 梅毒 B型肝炎	原則1週間後 検査実施日時	(注2) 当日の 1~2時間後	(注4) 要 予約	-	18:00 19:50 【先着50名】	-	-	-	-
						-	-	-	18:00 19:30	-	14:00 15:30 (注5) 通訳付検査

・3区保健福祉センターでは、予約不要、北区夜間検査のみ定員を設けている。

・委託検査（府市共同事業）は、火曜日は予約不要、木・土・日は要予約（WEB予約）としている。

＜3区保健福祉センター・委託検査場・コミュニティセンターdista 受検者数及び陽性者数・陽性率＞

		(参考) 平成30年度	(参考) 令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
保健福祉 センター (3区合計)	受検者数	6,845人	4,594人	7,044人	7,209人	6,719人
	陽性者数	16人	15人	7人	12人	13人
	陽性率	0.23%	0.33%	0.10%	0.17%	0.20%
委託検査場 (chot CAST)	受検者数	7,059人	5,031人	6,622人	7,235人	6,889人
	陽性者数	26人	24人	33人	27人	25人
	陽性率	0.37%	0.48%	0.50%	0.34%	0.36%
コミュニティ センター dista	受検者数	209人	144人	171人	131人	119人
	陽性者数	1人	2人	1人	1人	0人
	陽性率	0.48%	1.39%	0.58%	0.76%	0%
合計	受検者数	14,113人	9,769人	13,873人	14,575人	13,727人
	陽性者数	43人	41人	41人	40人	39人
	陽性率	0.30%	0.42%	0.30%	0.27%	0.28%

< 3区保健福祉センターにおける検査時間帯別受検者数及び平均（臨時検査は除く） >

		実施回数	受検者数	1回あたりの平均受検者数
(参考) 平成30年度	午前	293回	4,258人	14.5人
	午後	93回	1,998人	21.5人
	午後（即日）	11回	244人	22.2人
	夜間	4回	345人	86.3人
(参考) 令和3年度	午前	292回	3,010人	10.3人
	午後	94回	1,279人	13.6人
	午後（即日）	12回	146人	12.2人
	夜間	3回	159人	53.0人
令和4年度	午前	292回	4,671人	16.0人
	午後	97回	1,960人	20.2人
	午後（即日）	12回	134人	11.2人
	夜間	3回	279人	93.0人
令和5年度	午前	292回	4,828人	16.5人
	午後	95回	2,083人	21.9人
	午後（即日）	10回	86人	8.6人
	夜間	2回	188人	94人
令和6年度	午前	293回	3,791人	12.9人
	午後	97回	1,839人	19.0人
	午後（即日）	10回	73人	7.3人
	夜間	4回	264人	66人

- ・新規HIV感染者・新規エイズ患者報告における届出医療機関のうち、検査場（保健所・保健福祉センター、委託検査場）が占める割合は、令和6年43.8%であった。【参考資料P12～13】
- ・検査場でのアンケート結果：【参考資料P1～11】

< 3区保健福祉センターでの通訳を必要とする外国人受検者数 > 検査申込書より

		北区	中央区	淀川区	計
令和4年度	全受検者	3,789	2,238	1,017	7,044
	通訳を必要とする外国人受検者	38 (1.0%)	23 (1.0%)	20 (2.0%)	81 (1.1%)
令和5年度	全受検者	3,819	2,252	1,138	7,209
	通訳を必要とする外国人受検者	79 (2.1%)	39 (1.7%)	10 (0.9%)	128 (1.8%)
令和6年度	全受検者	3,492	2,179	1,048	6,836
	通訳を必要とする外国人受検者	45 (1.3%)	24 (1.1%)	21 (2.0%)	90 (1.3%)

- ・言語内訳は検査申込書より、令和6年度は、英語64件、中国語14件、ベトナム語2件、その他10件（韓国5件、フランス語3件、スウェーデン語1件、ベネゼエラ語1）、令和5年度は英語100件、中国語16件、ベトナム語5件、ドイツ語2件、スペイン語2件、フランス語2件、ネパール語1件であった。

- ・3区保健福祉センターでの検査時は、多言語版（英語・中国語・ベトナム語・フィリピン語）の配付資料を作成し、活用している。通訳が必要な者への陽性告知は、NPO法人CHARMへ通訳派遣を依頼し実施している。

<委託検査場での外国籍受検者数>

	(参考) 平成31年度	(参考) 令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
外国籍受検者数 (全受検者に占める割合)	356人 (6.9%)	442人 (8.8%)	519人 (7.8%)	614 (8.5%)	689 (10.2%)
陽性者数	5人	2人	8人	7人	11人
陽性率 (外国籍陽性者/外国籍全受検者)	1.4%	0.5%	1.5%	1.1%	1.6%

- ・国籍内訳の主な国は、中国203件、ベトナム118件、フィリピン41件、アメリカ39件、韓国34件、台湾22件、フランス13件、その他173件、国籍不明1件だった。
- ・委託検査場ホームページの予約ページでは、日本語と英語の予約フォームを作成し、英語での説明文を掲載している。
- ・外国語による電話相談事業（NPO法人CHARMに委託）を利用して chat CASTへ予約することも可能としている。
- ・令和5年度より、月1回通訳付き検査を実施している。

<MSM向けHIV検査の実施状況>

	実施日時	実施回数	受検者数	陽性者数 (陽性率)	1回あたりの 平均受検者数
(参考)平成30年度	奇数月に1回(金～日) 17時～20時	6回	209人	1人 (0.48%)	34.8人
(参考)令和3年度	奇数月に1回(日) 15時～18時	6回	144人	2人 (1.39%)	24.0人
令和4年度	奇数月に1回(日) 15時～18時	6回	171人	1人 (0.58%)	28.5人
令和5年度	奇数月に1回(土日) 15時～18時	6回	131人	1人 (0.76%)	21.8人
令和6年度	奇数月に1回(土日) 15時～18時	6回	119名	0人 (0.0%)	19.8人

※実施場所：コミュニティセンターdista（MA SH大阪が運営しているコミュニティセンター）

- ・MA SH大阪が運営するコミュニティセンターdistaにて、MSM向けHIV検査（検査項目はHIVと梅毒）を実施した。
- ・検査時ガイダンス及び結果説明時の個別相談を実施し、主な相談内容はMA SH大阪に還元し、相談事項を共有している。

○大阪市における相談体制

＜保健所・保健福祉センターにおけるH I V・性感染症相談件数＞

年度	訪問	電話（延）	面接（延）	面接 （結果返却時）
（参考）平成 30 年度	実 8 件 延 16 件	1,485 件	69 件	6,675 件
（参考）令和 3 年度	実 3 件 延 3 件	564 件	8 件	4,498 件
令和 4 年度	実 1 件 延 4 件	868 件	43 件	6,778 件
令和 5 年度	実 2 件 延 2 件	1,166 件	29 件	7,052 件
令和 6 年度	実 1 件、延 1 件	981 件	19 件	6,510 件

＜エイズ専門相談（相談場面別）＞

年度	定例専門相談 （北・中央）	H I V 検査陽 性告知時	医療機関	計
（参考）平成 30 年度	79 件	12 件	14 件	105 件
（参考）令和 3 年度	14 件	14 件	28 件	56 件
令和 4 年度	36 件	5 件	27 件	68 件
令和 5 年度	23 件	10 件	17 件	50 件
令和 6 年度	38 件	9 件	0 件	47 件

・エイズ専門相談やH I V検査陽性告知時の専門相談の件数は、検査数・陽性者数の増減に連動していると考えられ、新型コロナウイルス感染症の影響による検査数・陽性者数の減少に伴い相談件数が減少していたが、令和 4 年度は検査数の増加に伴い相談件数が増加した。エイズ専門相談は、令和 6 年度の合計は減少しているが、定例専門相談（北・中央）は増加している。

＜外国語相談＞

- ・外国語による電話相談事業（NPO法人CHARMに委託）

対応言語：英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語

令和 4 年度実績：131 人、令和 5 年度実績：137 人、令和 6 年度実績：131 人

（参考）平成 29 年度～令和 3 年度平均 186 人

- ・大阪国際交流センターによるH I V・性感染症の検査相談先の案内

対応言語：英語・中国語・韓国語・フィリピン語・ベトナム語

令和 4 年度実績：6 人、令和 5 年度実績：0 人、令和 6 年度実績：0 人

（参考）平成 29 年度～令和 3 年度平均 2.6 人

- ・本市ホームページは、機械翻訳により情報が閲覧できるようになっているが、本市「H I V/エイズ・性感染症ガイド」のトップページに「For foreigners」の項目を作り、上記相談窓口を多言語で案内するページを作っている。

【課題及び今後の方向性】

- ・受検者アンケートによると、全時間帯に需要があり、現在の多様な時間帯の検査体制を継続していく必要がある。
- ・引き続き検査を受けている外国人の状況について把握し、理解できる言語で検査相談が受けられるよう体制を整備していく必要がある。

(2) イベント検査・相談等の実施

令和2年度以降、実施していなかったイベント検査を令和6年度は実施。

令和6年12月13日、HIV・梅毒即日検査を実施した。

13名受検し、初めて受検した人が10名(76.9%) MSM:3名(23.1%)、SW:2名(15.4%)であった。【参考資料1、3】

通訳付結果説明とし通訳が必要な外国籍は1名(7.6%)であった。

【課題及び今後の方向性】

- ・ イベント検査は、常設検査場の啓発ツールでもあるため、効果的なイベント検査の実施について引き続き検討を行っていく必要がある。また、引き続き利便性に配慮したHIV検査相談体制を推進していく必要がある。

(3) 広報等

○検査・相談体制に関する広報

- ・ 本市ホームページ内「HIV/エイズ・性感染症ガイド」では、トップページに「検査情報」「相談窓口」等の項目を作成し、リンクして情報を閲覧しやすいよう工夫している。
「検査情報」ページでは、曜日・時間ごとで検索できる表や、委託検査場の予約フォームへのリンク、写真等を使った検査の流れのイメージなど、受検行動につながるような情報を掲載している。
- ・ 多言語版の検査・相談リーフレットを作成し、ホームページに掲載している。
- ・ ホームページや紙媒体、アプリ広告、SNS等周知したい対象者に合わせて広報手段を変え、効果的に情報を伝えるように工夫している。

広 報	連 携 先
大阪市保健所 「HIV/エイズ・性感染症ガイド」(ホームページ) 「大阪市保健所HIV・性感染症情報ナビ」(X:旧Twitter) 「osakacity_hiv_sti」(Instagram)	各NGO等団体へのリンク、「HIV検査・相談マップ」 委託検査場「chot CAST」検査予約ページへのリンクなど
大阪市広報・区保健福祉センター ホームページ・SNS	
検査相談情報リーフレット(日本語・多言語版)	各区役所・関係機関・国際交流センター、大阪出入国在留管理局、外国人技能実習機構、杏林大学研究班など
HIV検査・相談マップ	厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV検査受検勧奨に関する研究」班
おおさかエイズ情報NOW・たんぼぼ	大阪府・府下保健所設置市
エイズのはなし	教育委員会事務局
南界堂通信	MASH大阪
検査広報 ・ チラシ、コンドーム、ティッシュなど配布 ・ 区役所広報紙、ポスター ・ X(旧Twitter)、MSM向けアプリポップアップ広告	MASH大阪、JHC、スマートらいふクリニックなど

○曝露前予防投薬（P r E P）について

- ・令和4年度以降の医療機関講習会では、曝露前予防投薬（P r E P）に関する内容を含めた講義を行っている。令和6年度のアンケートでは、受講者の24.2%がP r E Pをテーマとした講習会を希望している。
- ・検査受検者へのアンケートでは、検査を受けた目的が「P r E Pのため」と回答した者は、1.8%（令和5年度1.7%）、MSMは5.7%（令和5年度5.7%）であり、セックスをするときに使うものとして「P r E P」と答えたものは、3.1%（令和5年度2.5%）、MSM11.2%（令和5年度9.8%）であった。今後、P r E Pのために検査を受ける者が増加する可能性があり、検査受検者へP r E Pに対する情報提供のみならず、安全にかつH I Vの感染予防につながるような指導を行うなど、体制づくりが必要である。

【課題及び今後の方向性】

- ・SNSの活用やホームページの充実などにより、若年層を中心とした幅広い層への広報を効果的に行うよう、関係機関・関係団体等に情報を得ながら取り組んでいく必要がある。
- ・研究班やNGO等と連携し、受検行動につながる周知方法を検討していく必要がある。
- ・曝露前予防投薬（P r E P）については、国の見解を注視しながら、引き続き、定期受診が可能な医療機関等に関して情報収集していく必要がある。

基本施策3 H I V陽性者の生活支援のための保健・医療・福祉の連携強化

【事業目標】

1. 保健・医療・福祉の連携により、地域におけるH I V陽性者の支援体制を整え、H I V陽性者が安心して生活できる環境づくりを行う。
2. 高齢化に伴う合併症等の問題を抱えたH I V陽性者を支援するため、長期療養の環境整備を行う。

【具体的な取り組み実績】

（1）連携体制の充実

- ・大阪市立総合医療センター主催の定例カンファレンスに参加（令和6年度 8回）。新規H I V陽性者や治療中断患者等の医療上・生活上の問題点を情報共有することを中心に、在宅支援にかかる意見交換や医療機関・施設・調剤薬局との連携に関する情報収集を行っている。
- ・エイズ治療拠点病院等からの要請に応じ、NPO法人CHARMに委託して専門カウンセラーを派遣しており、令和6年度は0件（5年度：延17件）であった。
- ・H I V陽性者の療養支援については、各区保健福祉センターが適宜行っている。

（2）医療及び福祉関係者への意識啓発

- 医療機関向け講習会

令和4年度以降、動画視聴型にて研修を行っている。(感染症対策課結核グループと共催)
内科・呼吸器科・泌尿器科を標榜する診療所・薬局等へ個別通知にて周知した。

- ・テーマ：H I V診療アップデート～地域で診る時代の課題と対策～
講師：市立総合医療センター 感染症内科部長 白野倫徳氏
実施期間：令和7年2月15日～3月15日
- ・アンケート回収人数：(令和4年度) 221人、(令和5年度) 188人、(令和6年度) 157人
令和6年度の参加職種内訳：医師42名、薬剤師92名、看護師13名、歯科医師1名、
その他9名(職種不明)
(参考) 平成29年度～31年度平均：195人
(令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため未実施)

○保健所(保健福祉センター)が実施した福祉関係者への研修の実施状況

[実施人数(実施回数)]

対象	(参考) 平成30年度	(参考) 令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
介護保険 /居宅支援事業 者等	263人 (8回)	75人 (2回)	155人 (4回)	178人 (4回)	128名 (3回)
障がい福祉 /居宅支援事業 者等	60人 (4回)	0人 (0回)	71人 (4回)	79人 (2回)	67名 (2回)
合計	323人 (12回)	75人 (2回)	226人 (8回)	257人 (6回)	195人 (5回)

- ・福祉関係者への研修については、包括支援センターや障がい者基幹相談支援センター、在宅医療介護連携コーディネーター等の連絡会にてプレゼンテーションを行い、実施依頼につなげている。
- ・集合型・オンライン・ハイブリッド型など受講者の利便性を考慮した形式で行っている。
- ・令和5年度より、福祉関係者向けオンデマンド研修として健康局YouTubeに研修動画を公開している。令和6年度の受講後のアンケート回答は19名であった。

《数値目標》研修受講後、H I V陽性者の受け入れを肯定した福祉関係者を毎年70%以上にする
《評価方法》福祉関係者向けのH I V研修後のアンケートにより把握

(基礎年度) 平成29年度 ～令和2年度 実績割合(平均)	(参考) 令和3年度	年度別実績割合				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終評価年度)
55.6%	60.0%	<u>78.1%</u> (75人/96人)	<u>73.2%</u> (71人/97人)	<u>86.3%</u> (82/95人)*	—	—
年度別目標割合		70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上

➤ 令和6年度は、年度別目標割合を達成した。

- ・福祉関係者向け研修の受講後アンケートから、「H I V陽性者の受け入れ」について集約した。実数(*)は、(H I V陽性者を受け入れてもよいと回答した人数/アンケート回答者数)を記載した。

- ・「受け入れたくない理由」は、令和4・5年度は「関係者・家族等への説明が難しい」、令和6年度は「自分たちが感染する可能性がある」次いで「困った時にどこに相談したらいいかわからない」が多かった。
- ・福祉関係者のU=Uの認知度（研修受講前）は、30.5%であった。

・「U=Uを知って、H I V感染者やエイズ患者の受入れの不安が軽減したか」の回答状況

	不安が軽減し抵抗がなくなった	不安が軽減したがまだ受け入れる気持ちにはなれない	あまり変わらず不安がある	前から不安はなかった	無回答
令和4年度	57.3%	14.6%	8.3%	13.5%	6.3%
令和5年度	66.0%	13.4%	9.3%	11.3%	0.0%
令和6年度	69.5%	11.6%	5.3%	22.9%	0.0%

○福祉関係者向け啓発リーフレット

福祉関係者向け啓発リーフレットの周知状況（事業所数）

	介護事業者等集団指導	障がい福祉サービス事業所等集団指導
令和4年度	5,969	6,146
令和5年度	6,436	6,913
令和6年度	6,854	7,121

福祉関係者向け啓発リーフレットを作成し、介護事業者等集団指導及び障がい福祉サービス事業所等集団指導にて周知した。また、本市ホームページ内「H I V／エイズ・性感染症ガイド」にも掲載した。

○区保健福祉センター職員研修区保健福祉センターが地域においてH I V陽性者の療養支援を行えるよう、保健師向けにH I Vの理解を深める研修を実施している。

	新採用保健師研修	感染症対策に関する保健師研修（基礎編）	感染症対策に関する保健師研修（応用編）
令和4年度	60名（動画）	42名（動画）	実施なし（隔年で実施）
令和5年度	43名	36名（動画）	21名（動画＋集合型）
令和6年度	28名	31名	実施なし（隔年で実施）

（※聴講者を除く受講者のみ掲載）

【課題及び今後の方向性】

- ・連携が必要となった場合は、医療と介護の仲介として対応できるよう、引き続き拠点病院と連携していくことが重要である。
- ・福祉関係者への研修にて、受け入れに不安があったがU＝Uを知って不安が軽減し受け入れに抵抗がなくなった割合は80.0%であり、昨年度（74.4%）より増加し、効果的な啓発であったと言える。今後も、H I V感染症について正しく理解し、H I V陽性者に適切な支援が提供されるよう、継続した啓発の取り組みが必要である。
- ・療養支援が必要な事例については関係部局との連携を図り対応し、入所や施設利用に係り困難事例が生じた際は施設への聞き取り等により状況を把握し、必要に応じて施設職員を対象とした研修を実施していく。

<参考>受け入れに不安があったがU＝Uを知って不安が軽減し受け入れに抵抗がなくなった割合

「不安が軽減し受け入れに抵抗がなくなった」と回答した人数÷（回答者数－「前から不安なし」と回答した人数）×100
＝60÷（86-11）×100＝80.0%

基本施策4 施策の実施状況とその効果の分析・評価

【事業目標】

状況の変化への迅速な対応と効果的かつ効率的な実施のための的確な評価を行える体制を整え、H I V・エイズの発生動向や施策・事業の実施状況等を調査・分析するとともに、進捗管理と対策の見直し等の検討を行う。

【具体的な取り組み実績】

（1）エイズ対策評価委員会の開催

令和6年度は、令和6年10月25日に実施し令和5年度の実績及び取り組み状況を評価した。

（2）関係団体・関係機関連携会議の開催

令和5年度の実績の報告及び評価、今後の対策の検討のため、NGO等関係団体と意見交換を行った。

（3）感染症発生動向調査解析評価検討会の開催

2か月に1回、感染症発生動向調査解析評価検討会を開催し、後天性免疫不全症候群の発生動向について解析評価を実施した。

【参考資料】

H I V検査を受ける人を対象としたアンケート結果（令和6年度）

1 アンケート回収率

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
受検者数	6,889	3,492	2,179	1,048	13	13,621	-	-
回収数	4,901	3,363	1,982	817	13	11,076	2,696	528
回収率	71.1%	96.3%	91.0%	78.0%	100.0%	81.3%	-	-

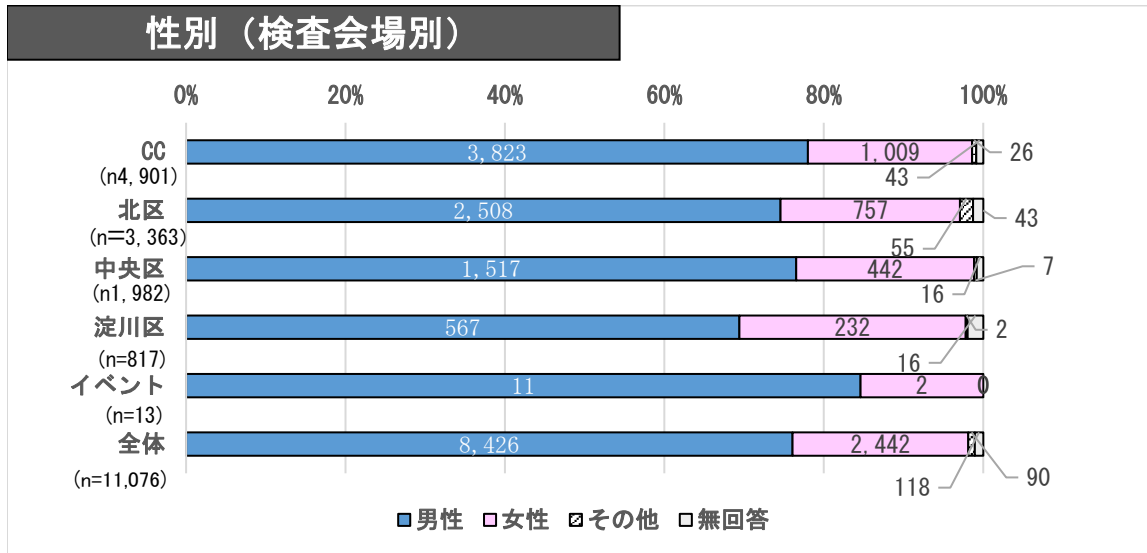
※CC：委託検査場 MSM：男性間で性的接触を行う者

SW：セックスワーカー（男女）

※MSM、SWは受検者数不明。

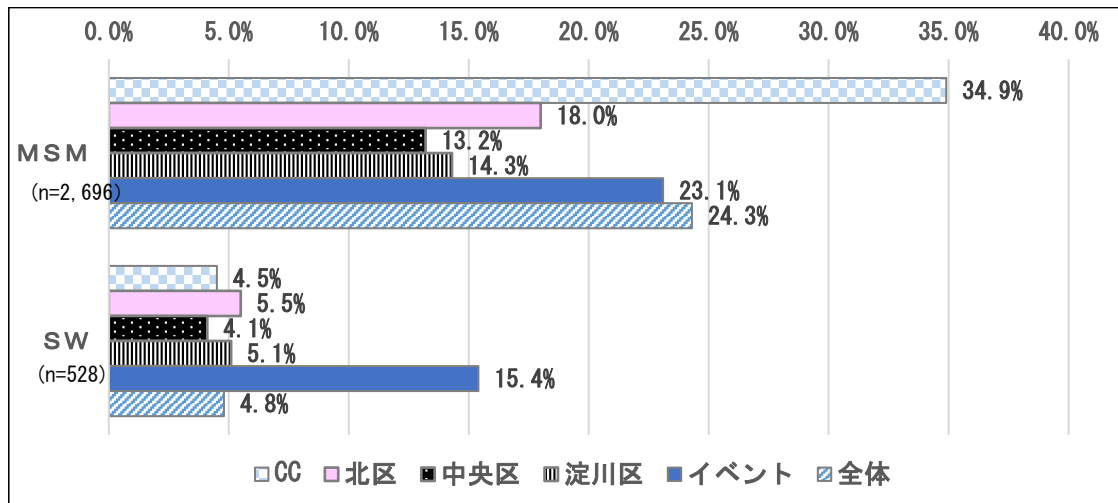
2 性別

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体
男性	3,823 (78.0%)	2,508 (76.5%)	11 (76.5%)	567 (69.4%)	11 (84.6%)	8,426 (76.1%)
女性	1,009 (20.6%)	757 (22.3%)	442 (22.3%)	232 (28.4%)	2 (15.4%)	2,442 (22.0%)
その他	26 (0.5%)	55 (0.4%)	7 (0.4%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	90 (0.8%)
無回答	43 (0.9%)	43 (0.8%)	16 (0.8%)	0 (2.0%)	0 (0.0%)	118 (1.1%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	476 (100.0%)	801 (100.0%)	13 (0.0%)	11,076 (100.0%)



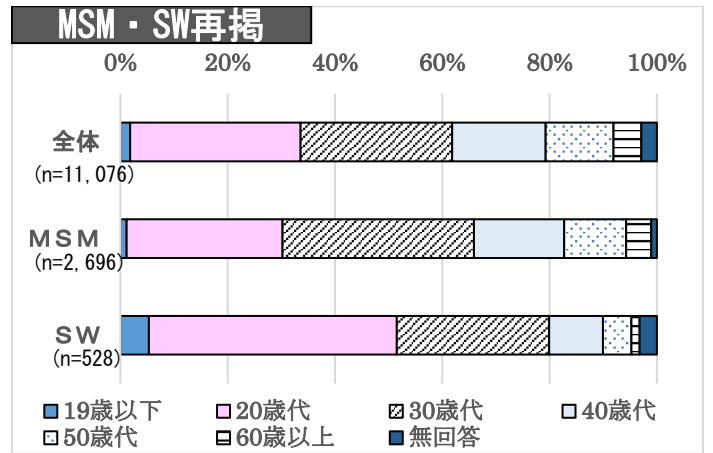
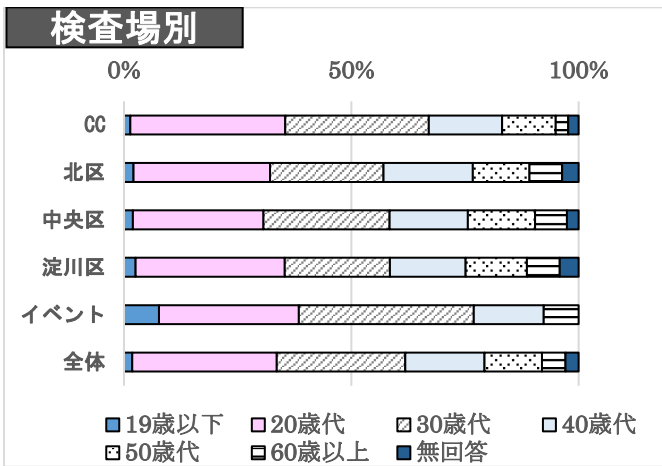
3 個別施策層の割合（MSM・SW）

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体
MSM	1,711 (34.9%)	604 (18.0%)	261 (13.2%)	117 (14.3%)	3 (23.1%)	2,696 (24.3%)
SW	219 (4.5%)	184 (5.5%)	81 (4.1%)	42 (5.1%)	2 (15.4%)	528 (4.8%)
計	4,901 (39.4%)	3,363 (23.5%)	1,982 (17.3%)	817 (19.4%)	13 (38.5%)	11,076 (100.0%)



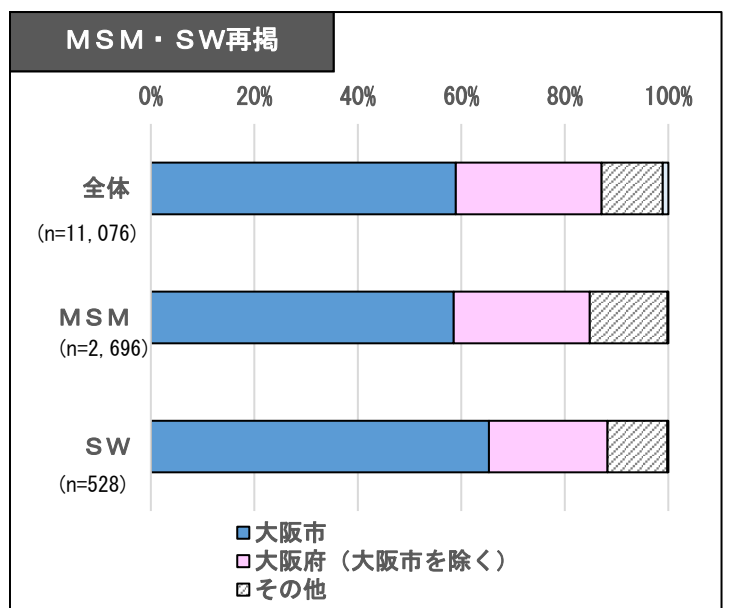
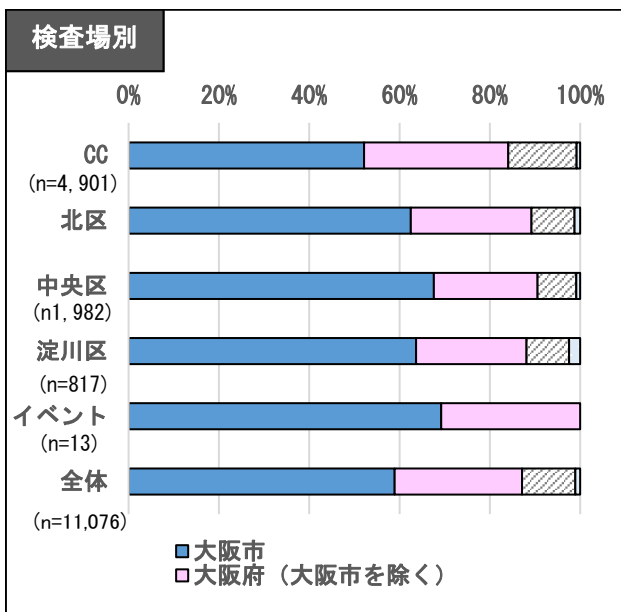
4 年齢

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
19歳以下	69 (1.4%)	71 (2.1%)	39 (2.0%)	21 (2.6%)	1 (7.7%)	201 (1.8%)	31 (1.1%)	28 (5.3%)
20歳代	1,670 (34.1%)	1,009 (30.0%)	569 (28.7%)	268 (32.8%)	4 (30.8%)	3,520 (31.8%)	784 (29.1%)	244 (46.2%)
30歳代	1,546 (31.5%)	840 (25.0%)	550 (27.7%)	189 (23.1%)	5 (38.5%)	3,130 (28.3%)	962 (35.7%)	150 (28.4%)
40歳代	791 (16.1%)	660 (19.6%)	341 (17.2%)	136 (16.6%)	2 (15.4%)	1,930 (17.4%)	453 (16.8%)	53 (10.0%)
50歳代	578 (11.8%)	419 (12.5%)	293 (14.8%)	110 (13.5%)	0 (0.0%)	1,400 (12.6%)	312 (11.6%)	28 (5.3%)
60歳以上	135 (2.8%)	242 (7.2%)	139 (7.0%)	59 (7.2%)	1 (7.7%)	576 (5.2%)	126 (4.7%)	8 (1.5%)
無回答	112 (2.3%)	122 (3.6%)	51 (2.6%)	34 (4.2%)	0 (0.0%)	319 (2.9%)	28 (1.0%)	17 (3.2%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	817 (100.0%)	13 (100.0%)	2,696 (100.0%)	2,696 (100.0%)	528 (100.0%)



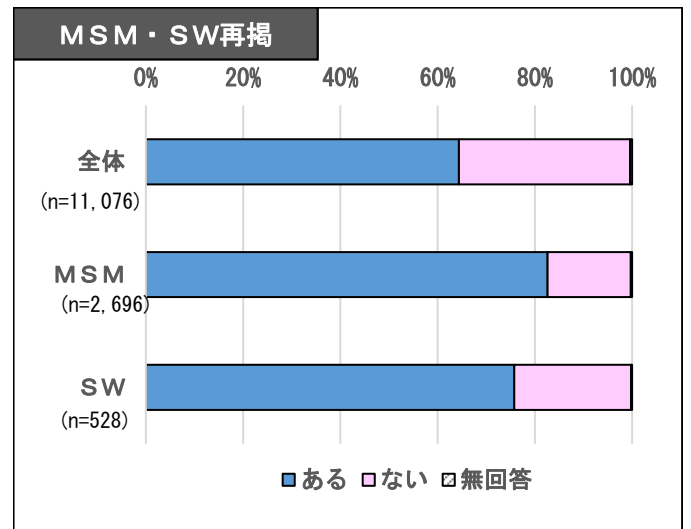
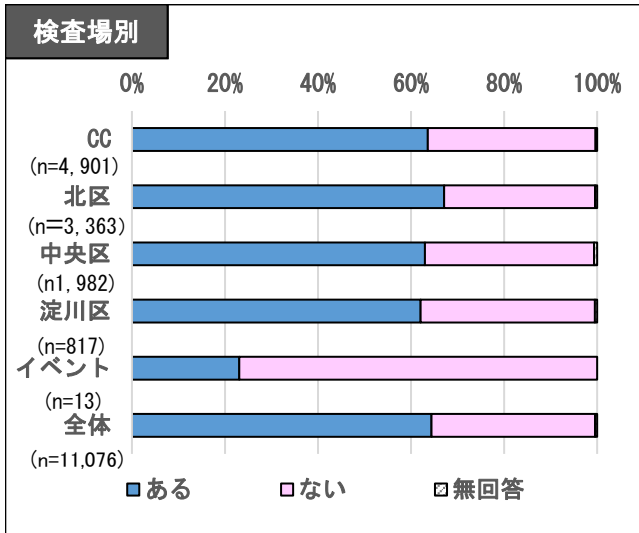
5 居住地

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
大阪市	2,556 (0.0%)	2,102 (0.0%)	1,340 (0.0%)	520 (0.0%)	9 (0.0%)	6,527 (0.0%)	1,578 (0.0%)	345 (0.0%)
大阪府 (大阪府を除く)	1,564 (0.0%)	898 (0.0%)	455 (0.0%)	200 (0.0%)	4 (0.0%)	3,121 (0.0%)	709 (0.0%)	121 (0.0%)
その他	742 (0.0%)	321 (0.0%)	170 (0.0%)	77 (0.0%)	0 (0.0%)	1,310 (0.0%)	405 (0.0%)	61 (0.0%)
無回答	39 (0.0%)	42 (0.0%)	17 (0.0%)	20 (0.0%)	0 (0.0%)	118 (0.0%)	4 (0.0%)	1 (0.0%)
計	4,901 (0.0%)	3,363 (0.0%)	1,982 (0.0%)	817 (0.0%)	13 (0.0%)	11,076 (0.0%)	2,696 (0.0%)	528 (0.0%)



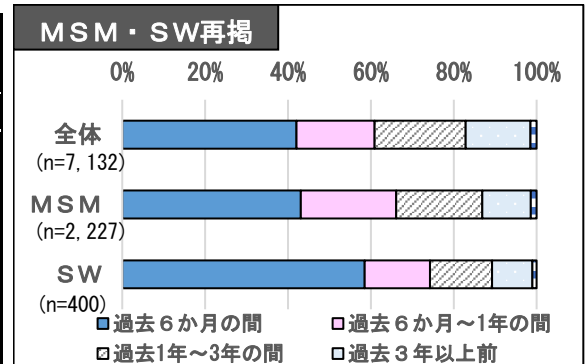
6 これまでにH I V検査を受けたことがありますか？受けたことがある方は、一番最近に受けたのはいつですか？

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
ある	3,117 (63.6%)	2,257 (67.1%)	1,248 (63.0%)	507 (62.1%)	3 (23.1%)	7,132 (64.4%)	2,227 (82.6%)	400 (75.8%)
ない	1,767 (36.1%)	1,091 (32.4%)	721 (36.4%)	306 (37.5%)	10 (76.9%)	3,895 (35.2%)	462 (17.1%)	127 (24.1%)
無回答	17 (0.4%)	15 (0.5%)	13 (0.7%)	4 (0.5%)	0 (0.0%)	49 (0.4%)	7 (0.3%)	1 (0.2%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	4 (100.0%)	13 (100.0%)	11,076 (100.0%)	2,696 (100.0%)	528 (100.0%)



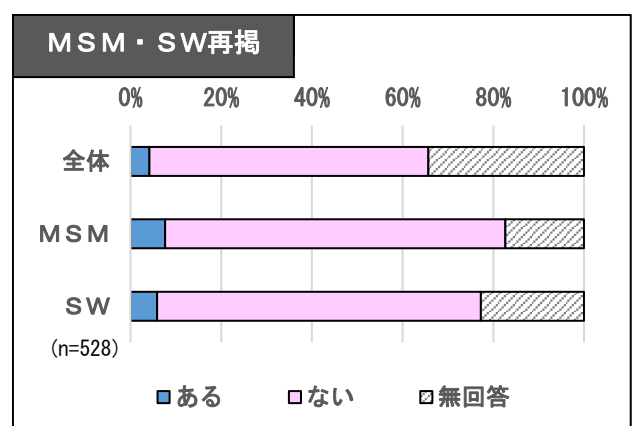
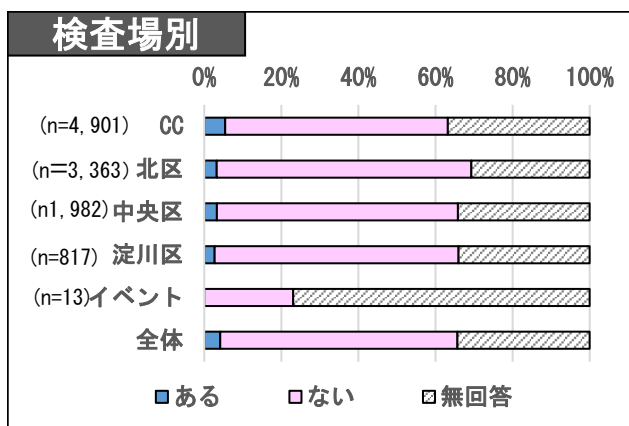
※H I V検査を受けたことがあると答えた人を分母とした割合

令和6年度	全体	MSM	SW
過去6か月の間	2,998 (42.0%)	960 (43.1%)	234 (58.5%)
過去6か月～1年の間	1,345 (18.9%)	512 (23.0%)	63 (15.8%)
過去1年～3年の間	1,567 (22.0%)	463 (20.8%)	60 (15.0%)
過去3年以上前	1,117 (15.7%)	261 (11.7%)	39 (9.8%)
無回答	105 (1.5%)	31 (1.4%)	4 (1.0%)
計	7,132 (100.1%)	2,227 (100.0%)	400 (100.0%)
(再掲) 過去1年までの間	4,343 (60.9%)	1,472 (66.1%)	297 (74.3%)



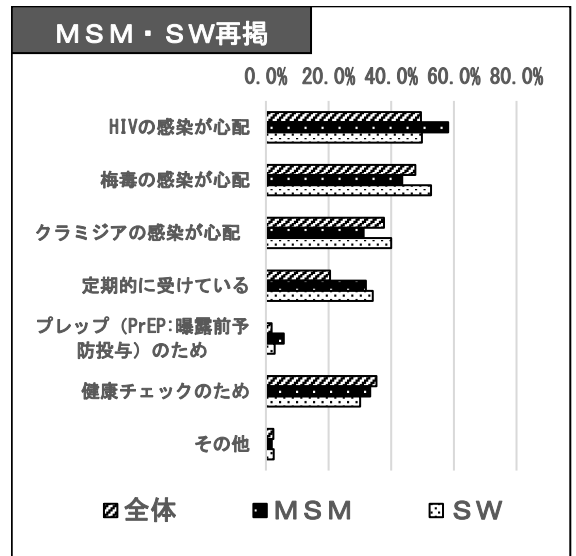
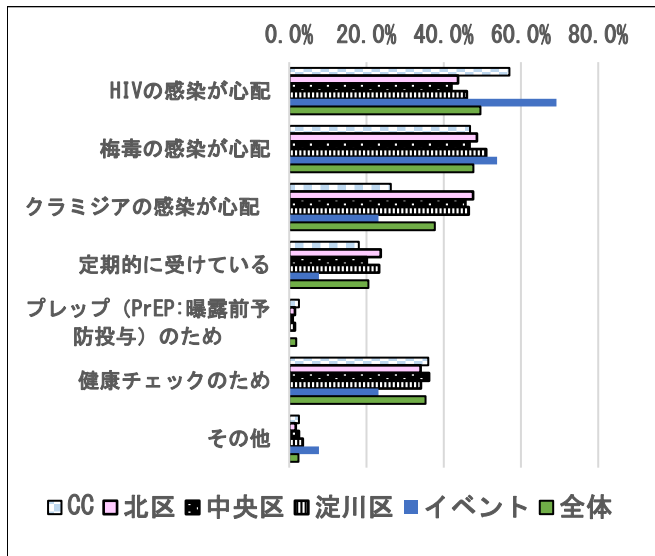
7 これまでにH I V検査の郵送検査を利用したことはありますか？

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
ある	266 (5.4%)	108 (3.2%)	65 (3.3%)	22 (2.7%)	0 (0.0%)	461 (4.2%)	206 (7.6%)	31 (5.9%)
ない	2,832 (57.8%)	2,222 (66.1%)	1,239 (62.5%)	517 (63.3%)	3 (23.1%)	6,813 (61.5%)	2,022 (75.0%)	377 (71.4%)
無回答	1,803 (36.8%)	1,033 (30.7%)	678 (34.2%)	278 (34.0%)	10 (76.9%)	3,802 (34.3%)	468 (17.4%)	120 (22.7%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	278 (100.0%)	13 (100.0%)	11,076 (100.0%)	2,696 (100.0%)	528 (100.0%)



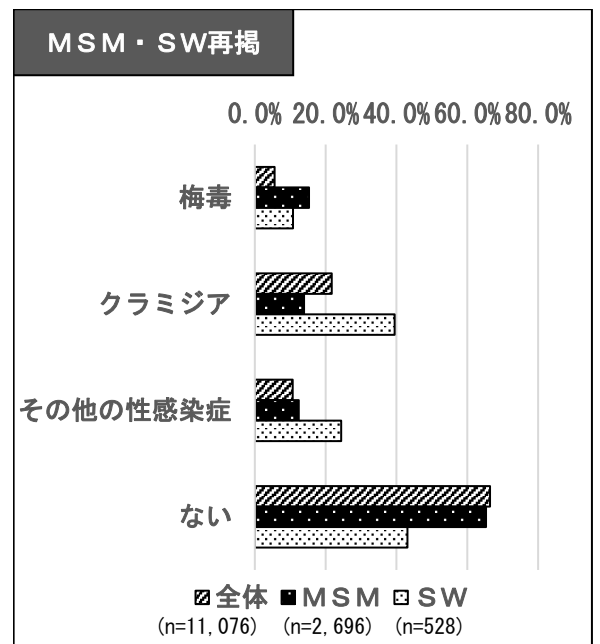
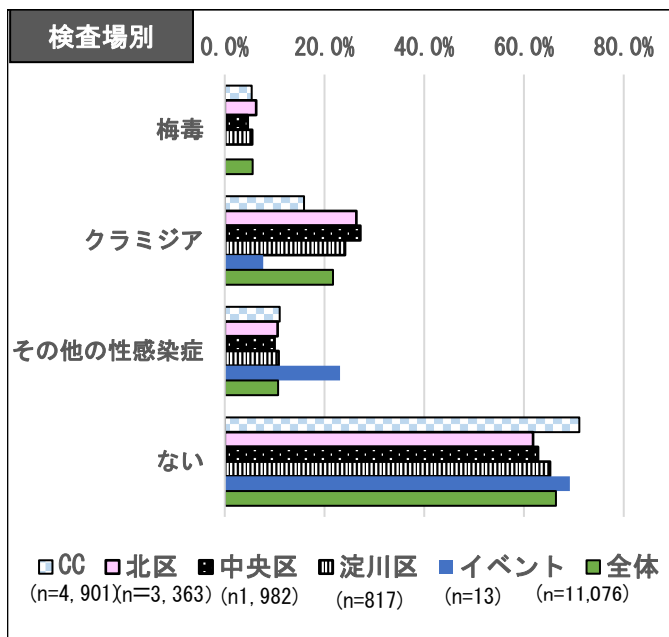
8 今回の検査を受けた目的は以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
HIVの感染が心配	2,796 (57.0%)	1,469 (43.7%)	832 (42.0%)	376 (46.0%)	9 (69.2%)	5,482 (49.5%)	1,570 (58.2%)	263 (49.8%)
梅毒の感染が心配	2,293 (46.8%)	1,636 (48.6%)	925 (46.7%)	417 (51.0%)	7 (53.8%)	5,278 (47.7%)	1,172 (43.5%)	278 (52.7%)
クラミジアの感染が心配	1,290 (26.3%)	1,601 (47.6%)	903 (45.6%)	380 (46.5%)	3 (23.1%)	4,177 (37.7%)	842 (31.2%)	211 (40.0%)
定期的に受けている	884 (18.0%)	798 (23.7%)	398 (20.1%)	190 (23.3%)	1 (7.7%)	2,271 (20.5%)	860 (31.9%)	180 (34.1%)
プレップ (PrEP:曝露前 予防投与) のため	121 (2.5%)	51 (1.5%)	17 (0.9%)	12 (1.5%)	0 (0.0%)	201 (1.8%)	153 (5.7%)	15 (2.8%)
健康チェックのため	1,763 (36.0%)	1,143 (34.0%)	717 (36.2%)	279 (34.1%)	3 (23.1%)	3,905 (35.3%)	898 (33.3%)	159 (30.1%)
その他	123 (2.5%)	58 (1.7%)	50 (2.5%)	29 (3.5%)	1 (7.7%)	261 (2.4%)	51 (1.9%)	13 (2.5%)
回答者数(実数)	4,901	3,363	1,982	817	13	11,721	2,614	584



9 性感染症罹患歴

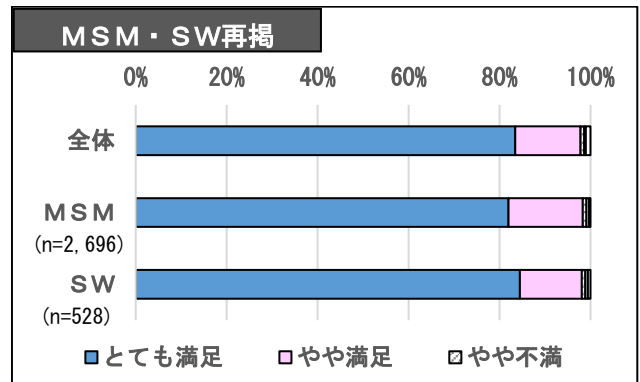
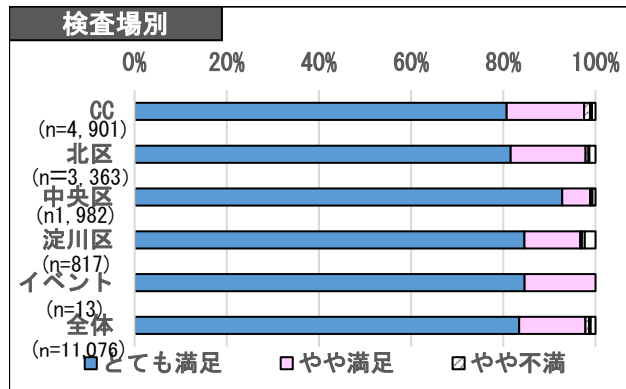
令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
梅毒	267 (5.4%)	212 (6.3%)	91 (4.6%)	45 (5.5%)	0 (0.0%)	615 (5.6%)	399 (15.3%)	63 (10.8%)
クラミジア	778 (15.9%)	888 (26.4%)	539 (27.2%)	197 (24.1%)	1 (7.7%)	2,403 (21.7%)	363 (13.9%)	231 (39.5%)
その他の性感染症	539 (11.0%)	358 (10.6%)	199 (10.0%)	88 (10.8%)	3 (23.1%)	1,187 (10.7%)	323 (12.4%)	143 (24.4%)
ない	3,487 (71.1%)	2,078 (61.8%)	1,244 (62.8%)	533 (65.2%)	9 (69.2%)	7,351 (66.4%)	1,708 (65.3%)	251 (43.1%)
回答者数(実数)	4,901	3,363 (6.3%)	1,982	817	13	11,076	11,076	528



10 今回の検査場の満足度

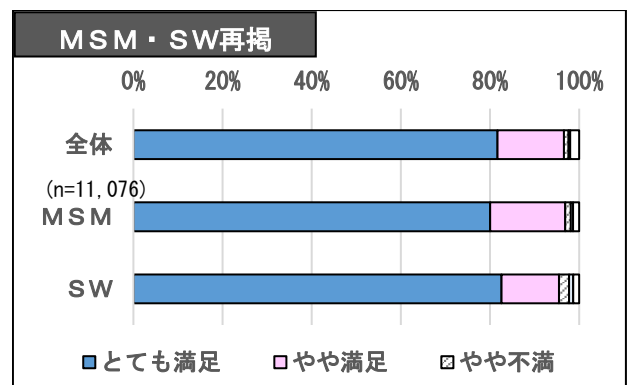
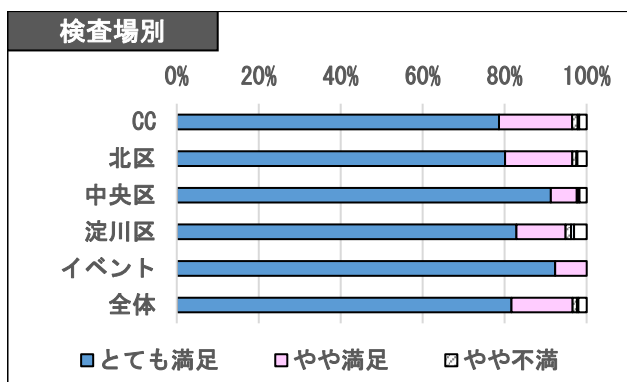
1) 質問しやすい雰囲気(言葉遣い、話し方)は、どうでしたか。

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
とても満足	3,956 (80.7%)	2,744 (81.6%)	1,839 (92.8%)	691 (84.6%)	11 (84.6%)	9,241 (83.4%)	2,210 (82.0%)	446 (84.5%)
やや満足	825 (16.8%)	546 (16.2%)	120 (6.1%)	99 (12.1%)	2 (15.4%)	1,592 (14.4%)	440 (16.3%)	72 (13.6%)
やや不満	62 (1.3%)	22 (0.7%)	1 (0.1%)	3 (0.4%)	0 (0.0%)	88 (0.8%)	22 (0.8%)	4 (0.8%)
とても不満	20 (0.4%)	7 (0.2%)	9 (0.5%)	5 (0.6%)	0 (0.0%)	41 (0.4%)	16 (0.6%)	3 (0.6%)
無回答	38 (0.8%)	44 (1.3%)	13 (0.7%)	19 (2.3%)	0 (0.0%)	114 (1.0%)	8 (0.3%)	3 (0.6%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	817 (100.0%)	13 (100.0%)	11,076 (100.0%)	2,696 (100.0%)	528 (100.0%)



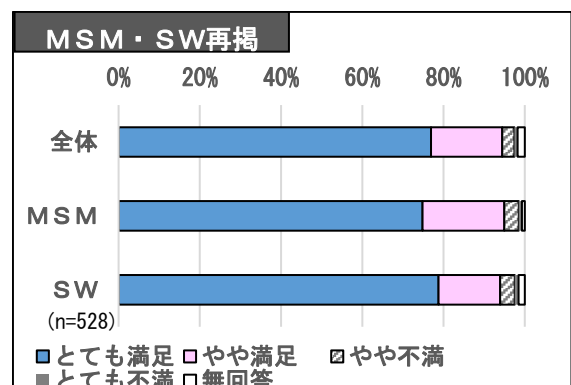
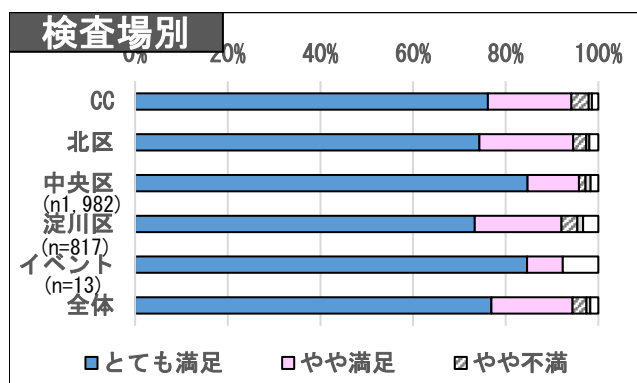
2) 安心できる雰囲気については、どうでしたか。

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
とても満足	3,854 (78.6%)	2,694 (80.1%)	1,809 (91.3%)	677 (82.9%)	12 (92.3%)	9,046 (81.7%)	2,157 (80.0%)	436 (82.6%)
やや満足	874 (17.8%)	552 (16.4%)	125 (6.3%)	98 (12.0%)	1 (7.7%)	1,650 (14.9%)	454 (16.8%)	68 (12.9%)
やや不満	67 (1.4%)	33 (1.0%)	6 (0.3%)	11 (1.4%)	0 (0.0%)	117 (1.1%)	34 (1.3%)	12 (2.3%)
とても不満	18 (0.4%)	8 (0.2%)	8 (0.4%)	6 (0.7%)	0 (0.0%)	40 (0.4%)	14 (0.5%)	5 (1.0%)
無回答	88 (1.8%)	76 (2.3%)	34 (1.7%)	25 (3.1%)	0 (0.0%)	223 (2.0%)	37 (1.4%)	7 (1.3%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	817 (100.0%)	13 (100.0%)	528 (100.0%)	2,696 (100.0%)	528 (100.0%)



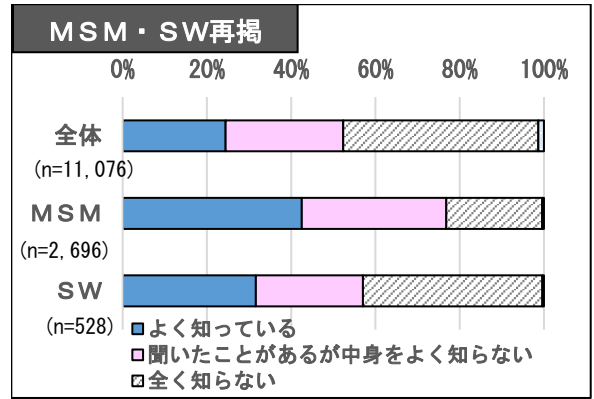
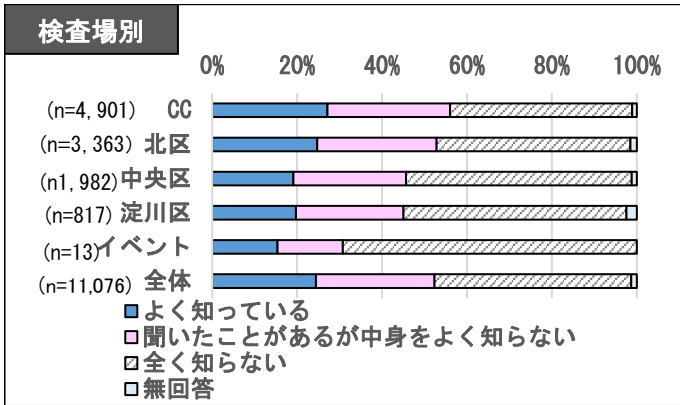
3) プライバシー保護については、どうでしたか。

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
とても満足	3,733 (76.2%)	2,499 (74.3%)	1,679 (84.7%)	599 (73.3%)	11 (84.6%)	8,521 (76.9%)	2,017 (74.8%)	416 (78.8%)
やや満足	883 (18.0%)	681 (20.3%)	220 (11.1%)	153 (18.7%)	1 (7.7%)	1,938 (17.5%)	543 (20.1%)	80 (15.2%)
やや不満	183 (3.7%)	95 (2.8%)	28 (1.4%)	28 (3.4%)	0 (0.0%)	334 (3.0%)	96 (3.6%)	19 (3.6%)
とても不満	34 (0.7%)	23 (0.7%)	22 (1.1%)	10 (1.2%)	0 (0.0%)	89 (0.8%)	21 (0.8%)	5 (1.0%)
無回答	68 (1.4%)	65 (1.9%)	33 (1.7%)	27 (3.3%)	1 (7.7%)	194 (1.8%)	19 (0.7%)	8 (1.5%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	817 (100.0%)	13 (100.0%)	528 (100.0%)	2,696 (100.0%)	528 (100.0%)



11 U=Uについて、知っていますか。

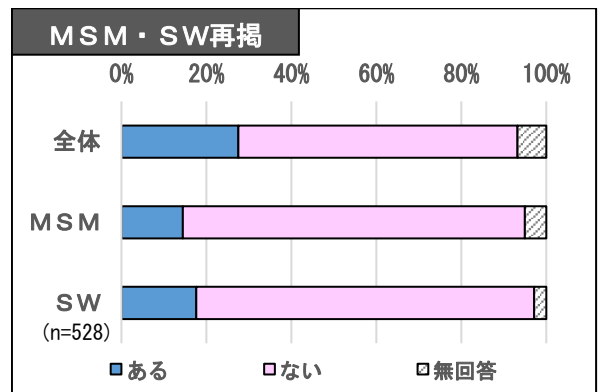
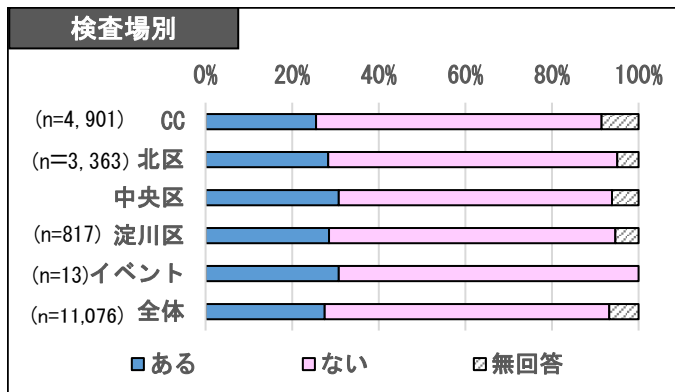
令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	全体	MSM	SW
よく知っている	1,331 (27.2%)	832 (24.7%)	379 (19.1%)	161 (19.7%)	2,705 (24.4%)	1,146 (42.5%)	167 (31.6%)
聞いたことがあるが 中身をよく知らない	1,414 (28.9%)	946 (28.1%)	526 (26.5%)	207 (25.3%)	3,095 (27.9%)	925 (34.3%)	134 (25.4%)
全く知らない	2,103 (42.9%)	1,535 (45.6%)	1,053 (53.1%)	429 (52.5%)	5,129 (46.3%)	613 (22.7%)	225 (42.6%)
無回答	53 (1.1%)	50 (1.5%)	24 (1.2%)	20 (2.5%)	147 (1.3%)	12 (0.5%)	2 (0.4%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	817 (100.0%)	11,076 (100.0%)	2,696 (100.0%)	528 (100.0%)



12 過去6か月間のセックスに関する行動について

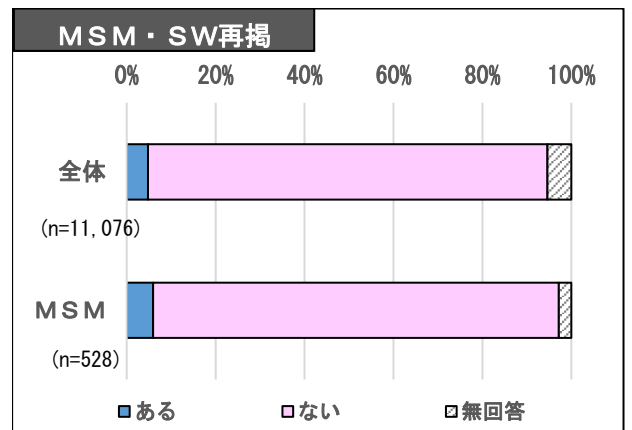
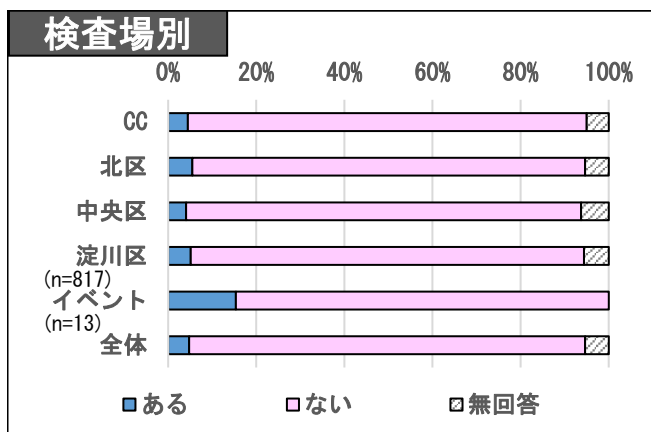
(1) 相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
ある	1,250 (25.5%)	952 (28.3%)	610 (30.8%)	233 (28.5%)	4 (30.8%)	3,049 (27.5%)	390 (14.5%)	93 (17.6%)
ない	3,232 (66.0%)	2,246 (66.8%)	1,250 (63.1%)	540 (66.1%)	9 (69.2%)	7,277 (65.7%)	2,170 (80.5%)	420 (79.6%)
無回答	419 (8.6%)	165 (4.9%)	122 (6.2%)	44 (5.4%)	0 (0.0%)	750 (6.8%)	136 (5.0%)	15 (2.8%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	817 (100.0%)	13 (100.0%)	11,076 (100.0%)	2,696 (100.0%)	528 (100.0%)



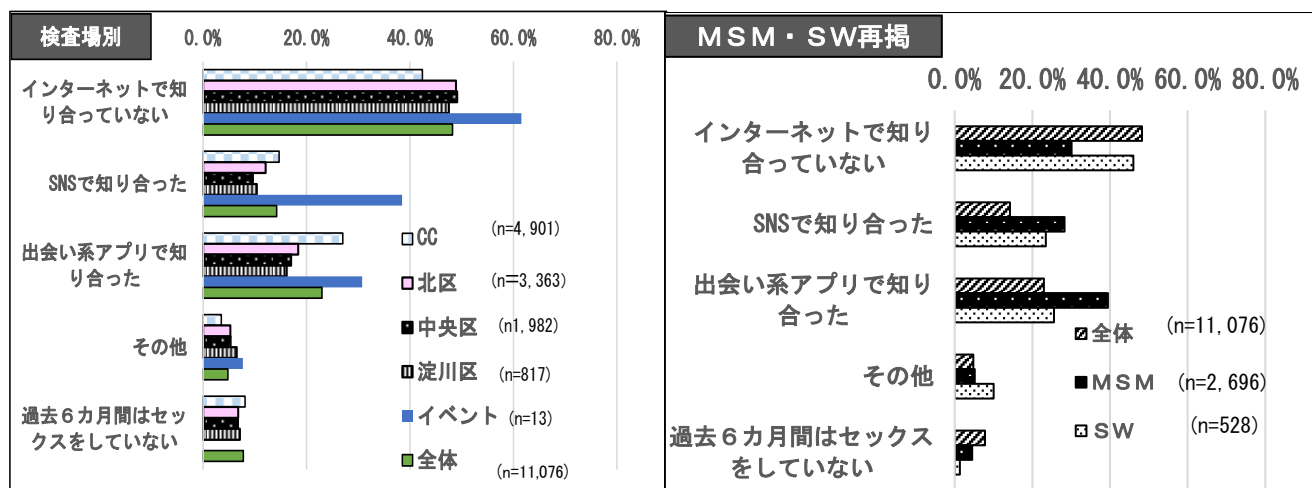
(2) 相手にお金をもらってセックスをしたことがありますか？

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM
ある	219 (4.5%)	184 (5.5%)	81 (4.1%)	42 (5.1%)	2 (15.4%)	528 (4.8%)	160 (5.9%)
ない	4,437 (90.5%)	2,999 (89.2%)	1,777 (89.7%)	729 (89.2%)	11 (84.6%)	9,953 (89.9%)	2,460 (91.3%)
無回答	245 (5.0%)	180 (5.4%)	124 (6.3%)	46 (5.6%)	0 (0.0%)	595 (5.4%)	76 (2.8%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	817 (100.0%)	13 (100.0%)	11,076 (100.0%)	2,696 (100.0%)



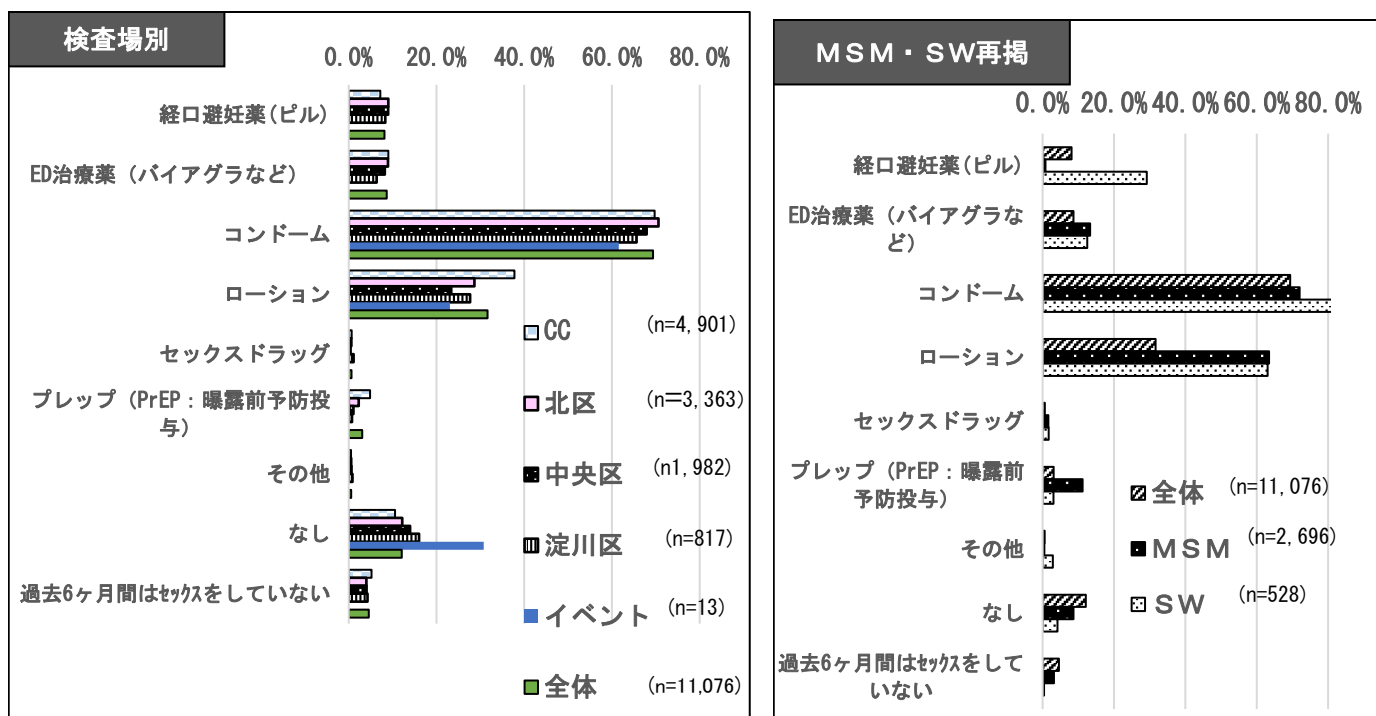
(3) あなたは、過去6か月間にセックスをした相手とインターネット（SNS・出会い系アプリ・お見合いサイト等）で知り合いましたか？（複数回答可）

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
インターネットで知り合っていない	2,077 (42.4%)	1,643 (48.9%)	974 (49.1%)	388 (47.5%)	8 (61.5%)	5,342 (48.2%)	812 (30.1%)	243 (46.0%)
SNSで知り合った	720 (14.7%)	406 (12.1%)	191 (9.6%)	85 (10.4%)	5 (38.5%)	1,575 (14.2%)	763 (28.3%)	124 (23.5%)
出会い系アプリで知り合った	1,324 (27.0%)	619 (18.4%)	337 (17.0%)	132 (16.2%)	4 (30.8%)	2,544 (23.0%)	1,064 (39.5%)	135 (25.6%)
その他	172 (3.5%)	178 (5.3%)	105 (5.3%)	53 (6.5%)	1 (7.7%)	533 (4.8%)	140 (5.2%)	53 (10.0%)
過去6か月間はセックスをしていない	397 (8.1%)	228 (6.8%)	134 (6.8%)	58 (7.1%)	0 (0.0%)	863 (7.8%)	121 (4.5%)	7 (1.3%)
回答者数(実数)	4,901	3,363	1,982	817	11,076	11,076	2,696	528



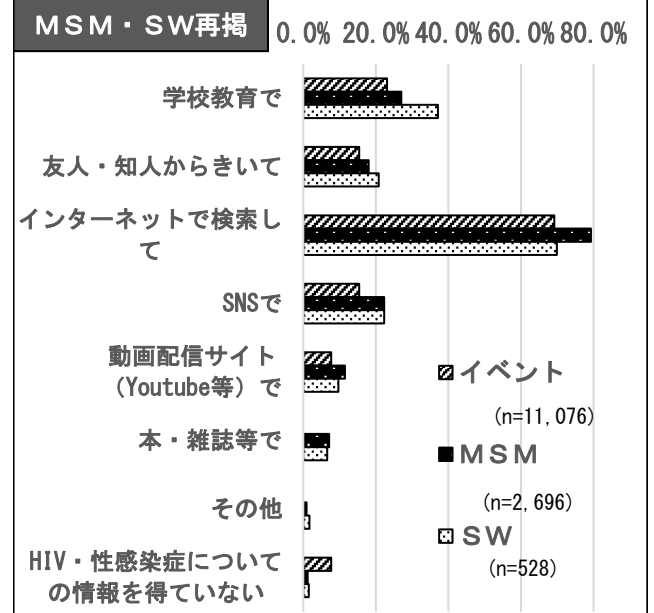
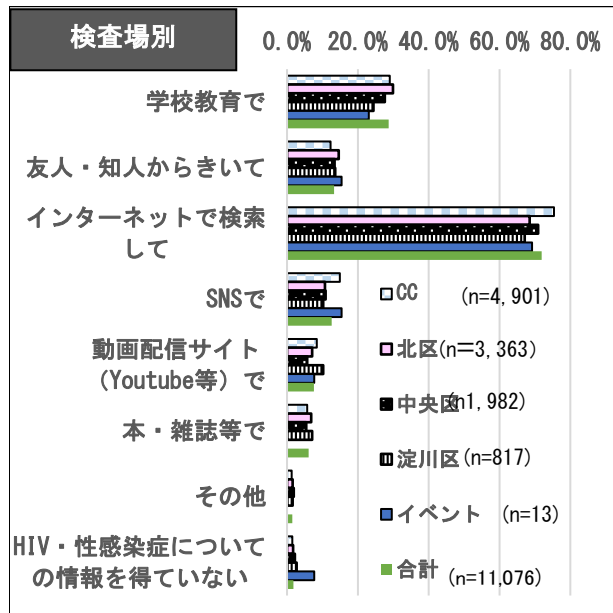
(4) セックスをする時に使っているものがありますか？（複数回答可）

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
経口避妊薬(ピル)	352 (7.2%)	303 (9.0%)	178 (9.0%)	68 (8.3%)	0 (8.1%)	901 (8.1%)	22 (0.8%)	154 (29.2%)
ED治療薬(バイアグラなど)	441 (9.0%)	301 (9.0%)	163 (8.2%)	52 (6.4%)	0 (8.6%)	957 (8.6%)	359 (13.3%)	66 (12.5%)
コンドーム	3,418 (69.7%)	2,374 (70.6%)	1,346 (67.9%)	536 (65.6%)	8 (69.4%)	7,682 (69.4%)	1,942 (72.0%)	447 (84.7%)
ローション	1,850 (37.8%)	963 (28.6%)	463 (23.4%)	226 (27.7%)	3 (31.6%)	3,505 (31.6%)	1,711 (63.5%)	333 (63.1%)
セックスドラッグ	32 (0.7%)	20 (0.6%)	8 (0.4%)	9 (1.1%)	0 (0.6%)	69 (0.6%)	43 (1.6%)	9 (1.7%)
プレップ(PrEP:曝露前予防投与)	238 (4.9%)	76 (2.3%)	21 (1.1%)	6 (0.7%)	0 (3.1%)	341 (3.1%)	302 (11.2%)	16 (3.0%)
その他	25 (0.5%)	18 (0.5%)	12 (0.6%)	7 (0.9%)	0 (0.6%)	62 (0.6%)	13 (0.5%)	15 (2.8%)
なし	517 (10.6%)	410 (12.2%)	277 (14.0%)	131 (16.0%)	4 (12.1%)	1,339 (12.1%)	233 (8.6%)	22 (4.2%)
「過去6ヶ月間はセックスをしていない」	255 (5.2%)	135 (4.0%)	80 (4.0%)	35 (4.3%)	0 (4.6%)	505 (4.6%)	86 (3.2%)	2 (0.4%)
回答者数(実数)	4,901	3,363	1,982	817	13	11,076	2,696	528



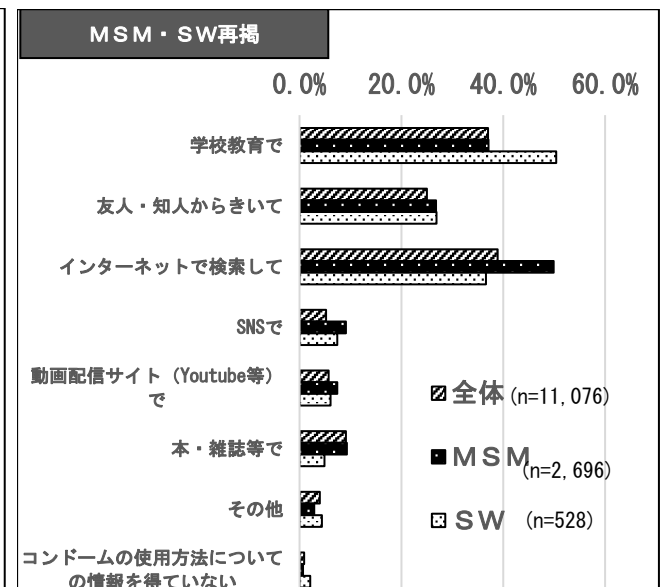
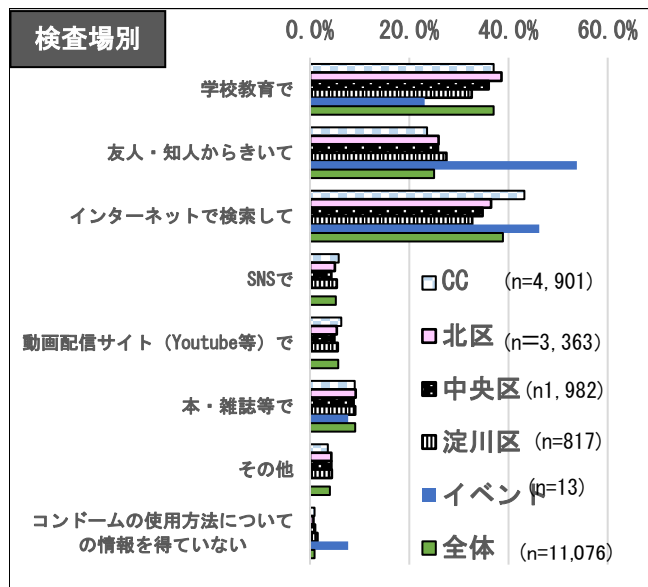
(5) HIV・性感染症について、どこで情報を得ていますか？（複数回答可）

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM
学校教育で	1,419 (29.0%)	1,007 (29.9%)	548 (27.6%)	199 (24.4%)	3 (23.1%)	3,176 (28.7%)	728 (27.0%)
友人・知人からきいて	174 (10.4%)	322 (16.1%)	110 (10.1%)	54 (13.9%)	2 (15.4%)	1,469 (13.3%)	155 (13.8%)
インターネットで検索して	1,223 (72.8%)	1,390 (69.5%)	794 (73.2%)	266 (68.6%)	9 (69.2%)	7,963 (71.9%)	871 (77.4%)
SNSで	192 (11.4%)	243 (12.2%)	103 (9.5%)	43 (11.1%)	2 (15.4%)	1,392 (12.6%)	181 (16.1%)
動画配信サイト(Youtube等)で	130 (7.7%)	149 (7.5%)	50 (4.6%)	23 (5.9%)	1 (7.7%)	845 (7.6%)	78 (6.9%)
本・雑誌等で	93 (5.5%)	121 (6.1%)	48 (4.4%)	18 (4.6%)	0 (0.0%)	672 (6.1%)	54 (4.8%)
その他	26 (1.5%)	38 (1.9%)	25 (2.3%)	12 (3.1%)	0 (0.0%)	170 (1.5%)	21 (1.9%)
HIV・性感染症についての情報を得ていない	21 (1.2%)	51 (2.6%)	28 (2.6%)	15 (3.9%)	1 (7.7%)	195 (1.8%)	22 (2.0%)
回答者数(実数)	4,901	3,363	1,982	817	13	11,076	2,696



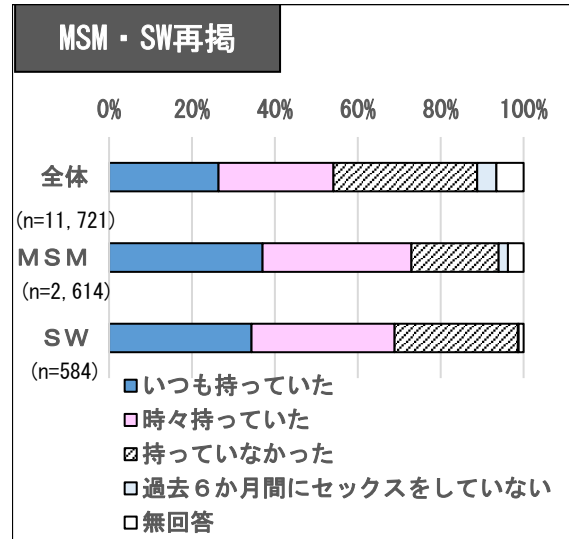
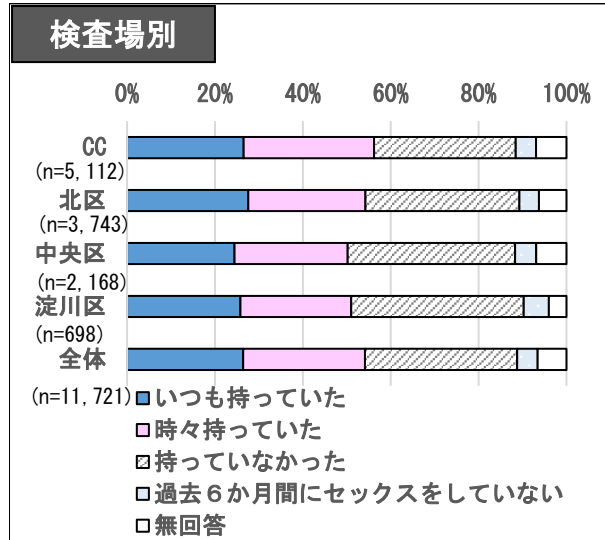
(6) コンドームの使用方法を何で知りましたか？（複数回答可）

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	全体	MSM	SW
学校教育で	1,815 (37.0%)	1,298 (38.6%)	714 (36.0%)	266 (32.6%)	4,096 (37.0%)	1,000 (37.1%)	266 (50.4%)
友人・知人からきいて	1,158 (23.6%)	872 (25.9%)	512 (25.8%)	225 (27.5%)	2,774 (25.0%)	723 (26.8%)	142 (26.9%)
インターネットで検索して	2,119 (43.2%)	1,227 (36.5%)	689 (34.8%)	267 (32.7%)	4,308 (38.9%)	1,346 (49.9%)	193 (36.6%)
SNSで	283 (5.8%)	167 (5.0%)	85 (4.3%)	44 (5.4%)	579 (5.2%)	246 (9.1%)	39 (7.4%)
動画配信サイト(Youtube等)で	308 (6.3%)	180 (5.4%)	98 (4.9%)	46 (5.6%)	632 (5.7%)	200 (7.4%)	32 (6.1%)
本・雑誌等で	443 (9.0%)	310 (9.2%)	175 (8.8%)	74 (9.1%)	1,003 (9.1%)	251 (9.3%)	26 (4.9%)
その他	177 (3.6%)	143 (4.3%)	86 (4.3%)	36 (4.4%)	442 (4.0%)	78 (2.9%)	23 (4.4%)
コンドームの使用方法についての情報を得ていない	43 (0.9%)	23 (0.7%)	19 (1.0%)	12 (1.5%)	98 (0.9%)	20 (0.7%)	11 (2.1%)
回答者数(実数)	4,901	3,363	1,982	817	11,076	2,696	528



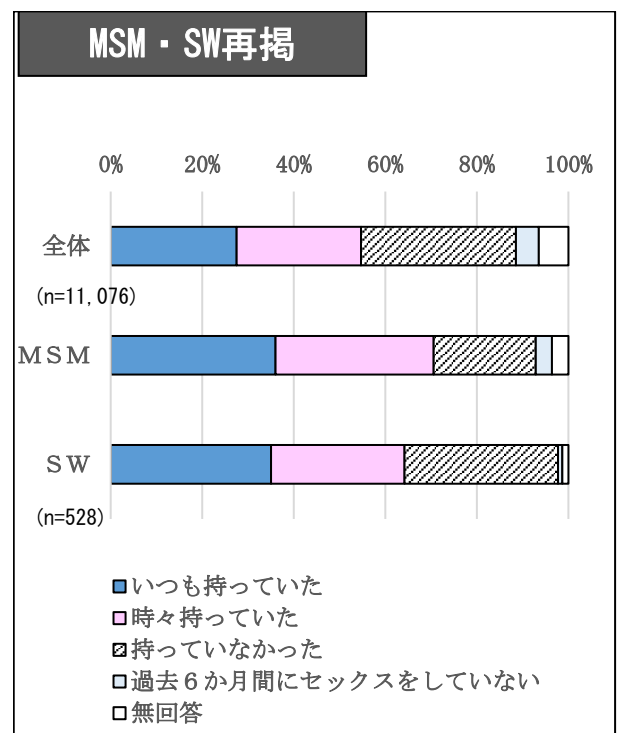
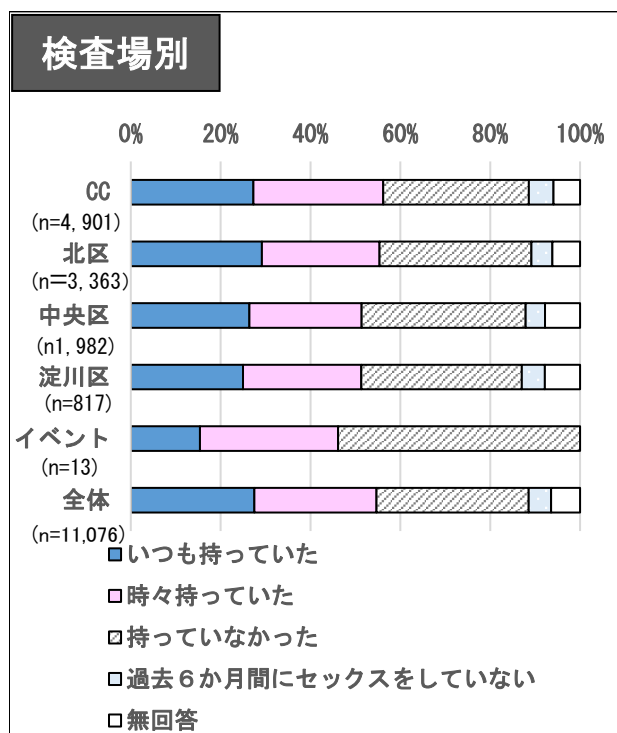
(7) コンドームをすぐ使えるように、いつも身近に持っていましたか？

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
いつも持っていた	1,337 (27.3%)	981 (29.2%)	523 (26.4%)	204 (25.0%)	2 (15.4%)	3,047 (27.5%)	971 (36.0%)	185 (35.0%)
時々持っていた	1,416 (28.9%)	881 (26.2%)	495 (25.0%)	215 (26.3%)	4 (30.8%)	3,011 (27.2%)	931 (34.5%)	154 (29.2%)
持っていなかった	1,589 (32.4%)	1,137 (33.8%)	724 (36.5%)	292 (35.7%)	7 (53.9%)	3,749 (33.9%)	602 (22.3%)	177 (33.5%)
過去6か月間にセックスをしていない	270 (5.5%)	156 (4.6%)	85 (4.3%)	42 (5.1%)	0 (0.0%)	553 (5.0%)	95 (3.5%)	5 (1.0%)
無回答	289 (5.9%)	208 (6.2%)	155 (7.8%)	64 (7.8%)	0 (0.0%)	716 (6.5%)	97 (3.6%)	7 (1.3%)
計	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	817 (100.0%)	0 (0.0%)	11,076 (100.0%)	2,696 (100.0%)	528 (100.0%)



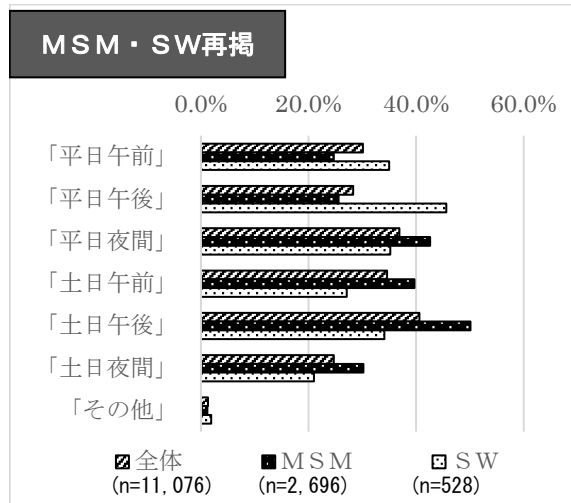
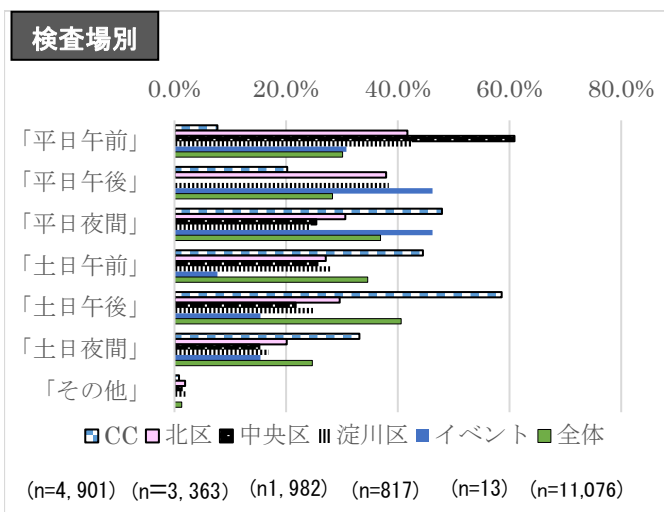
(8) コンドームは毎回使用していましたか？

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
いつも使用していた	1,380 (28.2%)	1,039 (30.9%)	595 (30.0%)	267 (32.7%)	2 (15.4%)	3,283 (29.6%)	690 (25.6%)	171 (32.4%)
時々使用していた	2,265 (46.2%)	1,463 (43.5%)	844 (42.6%)	294 (36.0%)	7 (53.9%)	4,873 (44.0%)	1,408 (52.2%)	295 (55.9%)
使用していなかった	574 (11.7%)	471 (14.0%)	283 (14.3%)	142 (17.4%)	4 (30.8%)	1,474 (13.3%)	353 (13.1%)	45 (8.5%)
過去6ヶ月のセックスはなかった	337 (6.9%)	176 (5.2%)	101 (5.1%)	52 (6.4%)	0 (0.0%)	666 (6.0%)	121 (4.5%)	6 (1.1%)
無回答	345 (7.0%)	214 (6.4%)	159 (8.0%)	62 (7.6%)	0 (0.0%)	780 (7.0%)	121 (4.5%)	11 (2.1%)
計	4,901 (0.0%)	3,363 (0.0%)	1,982 (0.0%)	817 (0.0%)	13 (0.0%)	11,076 (0.0%)	2,693 (0.0%)	528 (0.0%)



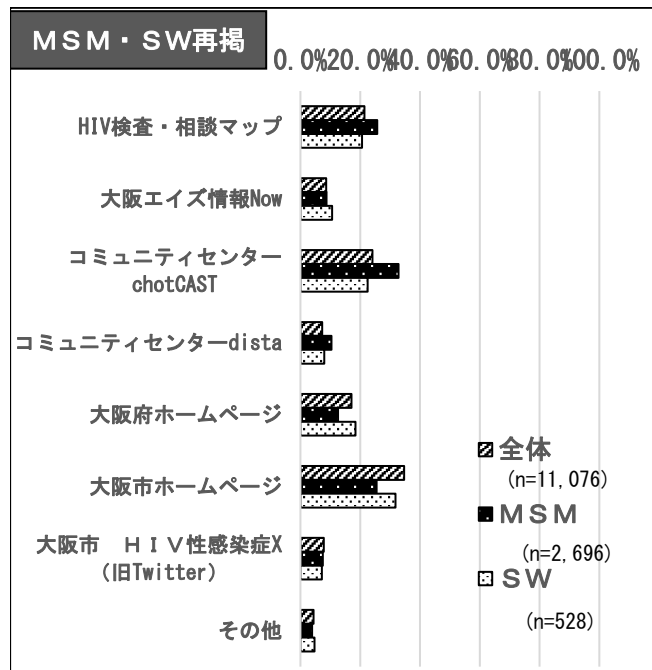
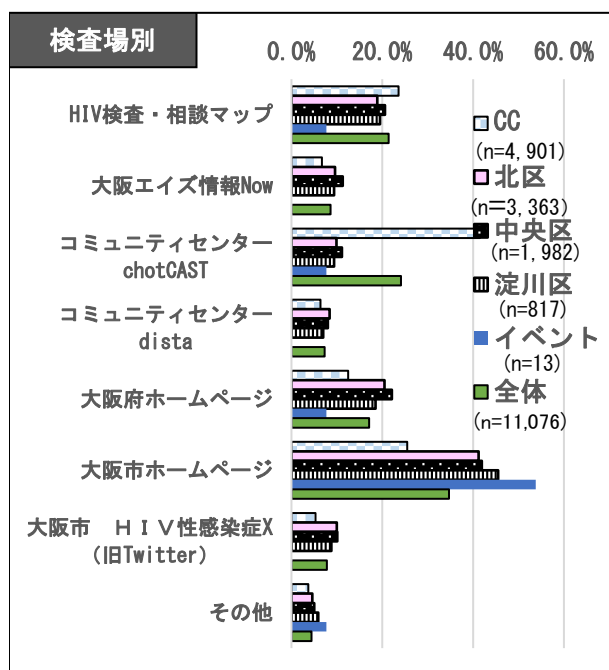
14 HIV・性感染症検査を受検しやすいのはどの時間帯ですか？（複数回答可）

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM	SW
「平日午前」	377 (7.7%)	1,404 (41.7%)	1,207 (60.9%)	347 (42.5%)	4 (30.8%)	3,339 (30.1%)	665 (24.7%)	185 (35.0%)
「平日午後」	991 (20.2%)	1,273 (37.9%)	549 (0.0%)	314 (38.4%)	6 (46.2%)	3,133 (28.3%)	689 (25.6%)	241 (45.6%)
「平日夜間」	2,350 (47.9%)	1,030 (30.6%)	504 (25.4%)	199 (24.4%)	6 (46.2%)	4,089 (36.9%)	1,148 (42.6%)	186 (35.2%)
「土日午前」	2,182 (44.5%)	911 (27.1%)	507 (25.6%)	228 (27.9%)	1 (7.7%)	3,829 (34.6%)	1,070 (39.7%)	143 (27.1%)
「土日午後」	2,870 (58.6%)	994 (29.6%)	431 (21.7%)	203 (24.8%)	2 (15.4%)	4,500 (40.6%)	1,348 (50.1%)	180 (34.1%)
「土日夜間」	1,622 (33.1%)	676 (20.1%)	301 (15.2%)	138 (16.9%)	2 (15.4%)	2,739 (24.7%)	814 (30.2%)	111 (21.0%)
「その他」	41 (0.8%)	63 (1.9%)	25 (1.3%)	16 (2.0%)	0 (0.0%)	145 (1.3%)	33 (1.2%)	10 (1.9%)
回答者数(実数)	4,901 (100.0%)	3,363 (100.0%)	1,982 (100.0%)	817 (100.0%)	13 (100.0%)	11,076 (100.0%)	2,693 (100.0%)	528 (100.0%)



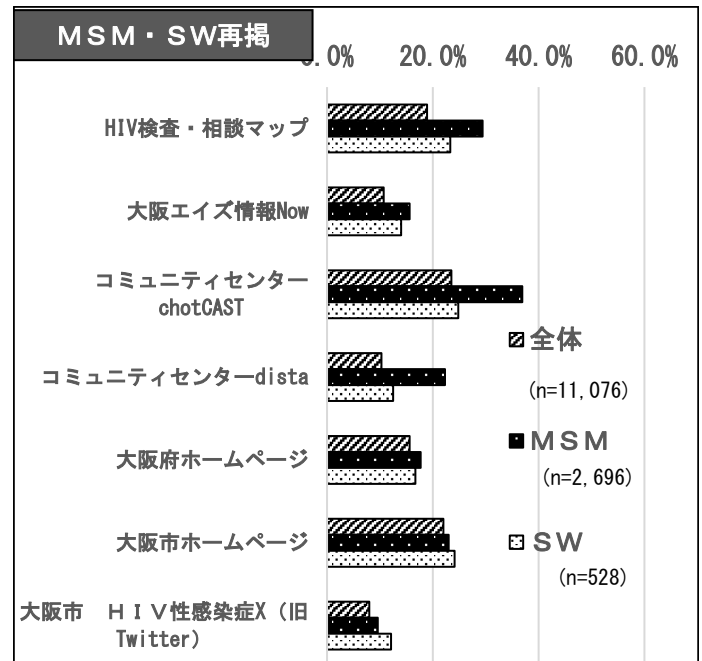
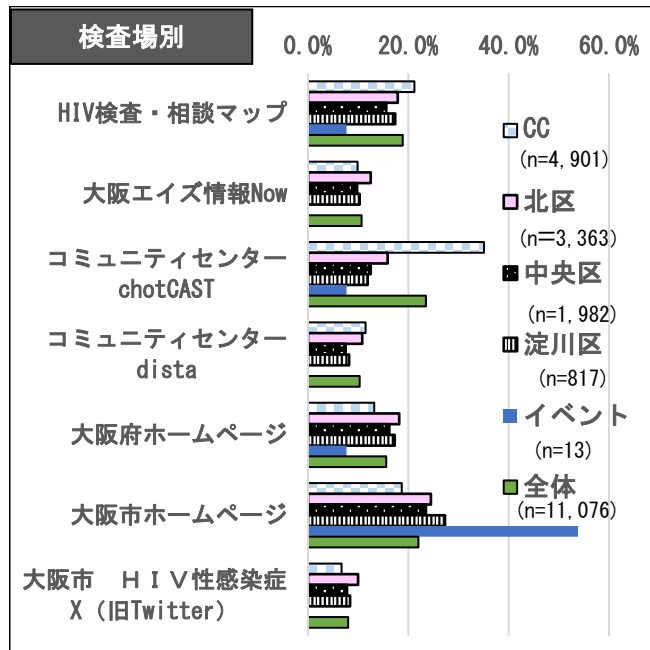
14 今回の検査の情報は何で得ましたか。（複数回答可）

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	全体	MSM	SW
HIV検査・相談マップ	1,159 (23.6%)	637 (18.9%)	409 (20.6%)	159 (19.5%)	2,365 (21.4%)	692 (25.7%)	109 (20.6%)
大阪エイズ情報Now	330 (6.7%)	322 (9.6%)	223 (11.3%)	77 (9.4%)	952 (8.6%)	234 (8.7%)	56 (10.6%)
コミュニティセンターchotCAST	2,032 (41.5%)	334 (9.9%)	220 (11.1%)	77 (9.4%)	2,664 (24.1%)	884 (32.8%)	119 (22.5%)
コミュニティセンターdista	313 (6.4%)	281 (8.4%)	158 (8.0%)	57 (7.0%)	809 (7.3%)	280 (10.4%)	42 (8.0%)
大阪府ホームページ	614 (12.5%)	689 (20.5%)	438 (22.1%)	151 (18.5%)	1,893 (17.1%)	341 (12.6%)	97 (18.4%)
大阪府ホームページ	1,250 (25.5%)	1,385 (41.2%)	830 (41.9%)	372 (45.5%)	3,844 (34.7%)	688 (25.5%)	168 (31.8%)
大阪市 HIV性感染症X(旧Twitter)	261 (5.3%)	335 (10.0%)	201 (10.1%)	72 (8.8%)	869 (7.8%)	202 (7.5%)	38 (7.2%)
その他	183 (3.7%)	155 (4.6%)	100 (5.0%)	48 (5.9%)	487 (4.4%)	106 (3.9%)	25 (4.7%)
回答者数(実数)	4,901	3,363	1,982	817	11,076	2,696	528



15 これらのウェブサイトを知っていますか？（複数回答可）

令和6年度	CC	北区	中央区	淀川区	イベント	全体	MSM
HIV検査・相談マップ	1,040 (21.2%)	601 (17.9%)	309 (15.6%)	142 (17.4%)	1 (7.7%)	2,093 (18.9%)	792 (29.4%)
大阪エイズ情報Now	485 (9.9%)	421 (12.5%)	195 (9.8%)	84 (10.3%)	0 (0.0%)	1,185 (10.7%)	421 (15.6%)
コミュニティセンターchotCAST	1,721 (35.1%)	534 (15.9%)	247 (12.5%)	97 (11.9%)	1 (7.7%)	2,600 (23.5%)	995 (36.9%)
コミュニティセンターdista	562 (11.5%)	362 (10.8%)	148 (7.5%)	67 (8.2%)	0 (0.0%)	1,139 (10.3%)	602 (22.3%)
大阪府ホームページ	649 (13.2%)	613 (18.2%)	321 (16.2%)	141 (17.3%)	1 (7.7%)	1,725 (15.6%)	477 (17.7%)
大阪市ホームページ	915 (18.7%)	824 (24.5%)	466 (23.5%)	223 (27.3%)	7 (53.8%)	2,435 (22.0%)	619 (23.0%)
大阪市 HIV感染症X(旧Twitter)	327 (6.7%)	337 (10.0%)	155 (7.8%)	69 (8.4%)	0 (0.0%)	888 (8.0%)	258 (9.6%)
回答者数(実数)	4,901	3,363	1,982	817	13	11,076	2,696



令和6年 後天性免疫不全症候群 発生届出医療機関別割合(大阪市・大阪府)

大阪府

届出医療機関種別		HIV・エイズ 届出医療機関割合		
HIV	保健所/保健センター	11 件	(12.4 %)	合計 61
	委託検査場	13 件	(14.6 %)	
	診療所	11 件	(12.4 %)	
	病院(拠点病院以外)	11 件	(12.4 %)	
	エイズ拠点病院	15 件	(16.9 %)	
エイズ	委託検査場	1 件	(1.1 %)	合計 28
	診療所	0 件	(0.0 %)	
	病院(拠点病院以外)	11 件	(12.4 %)	
	エイズ拠点病院	16 件	(18.0 %)	
合計		89 件	(100.2 %)	

HIV届出数(エイズを除く)
61件のうち、保健所・保健福祉センター及び委託検査場の占める割合は39.3%(24件)

※診断年月日を基準に集計。(大阪市含む)

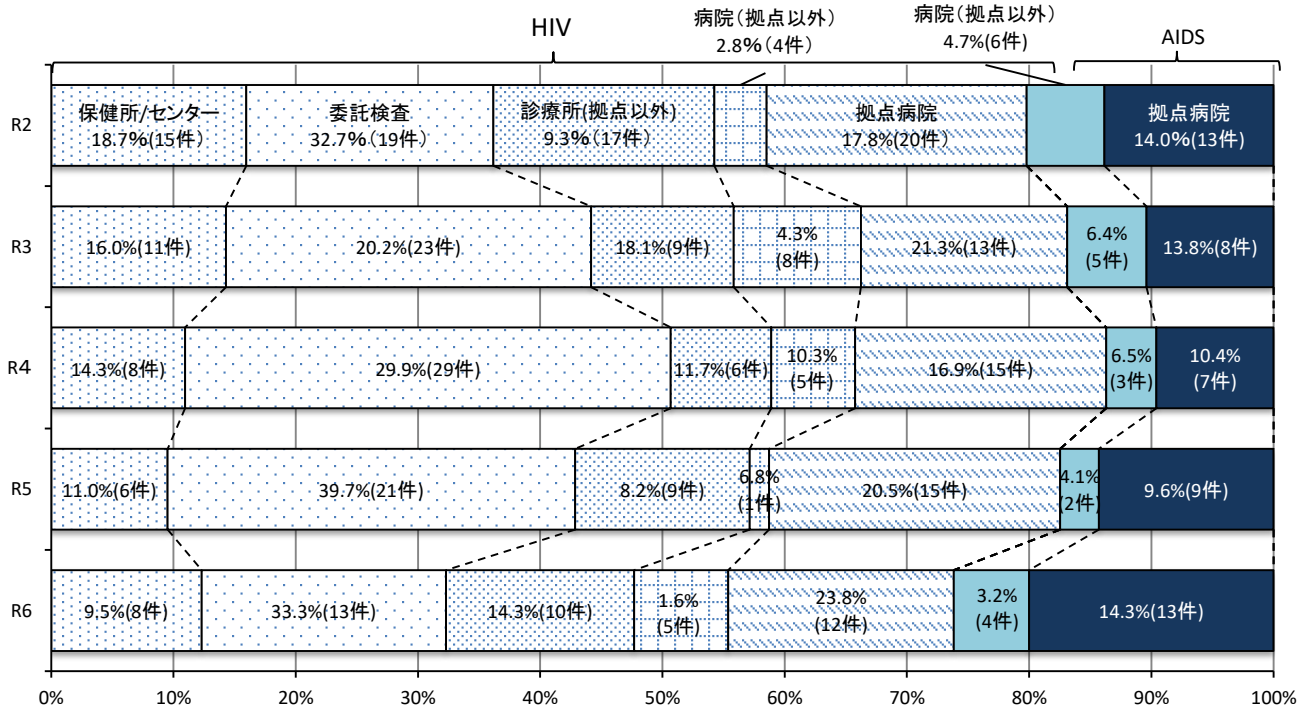
大阪市

届出医療機関種別		HIV・エイズ 届出医療機関割合		
HIV	保健所/保健センター	8 件	(12.1 %)	合計 48
	委託検査場	13 件	(19.7 %)	
	診療所	10 件	(15.2 %)	
	病院(拠点病院以外)	5 件	(7.6 %)	
	エイズ拠点病院	12 件	(18.2 %)	
エイズ	委託検査場	1 件	(1.5 %)	合計 18
	診療所	0 件	(0.0 %)	
	病院(拠点病院以外)	4 件	(6.1 %)	
	エイズ拠点病院	13 件	(19.7 %)	
合計		66 件	(100.1 %)	

HIV届出数(エイズを除く)
48件のうち、保健所・保健福祉センター及び委託検査場の占める割合は43.8%(21件)

※診断年月日を基準に集計。

大阪市届出医療機関割合 年次推移(R2年~令和6年)



後天性免疫不全症候群 発生届出件数・医療機関種別(大阪市・大阪府)

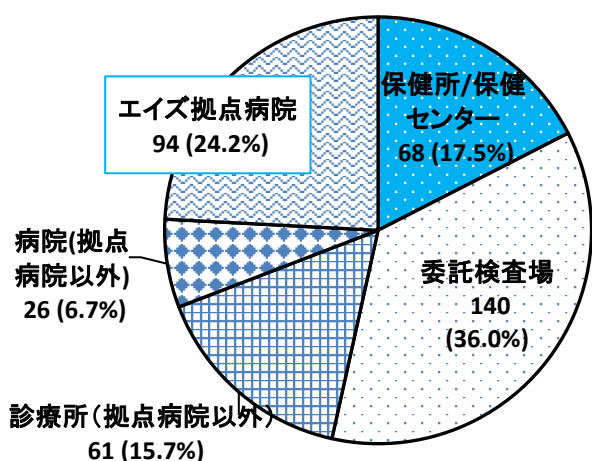
(平成31年～令和6年累計)

※大阪府:大阪市は除く

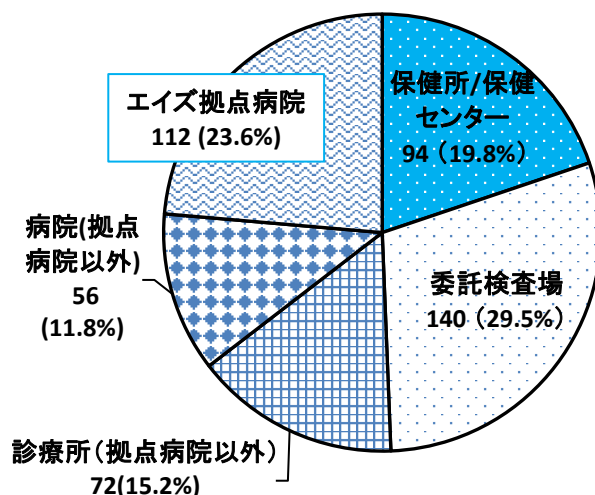
大阪市届出医療機関	HIV届出件数	エイズ届出件数
保健所/保健センター	68	0
委託検査場	140	1
診療所(拠点病院以外)	61	0
病院(拠点病院以外)	26	25
エイズ拠点病院	94	65
合計	389	91

大阪府届出医療機関種別	HIV届出件数	エイズ届出件数
保健所/保健センター	94	0
委託検査場	140	1
診療所(拠点病院以外)	72	0
病院(拠点病院以外)	56	59
エイズ拠点病院	112	85
合計	474	145

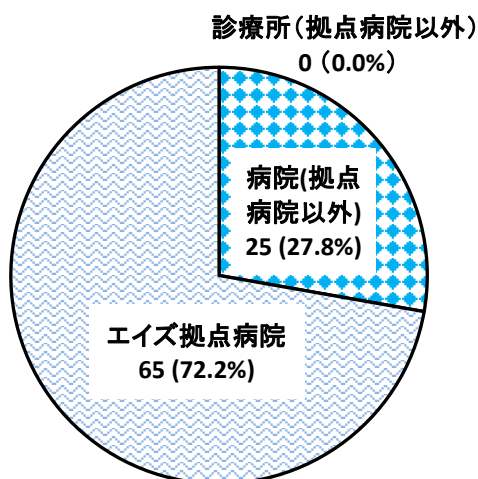
大阪市HIV届出件数
医療機関種別(累計) (n=389)



大阪府HIV届出件数
医療機関種別(累計) (n=474)



大阪市エイズ届出件数
医療機関種別(累計) (n=91)



大阪府エイズ届出件数
医療機関種別(累計) (n=145)

